

右父猿松隠居跡家督相續ニ付單純ノ承認ヲ爲シタルコトヲ證明ス仍テ及御届候也
明治參拾壹年拾壹月壹日

野田長松

●第二 女戸主隠居届出書例

日本橋區戸籍吏江戸眞雄殿

西多摩郡西多摩村大字川崎九十二番地戸主平民農

二宮サハ

明治四年壹月拾五日生

右家業ニ從事スルコト能ハサルニ付隠居ス

家督相續人 養子 農

沼藏

明治拾年壹月壹日生

養母サハ隠居後家督相續ニ付單純ノ承認ヲ爲シタルコトヲ證明ス

二宮沼藏

右隠居致候條此段及御届候也

明治參拾壹年四月拾壹日

届出人 二宮サハ

第二節 特別隠居及隠居取消ニ依ル届

西多摩郡西多摩村戸籍吏羽村清水殿

戸主隠居ヲ爲スコトヲ得ルハ第一節ニ掲ケタル如キ法定ノ年齢ニ達スルカ又ハ女戸主ノ夫ノ同意ヲ得タル者ニシテ完全ノ能力ヲ有スル家督相續人カ單純ノ承認ヲ爲シタル場合ニ限ルヘシト雖モ若シ疾病ナルカ本家相續又ハ本家再興其他已ムヲ得サル事由ニ依リ爾後家政ヲ執ルコト能ハサル者ハ特ニ裁判所ニ請求シ其許可ヲ得テ隠居スルコトヲ得ヘシ此場合ニ於テ法定ノ家督相續人アラサルトキハ豫メ家督相續人タルヘキ者ヲ定メテ其承認ヲ得ソコトヲ要ス裁判ノ許可ヲ得テ隠居ノ届出ヲ爲ストキハ其届書ニ裁判ノ謄本ヲ添フヘキモノトス

若シ民法第七百五十二條第七百五十三條第二項ノ規定ニ違反シ又ハ該條ノ事項ニ該當セサルモノニシテ前項ノ許可ヲ得スシテ隠居ヲ爲シタル者ハ其隠居ヲ取消サルコトヲ得ヘシ其取消ハ民法第七百五十五條第二項ノ夫ノ同意ヲ得サル者ハ夫ニ於テ請求シ其他ハ親族又ハ檢事ニ於テ請求スヘキモノニシテ之カ爲メ隠居ノ取消ノ裁判ヲ受ケ其裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記取消ノ申請ヲ爲スヘキモノトス但檢事カ起訴シタルトキハ檢事ヨリ之カ申請ヲ爲スコトヲ要ス

例

第二百十條 裁判所ノ許可ヲ得テ隠居ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ裁判ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

第二百二十二條 隠居ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

第二百六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附録 隠居届出及隠居ノ登記取消ノ申請

●第一

特許ヲ得テ隱居ノ届出ヲ爲ス書例
隱居届

比企郡松山町大字松山八十九番地戸主平民生絲製
造業

大岡 仁 齊

嘉永五年六月七日生

右疾病ニ付家政ヲ執ルコト能ハサルニ付隱居ス

明治參拾五年六月七日裁判所許可ス

推定家督相續人

仁齊長男生絲製造業

綾 雄

明治拾壹年參月五日生

右隱居致候條裁判許可ノ謄本相添へ此段及御届候也

明治參拾貳年拾壹月壹日

大岡 仁 齊

●第二

裁判確定ニ付隱居ノ登記取消ノ申請書例
隱居ノ登記取消ノ申請

明治參拾貳年四月拾參日隱居

西多摩郡西多摩村大字川崎九十二番地平民農

二宮 サハ

明治四年壹月五日生

隱居取消ノ裁判明治參拾貳年拾月拾壹日確定

右隱居取消ノ儀別紙裁判ノ謄本相添へ此段申請候也

明治參拾貳年七月貳拾壹日

西多摩郡西多摩村大字川崎九十二番地平民農サハ夫

申請人 二宮 谷 八

明治參年拾月壹日生

西多摩郡西多摩村戸籍吏羽村清水殿

第三節 隱居登記書式

附錄第一號ノ九

明治何年

本籍人

身分登記簿

隠居之部

東京市京橋區戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名 〇

第一號(戸一八九、二二三、民七五二、七五三、七五七、七五八)

京橋區入船町三拾三番地戸主平民船問屋

須田 平 助

天保拾年六月七日生

右平助病氣ニ因リ家政ヲ執ルコト能ハサルニ付キ隱居

平助三男無職業

家督相續人

初三

明治元年貳月五日生

右隱居明治參拾貳年四月五日届出同日受附

第一號欄外登記例

明治參拾貳年拾月拾日隱居取消ノ裁判確定ニ付同月拾貳日京橋區築地一丁目二番地戸主平民無職業平助弟須田万助ヨリ登記取消申請同日受附

第十一章 失踪

第一節 失踪届

凡ソ失踪ハ利害關係人ノ請求ニ依リ裁判所ノ宣告ニ依リ始メテ其名ヲ生スルモノニシテ利害關係人ニ於テ失踪宣告ノ請求ヲ爲スハ住所又ハ居所ヲ去リタル者ノ生死カ七年間分明ナラサルトキニ於テ若シ戰地ニ臨ミタル者沈没シタル船舶中ニ在リタル者其他死亡ノ原因タルヘキ危難ニ遭遇シタル者ノ生死カ戰爭ノ止ミタル後其他ノ危難ノ去リタル後三年間分明ナラサルトキハ裁判所ハ又其請求ニ依リ失踪ノ宣告ヲ爲スコトヲ得ヘキモノニシテ其裁判ノ確定シタルトキハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ失踪者ノ氏名、出生ノ年月

日、職業及本籍地、失踪ノ宣告アリタル年月日若シ失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及戸主ト失踪者ノ續柄ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ本籍地ノ戸籍吏ニ届出ヘキモノトス
 總シテ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ハ法律上前項ニ記述シタル期間満了ノ時ニ死亡シタル者ト看做サルヘシト雖モ若シ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者カ生存シアルトキハ本人又ハ利害關係人ヨリ裁判所ニ失踪宣告ノ取消ヲ請求スルコトヲ得ヘク其失踪者カ生存セサルモ其死亡カ前項ニ記述シタル七年又ハ三年ノ期間ニ異ナリタルトキハ其事由ヲ證明シ本人又ハ利害關係人ヨリ失踪宣告ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ヘシ其請求ニ依リ裁判所ニ於テ失踪宣告ノ取消アリタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請セサルヘカラサルモノトス

例

第二百二十三條 失踪ノ宣告アリタルトキハ其宣告ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ルコトヲ要ス

- 一 失踪者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 二 失踪ノ宣告アリタル年月日
 - 三 失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及ヒ戸主ト失踪者トノ續柄
- 第二百二十四條 失踪ノ宣告ノ取消アリタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一ヶ月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

附錄 失踪届出及失踪取消申請書

●第一 失踪届出及失踪取消申請ノ書式

失踪 届

安八郡大垣町大字新地百五十番地戸主屋根職

初 雁 渡

明治參年五月六日生

明治參拾八年八月參日失踪宣告

右失踪ニ付別紙裁判ノ謄本相添ヘ及御届候也

明治參拾八年八月參拾日

多藝郡島村大字外花一番地戸主平民農

届出人 渡伯父 朝 暮 冷◎

天保元年拾月貳日生

安八郡大垣町戸籍吏淺井朝忠殿

●第二 失踪ノ登記取消ノ申請ノ書例
 失踪登記取消申請

明治參拾八年八月參拾日失踪届

安八郡大垣町大字新地百五十番地戸主屋根職

初 雁 渡

明治參年五月六日生

明治參拾九年貳月貳日失踪宣告取消ノ宣告

右渡失踪登記取消ノ儀別紙裁判ノ謄本相添ヘ此段申請候也

明治參拾九年貳月拾日

同郡同町大字同番地渡長男

取消請求者 初雁 歸一

明治拾八年五月八日生

安八郡大垣町戶籍吏淺井朝忠殿

第二節 失踪登記書式

附錄第一號ノ十

明治何年

本籍人

身分登記簿

失踪之部

久良岐郡戶部村戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

横濱區裁判所監督判事 氏 名 〇

第一號(戶二三、二三四)

明治參拾貳年壹月貳日失踪宣告

久良岐郡戶部村百番地戶主農

谷 田 音 七

明治參年五月六日生

同郡戸部村百二番地士族無職葉音七兄

宣告請求者 天野 丁吉

明治元年貳月貳日生

右失踪明治拾貳年貳月拾日届出同日受附⑩

第一號欄外登記例

明治拾五年八月四日失踪宣告取消ノ裁判確定ニ付同月五日久良岐郡戸部村百三番地戸主平民農音七叔父森口丙吉ヨリ登記取消申請同日受附⑩

第十二章 死亡

第一節 死亡届

凡ソ家族ノ死亡者アリタルトキハ戸主ヨリ届出戸主死亡シタルトキ又ハ戸主不在ナルトキハ同居者ヨリ同居者アラサルトキハ其家主、地主又ハ土地若シクハ家屋ノ管理人ヨリ届出ツヘキモノニシテ即チ戸主、同居者、家主、地主、土地若シクハ家屋ノ管理人ニハ此法律ニ於テ死亡届書ヲ爲スノ義務ヲ負フモノトス其届出ノ期間ハ死亡アリタルコトヲ知リタル當日ヨリ起算シテ五日以内ト規定セラルルモ或ハ衛生ノ爲メニ特別ノ必要アルトキハ命令ヲ以テ五日ノ期間ヲ短縮セラルルコトアルヘシ此期間ニ死亡ノ届出ヲ爲ササルトキハ前文ノ順序ニ依リ義務者ハ第二百十條ノ制裁ヲ受クヘキモノトス但其順位ノ届出義務者數人アルトキハ其内ノ一人ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル故ニ例ヘハ戸主カ死亡シタルトキ其同居スル家族カ數人アルトキハ死者ノ妻ヨリ届出ヲ爲スモ長男ヨリ届出ルモ長女ヨリ届出ツモ其内ノ一人ヨリ届出ツルヲ以テ足レリトスルモ若シ其數人カ届出ヲ怠リタルトキハ其家族ハ一体ニ其制裁ヲ免カルヘカラサルヘシ死亡届出義務者カ死亡ノ届出ヲ爲ストキハ主治醫ノ診断書若クハ檢案書又ハ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添

ヘテ死亡地又ハ死亡者ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス其届書ニハ死亡者ノ氏名、出生ノ年月日、男女ノ別及ヒ本籍地ト死亡ノ年月日時及場所ト死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及戸主ト死亡者トノ續柄トヲ記載シ本籍地ニアラサルトキハ正副二通ヲ差出スヘキモノトス 漁車又ハ航海日誌ヲ備ヘサル船舶中ニテ死亡シタルトキハ其漁車又ハ船舶ノ到著シタル地ヲ以テ死亡地ト看做スヘキヲ以テ其到着地ノ戸籍吏ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス又ハ病院、養育院其他ノ公設所ニ於テ死亡アリ戸主、家族等ヨリ届出ツルコト能ハサルトキハ病院、養育院其他公設所ノ長又ハ管理人ハ前項ノ規定ニ依リ其届出ヲ爲スコトヲ要ス

例

第二百二十五條 死亡者アリタルトキハ届出義務者カ其死亡ヲ知リタル日ヨリ五日以内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫

- 一 死亡者ノ氏名、出生ノ年月日、男女ノ別及ヒ本籍地
- 二 死亡ノ年月日時及ヒ場所
- 三 死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及ヒ戸主ト死亡者トノ續柄

前項ノ届出期間ハ衛生ノ爲メ特別ノ必要アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

註記

醫師ノ治療ヲ受ケタル者カ死亡シタルトキハ主治醫ノ診断書ヲ受ケ醫師ノ治療ヲ受ケスシテ死亡シタル者ハ醫師ノ檢案ヲ受ケテ其檢案書ヲ請ヒ又變死者ニシテ警察官ノ檢視ヲ受ケタルトキハ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ受ケ届書ニ添ヘテ戸籍吏ニ届出ツヘキモノニシテ死亡者ノ埋葬又ハ火葬ノ證書ヲ請求スルノ必要アルトキハ醫師ノ診断書若クハ檢案書又ハ警察官ノ檢視調書ノ謄本ノ寫ヲ添ヘテ市町村長ニ埋葬又ハ火葬證書ノ交付ヲ請求スヘキモノトス

第二百二十六條 左ニ掲ケタル者ハ其順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲スノ義務ヲ負フ

第一 戶主

第二 同居者

第三 家主、地主又ハ土地若クハ家屋ノ管理人

同順位ノ届出義務者數人アルトキハ其中ノ一人ヨリ届出ヲ爲ステ以テ足ル

第二百二十七條 死亡ノ届出ハ死亡地又ハ死亡者ノ本籍地若クハ寄留地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百二十八條 第七十條及第七十四條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ之ヲ準用ス

(註記) 第七十四條ニハ監獄長ヨリ届出ノ明文アルモ監獄長ノ届出ニ付テハ第二百二十九條ニ依リ第

七十四條ノ準用ヲ除クヘキモノトス

附錄 死亡届出書式

●第一 家族ノ死亡ニ付届出ノ書例

死亡届

田村郡三春町五十三番地戶主平民大工職大吉二男
鐵道工夫

水筒 玄 蕃

明治五年參月四日生

明治參拾四年四月四日午前四時四拾分田村郡三春町五町目五十三番地ニ於テ死亡
右死亡候條醫師診斷書相添ヘ及御届候也

明治參拾四年四月六日

水筒 大 吉

嘉永元年貳月貳日生

●第二 公設所長ヨリ死亡ノ届出ヲ爲ス書例

田村郡三春町戶籍吏守山松藏殿

入院者死亡届

富山縣水見郡太田村大字西谷八十九番地戶主平民農
農文吉祖父農

窪 村 長 藏

文化拾五年八月十日生

明治參拾八年拾貳月貳拾日午前壹時拾分麻布區廣尾町十二番地ニ方テ死亡
右死亡致候條別紙診斷書相添及御届候也

明治參拾八年拾貳月貳拾日

麻布區廣尾町十二番地

麻布濟生病院長

浦 生 久 仙

明治參年壹月六日生

麻布區戶籍吏原潤殿

第二節 在獄及航海中死亡者並本籍地不明者死亡届出

死刑ノ執行ニ因リ死亡者アリタルト在獄中死亡シタル者アリテ死體ノ引取人ナキ場合トニ在テハ監獄ノ長ハ遲滞ナク第百二十五條ニ掲ケタル諸件即チ第一節ニ記述セル條件ヲ具シテ監獄所在地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スヘキモノトス其在監中死亡シタル者ノ報告ハ醫師ノ診断書又ハ檢案書ヲ添付スヘキモノトス戸籍吏ニ於テ此報告ヲ受ケタルトキハ第三節ニ掲ケル例ニ依リ身分登記簿ニ登記シ其死亡者カ非本籍人ナルトキハ報告書ノ謄本ヲ作リテ副本トナシ其正本ハ本籍地戸籍吏ニ送付スヘキモノトス

航海中死亡者アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ乗船者中證人ヲ選定シ二十四時内ニ證人ノ面前ニ於テ第百二十五條ノ諸件ヲ航海日誌ニ記載スルヲ要ス其他其謄本送付ノ手續等ハ本章第二節ニ記述スル處ニ依ルヘシ凡ソ艦船ノ難破アリタルトキハ其他ノ官廳警察官吏役人等ニ於テ救助ヲ爲シ其乗組人員中ノ死亡及ヒ積荷等ノ調査ヲ爲シテ所轄地方廳等ニ報告スヘキモノニシテ其難破ニ因リテ乗組員又ハ乗客ノ全部又ハ一部カ死亡シタルトキハ其難破ヲ取調タル官廳警察署浦役場ニ於テ死亡者ノ本籍地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スヘキモノトス故ニ此場合ニ於テハ難破船ノ到着シタル地ノ戸籍吏ハ其死亡者ニ付之カ登記ヲ爲ササルカ如シト雖モ第百三十一條ノ規定乗組人カ難破ノ爲メニ死亡又ハ漂流シテ死屍カ其地ニ到着セサル場合ニ於テ其取調ヲ爲シタル官公署ヨリ死亡ノ報告ヲ爲スヘキ手續ニシテ若シ難風ニ逢ヒ艦船ニ大破ヲ生シ其艦船カ死亡者ヲ乗セテ漂著シタル場合ニ在テハ死亡者ノ届出ハ第百二十八條ノ規定ニ依リ漂著地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スヘキモノニシテ第百三十一條ヲ適用スヘキモノニアラス

死亡者ノ氏名ハ分明ナルモ其本籍ノ分明ナラザルカ又氏名本籍ハ素ヨリ其居所ノ分明ナラスシテ何人タルヲ認識スルコト能ハサルトキハ警察官ハ檢視調書ヲ作リテ遲滞ナク之ヲ其地ノ戸籍吏ニ報告スヘキコトヲ

要シ戸籍吏ハ報告ヲ受ケ非本籍人身分登記簿ニ登記スヘシ然ル後死亡者ノ本籍カ分明ナルニ至リ何人タルヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ又遲滞ナク前ニ報告シタル戸籍吏ニ其報告ヲ爲ナスコトヲ要ス前ニ報告ヲ受ケタル戸籍吏ニ於テ本籍分明トナリ又ハ何人タルコトノ認識セラレタル報告ヲ得タルトキハ其戸籍吏ハ第二十六條ノ第二項ノ手續ヲ爲シ若シ其本籍カ管轄内ニアラザルトキハ戸籍吏ハ報告書ノ謄本ヲ作り正本ヲ本籍地戸籍吏ニ送附スヘキモノトス

戸主又ハ同居者ニ於テ其死亡ノ事實ヲ知りタルトキハ之ヲ知りタル日ヨリ十日以内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ醫師ノ診断書又ハ檢案ニ代ヘ警察官ノ檢視調書ノ謄本ヲ添フコトヲ得ヘシ本籍地戸籍吏ニ於テ此届出ヲ受ケタルトキ戸籍吏ハ第二十六條第三項ニ依リ前登記ノ欄外ニ其届出アリタルコト及ヒ其年月日ヲ登記スヘキモノトス

例

第百二十九條 死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遲滞ナク第百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ監獄所在地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ在獄中死亡シタル者アリテ死體ノ引取人ナキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ報告書ニ醫師ノ診断書又ハ檢案書ヲ添フルコトヲ要ス

註記

本條ハ監獄ニ於テ死刑ニ處セラレ又ハ刑ニ因ラスシテ死亡シタル者アリテ死體ノ引取人ナキトキ監獄長ヨリ戸籍吏ニ報告スヘキ手續ヲ掲ケラレタルモノナリ

第百三十條 航海中ニ死亡者アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ乗船者中ヨリ選ヒタル證人ノ前ニ於テ第百二十五條ニ掲ケタル諸件ヲ航海日誌ニ記載シ證人ト共ニ署名捺印シ且證人ノ出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタル後艦船カ日本ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其地ノ戸籍吏ニ送附スルコトヲ要ス
艦船カ外國ノ港ニ著シタルトキハ艦長又ハ船長ハ遲滞ナシ死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ送附シ公使又ハ領事ハ三個月内ニ之ヲ外務大臣ニ發送シ外務大臣ハ十日内ニ之ヲ死亡者ノ本籍地ノ戸籍吏ニ發送スルコトヲ要ス

第三百三十一條 艦船ノ難破ニ因リテ乗組員及ヒ乗客ノ全部又ハ一部カ死亡シタルトキハ其難破ノ取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

(註記) 乗組員トハ艦船ニ在テ勤務スル艦長又ハ船長以下ノ諸員ヲ云ヒ難破ニ因リ死亡スルトハ艦船ノ破壊等ノ爲メニ死亡シタルヲ云フ

第三百三十二條 死亡者ノ本籍分明ナラス且何人タルコトヲ認識スルコト能ハサルトキハ警察官ハ遲滞ナク前ニ報告ヲ受ケタル戸籍吏ニ之ヲ報告スルコトヲ要ス

死亡者ノ本籍分明ナルニ至リ又ハ其何人タルコトヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遲滞ナク前報告ヲ受ケタル戸籍吏ニ之ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百二十六條第一項第一號及ヒ第二號ニ掲ケタル死亡届出義務者カ前項ノ事實ヲ知りタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ醫師ノ診斷書又ハ檢案書ニ代ヘ警察官ノ檢規調査ノ謄本ヲ添フルコトヲ得

(註記) 本條第一項ハ行旅死亡人、路頭倒死人、投死人、縊死人等ノ如キ其氏名ヲ知ルモ本籍住所不明ナルモノ又ハ其氏名ヲモ知ル能ハスシテ何國ノ人ナルヤ不明ナル者ノ死亡ニ依リ警察官ノ檢視ヲ得テ其死體ヲ市町村長ニ引渡ス場合ニ於テ警察官カ戸籍吏ニ報告シ第二項ハ例ヘハ死亡者

ノ引取人等カ顯ハレ其本籍カ分明シ又ハ死者ノ誰タルヲ知り得タルニ至リタル場合ニ於ケル報告ヲ要スルコトヲ掲ケ第三項ハ死亡届義務者其死亡ヲ知りタルトキ届出ノ手續及ヒ届出ノ期間ヲ明示セラレタルモノナリ

附錄 航海日誌謄本ノ書式

●第一 航海日誌謄本ノ記載ノ書例

岩手縣盛岡市大字仙北三十七番地戸主

男 海野 仲

明治九年五月拾日生

死亡ノ時 明治參拾壹年九月拾日午前貳時貳分

死亡ノ場所 難波丸船中

青森縣東津輕郡青森町大字安方百六番地米商

證人 兜 甲 冠

明治拾貳年壹月貳拾日生

山形縣米澤市大字袋町十番地乾物商

證人 推 竹 干 瓢

明治五年六月六日生

難波丸船長

住 吉 明

右航海日誌ノ作製者

航海日誌作製明治貳拾九年拾月壹日

右仲死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本及御送付候也

明治參拾壹年拾月拾七日

住吉 明

明治八年壹月四日生

(附記)

兵庫市戸籍吏和田岬殿
本籍分明ナラサル者カ本籍分明シタル等ニ關スル届出書例ハ第一節附録ニ掲ケタル例ト異ナルヘキコトナキニ依リ畧ス

第三節 死亡者登記書式

附録第一號ノ十一

明治何年

本籍人

身分登記簿

死亡之部

東京市牛込區戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名

第一號(戸二五)

戸籍法 第四編 第十二章 第三節

牛込區加賀町二丁目三番地戸主平民牛乳商乙吉長男

菅野 丙 作

死亡ノ時 明治貳拾年四月五日生

死亡ノ場所 牛込區加賀町二丁目三番地

届出人 菅野 乙 吉

明治六年壹月六日生

右死亡明治參拾貳年壹月七日届出同日受附
第二號(月二二九)

牛込區早稻田町百六番地戸主平民方吉三男

住田 次 郎 吉

死亡ノ時 明治五年參月貳日生

死亡ノ場所 明治參拾貳年貳月四日午後壹時貳拾分

市夕谷監獄署

市夕谷監獄署典獄

報告者 井 河 實

右死亡明治參拾貳年貳月四日報告同日受附
第三號(月一三〇ノ一、二、二八ノ三)

牛込區藥王寺前町五番地戸主

男 氏 家 直 高

明治參年四月四日生

死亡ノ時 明治參拾貳年參月參日午後貳時五拾分

死亡ノ場所 東京丸船中

神奈川縣横濱市戸太町三番地學生

證人 爲 永 時 藏

明治五年六月八日生

静岡縣静岡市鷹匠町八番地無職業

證人 龜 田 良 次

明治元年五月九日生

東京丸船長

野 口 榮 造

右航海日誌作製者

航海日誌作製明治參拾年參月參日

右死亡ニ關スル航海日誌ノ謄本明治參拾貳年參月拾日發送同日受附

附錄第一號ノ二十二

明治何年

非本籍人
身分登記簿

死亡之部

東京市牛込區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名 關

第一號(月二三ノ一、二、二六ノ一)

本籍不明

男 伊 賀 去 就

推定 貳拾五六歲

死亡ノ時 明治參拾貳年六月六日午後拾時

死亡ノ場所 牛込區神樂阪道路

牛込警察署長警視

報告者 上 村 三 平

右死亡報告明治參拾貳年六月七日發送同日受附

第一號欄外登記例

伊賀去就ノ本籍ハ魏町區三番町九番地ニ在リ明治五年參月拾日生ナル旨牛込警察署長上村三平ヨリ明治參拾貳年六月九日報告發送同日受附

第十三章 家督相續

戶籍法 第四編 第十三章 第一節

第一節 家督相續及其回復屆

凡ソ家督相續ハ戸主死亡シ又ハ隱居シ若クハ國籍ヲ喪失シタルニ因リ開始シ或ハ戸主カ婚姻又ハ縁組ヲ取消サレテ其家ヲ去リタルニ依リ開始シ又或ハ女戸主カ入夫婚姻ヲ爲シ又ハ入夫カ離婚シタルニ因リ開始スルモノニシテ總シテ家督ニ因リ戸主トナリタル者ハ家督相續シテ戸主トナリタル事實ヲ知リタルトキ一个月内ニ其届出ヲ爲スヘシ其届出ニハ第一家督相續ノ原因及ヒ戸主トナリタル年月日第二前戸主ノ名及前戸主ト家督相續人トノ續柄ヲ掲クヘシ若シ家督相續人カ外國ニ在ル場合ニ於テハ其届出ハ三個月内ニ届書ヲ發送スルヲ以テ足レリトス

家督相續ハ被相續人ノ住所ニ於テ開始スルモノニシテ被相續人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス故ニ家督相續ニ付テハ被相續人又ハ家督相續人カ本籍地外ニ在ルモ寄留地又ハ其所在地ニ之ヲ爲スコトヲ得サルモノニシテ本籍地ノ戸籍吏カ家督相續ノ届出ヲ受ケタル場合ニ於テ身分登記簿ニ其登記ヲ了シタル上ハ更ニ其戸籍ヲ改寫セサルヘカラサルモノトス若シ被相續人ノ戸主權ノ喪失カ無効又ハ取消ニ依リ戸主權喪失者カ家督相續ノ裁判ヲ受ケ其裁判カ確定セラレタルトキハ家督相續權ヲ回復シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ前項ニ記載シタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ其届出ヲ爲シ前ニ爲シタル家督相續ノ登記取消ヲ申請スルヲ要ス戸籍吏ハ此申請ヲ受理シタルトキハ第二十四條ニ依リ前登記ノ欄外ニ之ヲ爲シ原登記ヲ抹消シ更ニ戸籍ヲ改寫シテ現戸籍ハ簿冊ヨリ除去シテ除籍簿ニ移綴スヘシ

(例)

第三百三十三條 家督相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ被相續人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス
一 家督相續ノ原因及ヒ戸主トナリタル年月日

二 前戸主ノ名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄

家督相續人カ外國ニ在ル場合ニ於テハ前項ノ届出ハ三個月内ニ届書ヲ發送スルヲ以テ足ル

(註記)

家督相續ニ因リ戸主ト爲リタル者ニシテ其事實ヲ知ラサルコトナキカ如シト雖モ例ヘハ推定家督相續人カ被相續人ノ家ヲ離レテ遠國ニアル場合ニ於テハ推定家督相續人ハ被相續人カ死シテ已カ家督相續ヲ爲シタルコトヲ知ラサルコトアルヘシ故ニ總シテ家督相續ニ因リ戸主トナリタルトキハ之ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ届出ツヘキモノトス又家督相續ノ届出ヲシテ本籍地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲サシムルモノハ家督相續人タル順位等ハ其戸籍ニ付クニアラサレハ知ルニ由ナキモノニシテ被相續人カ戸主權ヲ喪失シテ家督相續ニ因リテ戸主ヲ變換シタル場合ニ於テハ直チニ其戸籍ヲ改寫セサルヘカラサル等ノ事由アルヲ以テナリ

第三百三十四條 家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ相續權ヲ回復シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ前條ニ掲ケタル諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出テ且前ニ爲シタル家督相續ノ登記取消ヲ申請スルコトヲ要ス

(註記)

本條ノ取消モ亦本籍地ノ戸籍吏ニ提出スヘキハ勿論ナリトス

附錄 家督相續届及登記取消ノ申請書式

●第一 家督相續届出ノ書例
家督相續届
四谷區坂町百三十番地戸主士族小間物商
登長女 西 村 セ イ

嘉永參年貳月壹日生

明治參拾壹年九月拾八日前戶主登隱居ニ因リ家督相續戶主ト爲ル
右及御届候也

明治參拾壹年九月拾八日

届出人 西村 セイ

●第二 戶主死亡ニ因リ家督相續戶主ト爲ル届出ノ書例
家督相續届

大野郡大野町大字清水五番地戶主社掌

友房長男 寺田 信則

明治參年參月壹日生

右明治參拾貳年七月拾八日前戶主友房死亡ニ因リ家督相續戶主ト爲ル
右及御届候也

明治參拾貳年七月貳拾日

届出人 寺田 信則

●第三 家督相續回復ニ因リ家督相續ノ登記取消申請ノ書例
登記取消申請書

大野郡大野町戶籍吏福井福殿

明治參拾壹年九月拾八日届

四谷區坂町百三十番地戶主士族小間物商

登長女 西村 セイ

明治參拾參年參月參日家督相續權回復裁判確定

右裁判ノ謄本相添登記取消申請候也

明治參拾參年參月參日

四谷區坂町百三十番地士族登長男

家督相權回復申請人 西村 隆

明治四年拾月貳日生

東京市四谷區戶籍吏大國甲子殿

第二節 胎兒家督相續届及其登記取消申請

凡ソ胎兒ハ家督相續ニ付既ニ生レタル者ト看做スヘキヲ以テ相續カ開始シタルトキ他ニ法定ノ推定家督相
續人アラシテ其妻カ被相續人ノ兒子ヲ懷胎シアリタルトキ又ハ被相續人カ私生ノ胎兒ヲ認知シアリタル
トキ若クハ遺言ヲ以テ其胎兒ヲ認知セラレタルトキハ其胎兒ハ其家督相續權ヲ有スヘシ故ニ其母ニ於テ相
續開始アリタルコトヲ知リタルトキハ之ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ家督相續ノ届
出ヲ爲スコトヲ得ヘシ其届書ニハ相續開始ノ年月日家督相續人カ胎兒ナルコトト前戶主ノ名及前戶主ト家
督相續人トノ續柄ヲ記載スルヲ要ス若シ懷胎ノ母カ外國ニ在ルトキハ之ヲ知リタル日ヨリ三个月内ニ届書
ヲ發送スルヲ以テ足ルヘシ

前項ノ如ク胎兒ヲ家督相續人トシテ届出タル後胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ其權利ハ消滅スヘキニ依リ
母ハ出産ノ日ヨリ一个月内ニ醫師又ハ出産ニ立會タル産婆ノ檢案書ヲ提出シテ家督相續ノ登記ノ取消ヲ申
請セサルヘカラス若シ母カ登記ノ取消ノ申請ヲ爲ササルトキハ之ニ代リ家督相續人タルヲ得ヘキ者ハ其登

記ノ取消ノ申請スヘシ其申請ニ關スル期間ハ胎兒カ死體ニテ生レタルコトヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ届出及申請ハ本籍地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スヘキモノトス

(例)

第三百三十五條 家督相續人カ胎兒ナルトキハ其母ハ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ家督相續ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

一 相續開始年月日

二 家督相續人ノ胎兒ナルコト

三 前戶主ノ名及ヒ前戶主ト家督相續人トノ續柄

第三百三十三條第二項ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス

第三百三十六條 胎兒ヲ家督相續人トシテ届出テタル場合ニ於テ其胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ母ハ出産ノ日ヨリ一个月内ニ醫師又ハ出産ニ立會ヒタル産婆ノ檢案書ヲ提出シテ家督相續ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

母カ登記取消ノ申請ヲ爲ササルトキハ家督相續人ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一ヶ月内ニ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

(註記) 胎兒カ死體ニシテ生レタルヲ其母ニ於テ一个月内ニ届出サルトキ其母ハ第二百十條ノ制裁ヲ受クヘキヤ否ハ無論其制裁ヲ受クヘキモノトス

附錄 胎兒家督相續届及其登記取消申請ノ書式

●第一 胎兒家督相續届出ノ書例

胎兒家督相續届

金澤市大字野町六丁目二番地戶主平民

胎兒

明治參拾六年九月貳拾八日前戶主父藤田藤兵衛死亡ニ付家督相續戶主トナル

右家督相續ニ付醫師診斷書相添ヘ及御届候也

明治參拾六年拾月五日

金澤市大字野町六丁目二番地裁縫業
右母 藤田カッ

明治參拾壹年四月拾四日生

金澤市戶籍吏大野盛安殿

●第二 胎兒カ死體ニテ生レタルニ因リ家督相續ノ登記取消申請ノ書例

家督相續登記取消申請

明治參拾六年拾月五日家督相續

金澤市大字野町六丁目二番地藤田藤兵衛嫡出子戶主

胎兒

明治參拾六年拾貳月貳拾壹日胎兒死體分焼

右出産ニ立會タル産婆ノ檢案書相添家督相續ノ登記取消申請候也

明治參拾七年拾月九日

金澤市大字野町六丁目二番地無職業藤兵衛弟

申請人 藤田 藤助

金澤市戶籍吏大野盛安殿

第三節 家督相續ノ登記書式

附錄第一號ノ十二

明治何年

本籍人

身分登記簿

家督相續之部

東京市赤坂戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名 圖

第一號(月一三三、一三四)

赤坂區青山南町三丁目二番地戸主士族官吏

吉次二男 住 田 辰 藏

明治參年貳月四日生

明治參拾貳年壹月六日前戸主父吉次隱居ニ因リ家督相續戸主ト爲ル

右家督相續明治參拾貳年壹月七日届出同日受附

第二號(月一三三)

赤坂區臺町五十番地戸主士族學生

所在地 獨乙伯林

達夫長男

末岡種松

明治九年拾月貳日生

明治參拾貳年貳月四日前戶主父達夫死亡ニ因リ家督相續戶主ト爲ル

右家督相續明治參拾貳年參月參拾日屆書發送同年五月六日受附⑤
第三號(月一三五、一三六)

赤坂區青山北町一丁目四番地戶主

胎兒

明治參拾貳年四月貳日前戶主父作之進死亡ニ因リ相續開始

赤坂區青山北町一丁目四番地士族無職業

屆出人 母 山口タツ

明治參年貳月四日生

右家督相續明治參拾貳年四月參日屆出同日受附⑤

第一號欄外登記例

明治參拾貳年四月五日家督相續回復ノ裁判確定ニ付同年五月壹日相續權回復者住田吉次長男丑郎ヨリ登記取消申請同日受附⑤

第三號欄外登記例

明治參拾貳年五月五日胎兒死體分娩ニ付赤坂區青山北町一丁目四番地庶子山口龜男ヨリ同年六月拾日登記取消申請同日受附⑤

第十四章 推定家督相續人ノ廢除

第一節 推定家督相續人廢除屆

推定家督相續人ハ民法第九百七十五條ノ一號乃至四號ニ該當スルカ又ハ親族會ニ於テ正當ノ事由アリトシテ被相續人ニ同意ヲ爲シタル場合ニ於テハ被相續人ハ其廢除ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ヘク其請求ニ依リ廢除ノ裁判アリテ其裁判カ確定シタルトキハ被相續人ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ屆出タルコトヲ要ス其屆書ニハ廢除セラレタル者ノ名、出生ノ年月日、職業ト廢除ノ原因ト廢除ノ裁判カ確定シタル年月日トヲ記載スヘキモノトス

又被相續人ハ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除スルコトヲ得ヘク被相續人カ遺言ヲ以テ廢除ノ意思ヲ表示シタル場合ニ於テハ遺言ノ效力ノ發生シタル後ハ遲滞ナク遺言執行者ハ裁判所ニ其廢除ヲ請求スヘキモノニシテ廢除ノ裁判アリテ其裁判カ確定シタルトキハ遺言執行者ハ前項ニ記載シタル諸件ヲ具シ且被相續人死亡ノ年月日ヲ記シテ其屆出ヲ爲スコトヲ要ス其期間ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内トス

推定家督相續廢除ノ原因止ミタルトキハ被相續人又ハ推定家督相續人ハ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ヘク殊ニ推定家督相續人カ被相續人ニ對シテ虐待ヲ爲シ又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルニ因リ廢除シタル場合ニ於テハ被相續人ハ何時タリトモ其取消ヲ請求スルヲ得ヘシ然レトモ相續人カ開始シタル後ハ其取消ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス若シ被相續人カ遺言ヲ以テ廢除ノ意思ヲ表示シタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遺言ノ效力ノ生シタル後遲滞ナク裁判所ニ之カ請求ヲ爲スコトヲ要ス而シテ其取消ノ裁判アリテ取消カ確定シタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判ノ謄本ヲ提出シテ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ登記取消ノ申請ヲ爲スヘキモノトス

推定家督相續人ノ廢除ノ屆出及廢除ノ取消ノ申請ハ總シテ本籍地ノ戶籍吏ニ之ヲ爲スヘキモノトス

(例)

第三百三十七條 推定家督相續人廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ被相續人裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

一 廢除セラレタル者ノ名出生ノ年月日及ヒ職業

二 廢除ノ原因

三 廢除ノ裁判カ確定シタル年月日

(註記)

推定家督相續人トハ被相續人ノ家督相續ヲ承繼スル權利ヲ有スル者ヲ云フ推定家督相續人ノ廢除ハ所謂廢嫡ナリ其廢嫡ハ從前地方廳ノ許可ヲ受クヘキ成規ナリシカ本法施行以後ハ裁判所ノ許可ヲ得ヘキモノトス

第三百三十八條 被相續人カ遺言ヲ以テ推定家督相續人ヲ廢除スル意思ヲ表示シタル場合ニ於テ廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ前條ノ届出ハ遺言執行者ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十九條 推定家督相續人廢除ノ取消ノ裁判カ確定シタルトキハ其取消ヲ請求シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ム

(註記)

廢除ノ取消ハ從前ノ廢嫡復立ト殆ト同一ナリ廢嫡復立ハ地方廳ノ特許ヲ得タルモ推定家督相續人ノ廢除ノ回復ハ裁判所ノ許可ヲ要スルモノトス

附錄 推定家督相續人廢除届出及廢除回復申請ノ書式

●第一

被相續人生存中家督相續人廢除ノ届出ノ書例
推定家督相續人廢除書

淺草區田町二丁目五十番地戸主平民車夫荒川力藏長
男無職業

推定家督相續人

虎藏

明治拾貳年貳月壹日生

右力藏被相續人ニ對シ重大ナル侮辱ヲ爲シタル爲メ廢除セララル明治參拾貳年四月四日裁判確定

右廢除ノ儀裁判謄本相添ヘ及御届候也

明治參拾貳年四月五日

淺草區田町二丁目五十番地戸主平民車夫

荒川力藏

弘化四年八月拾五日生

淺草區戸籍吏倉米稟藏殿

●第二 遺言ニ依ル推定家督相續人廢除届出ノ書例

家督相續人廢除届

與謝郡上宮津村大字小田三百五十番地戸主平民浦島

太郎長男

推定家督相續人

無職業

龜子

明治元年拾貳月壹日生

右龜子浪費者トシテ准禁治産ノ宣告ヲ受ク改悛ノ望ナキ爲メ廢除セララル明治參拾五年九月拾八日裁判

確定

被相續人太郎明治參拾五年八月拾日死亡
右推定家督相續人廢除裁判ノ謄本相添へ及御届候也

明治參拾五年九月貳拾七日

遺言執行者

與謝郡與謝村大字與謝一番地戶主平民漁業

龜子伯父 浦島海月

與謝郡與謝村戶籍吏海市麗殿

●第三 廢除取消届出ノ書例

廢除ノ登記取消ノ申請

明治參拾貳年四月五日廢除

淺草區田町二丁目五十番地戶主平民車夫荒川力藏長
男

車夫

虎藏

明治拾壹年貳月壹日生

右虎藏推定家督相續人廢除取消セラル明治參拾五年五月拾日裁判確定
右裁判ノ謄本相添へ推定家督相續人廢除ノ登記取消申請候也

明治參拾五年五月貳拾五日

申請人

荒川力藏

弘化四年八月拾五日生

東京市淺草區戶籍吏倉米栗藏殿

第二節 推定家督相續人廢除登記書式

附錄第一號ノ十三

明治何年

本籍人

身分登記簿

推定家督相續人廢除之部

東京市本郷區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名

第一號(月一三七、民九七五)

本郷區元町一丁目五番地戸主平民下宿營業北内力藏
長男無職業

推定家督相續人

太郎

右太郎被相續人ニ對シ虐待ヲ爲シタカ爲メ廢除セラル明治參拾貳年五月四日裁判確定

被相續人

北 内 力 藏

文化貳年貳月四日生

右推定家督相續人廢除明治參拾貳年五月六日届出同日受附
第二號(月一三七、一三八、民九七五)

本郷區弓町三丁目一番地戸主福永吉藏長男無職業
推定家督相續人 一郎

明治五年貳月八日生

右一郎家名ニ汚辱ヲ及ホスヘキ罪ニ因リ刑ニ處セラレタルカ爲メ廢除セラル明治參拾貳年拾月貳日裁判確定

被相續人吉藏明治參拾貳年六月四日死亡

本郷區湯島新花町六十番地戸主平民無職業
遺言執行者 壹郎叔父 福 田 龜 三

明治元年參月貳日生

右推定家督相續人廢除明治參拾貳年拾月四日届出同日受附

第十五章 家督相續人ノ指定

第一節 家督相續ノ指定ニ關スル届出及申請

法定ノ家督相續人アラサルトキハ被相續人ハ家督相續人ヲ指定スルコトヲ得ヘク被相續人ニ於テ家督相續人ヲ指定シタルトキハ被相續人ハ指定シタル者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及本籍地ト法定ノ推定家督相續人ナキコトヲ届書ニ記載シテ戸籍吏ニ届出ツヘシ然リ而シテ被相續人ニ於テ家督相續人ヲ指定シタル後法定ノ家督相續人アルニ至リタルトキハ指定ノ效力ハ之ヲ失フヘキニ依リ此場合ニ於テ指定ヲ爲

シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ効力ヲ失ヒタル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スヘキモノニシテ總シテ家督相續人ノ指定ハ之ヲ取消スコトヲ得ヘシ其取消ノ届出ニハ指定家督相續人ノ氏名、族稱出生ノ年月日、職業及本籍地ト指定ノ年月日トヲ記載スヘキモノシテ其取消ヲ爲シタルトキハ之ト同時ニ登記ノ取消ヲ申請セサルヘカラサルモノトス

被相續人ハ遺言ヲ以テ家督相續人ノ指定又ハ其取消ヲ爲スコトヲ得ヘク被相續人カ遺言ヲ以テ家督相續人ノ指定又ハ其取消ヲ爲スコトヲ得ヘシ其取消ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス就中指定ノ届出ニ在テハ前項ノ前段ニ記載シタル諸件ト被相續人死亡ノ年月日トヲ記載シ取消ノ場合ニ於テハ前項後段ニ記載シタル諸件ハ又被相續人死亡ノ年月日トヲ記載スヘシ但其届出ト同時ニ登記ノ取消ヲ申請スルハ勿論ナリトス

(例)

第四百十條 家督相續人指定ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 指定家督相續人タルヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 法定ノ推定家督相續人ナキコト

(註記) 家督相續人指定トハ從前諸侯以下ノ幕士ニ行ハレタル假養子ト唱フ者ニ似タリ假養子ハ其支配頭人之ヲ届出置キ萬一當主死亡シタルトキハ之ヲ以テ其家督相續ヲ爲サシムルモ假養子ハ其戸主ノ家人ニ屬セス戸主嗣子アルニ至リタルトキハ消滅シ又何時タリトモ其戸主ニ於テ之ヲ罷メ又ハ引替ルコトヲ得ルモノナリ是ト同ク家督相續人ノ指定モ身分登記簿登記スルモ戸籍ニ記載セズシテ指定家督相續人アルニ至リタルトキハ其効力ヲ失ヒ又ハ被相續人ニ於テ之ヲ取消スヲ得ヘキモノナリ是レ殆ント相類似セルモノナリ

第四百十一條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リ家督相續人指定ノ届出ヲ爲スコトキハ届書ニ前條ニ掲ケタル諸件及ヒ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ其指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

(註記) 家督相續人ノ指定ハ被相續人カ生存中ニ限ラス遺言ニ依リテモ又之ヲ指定スルコトヲ得ヘク此場合ニ於テハ遺言執行者ヨリ其届出ヲ爲スモノトス

第四百十二條 家督相續人ノ指定ノ取消ノ届書ニハ左ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 指定家督相續人ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 指定ノ年月日

第四百十三條 家督相續人指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス者ハ同時ニ家督相續人指定ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス

(註記) 家督相續人指定ノ届出ヲ爲スコトキ同時ニ更ニ指定登記取消ヲ申請スヘキモノニシテ其届出及申請ハ共ニ戸籍吏ニ之ヲ爲スヘキモノトス此場合ニ於テハ戸籍吏ハ身分登記簿ニ其取消ヲ登記シ更ニ登記ヲ抹消シ其欄外ニ取消ノ旨ヲ登記シ交互參看ノ符號ヲ登記シ置シヘキモノトス

第四百十四條 民法第九百八十一條ノ規定ニ依リテ指定ノ取消ノ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ル外届書ニ被相續人ノ死亡ノ年月日ヲ記載シ且之ニ指定ノ取消ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添アルコトヲ要ス

(註記) 遺言ニ依リ家督相續ノ取消ヲ爲ス場合ニ於テモ届出ト同時ニ登記取消ノ申請ヲ爲スヘキモノトス

第四百十五條 家督相續人ノ指定カ其効力ヲ失ヒタルトキハ指定ヲ爲シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨ

リ一个月内ニ其効力ヲ失ヒタル事由ノ證明書ヲ提出シテ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス
(註記) 効力ヲ失ヒタル事由ノ證明書トハ例ヘハ長ニ男アル者ニ男ヲ他家ノ養子ト爲シタル後長

男ノ死亡シ又ハ二男失踪ニ依リ家督相續人ナキニ至リ家督相續人ヲ指定シタル後二男ノ離縁ニ因
リ復歸シ失踪ヲ取消サレル場合ニ於テハ被相續人ハ推定家督相續人タルモノニアリタルニ至リタ
ルヲ以テ其事由ヲ證明スル如シ本條ニ於テハ取消ノ届出ヲ爲スヘキ明文アラサルニ依リ唯ニ登記
取消ノ申請ノミヲ提出シ取消ノ届書ヲ提出スルニ及ハサルモノトス何トナレハ取消ハ其届出ニ依
リ効力ノ消滅スモ無効ハ始メヨリ効力ノ生セサルモノト看做スヘケレハナリ

●第一 家督相續人指定及取消ノ届書並登記取消申請書式
附録 家督相續人指定及取消ノ届書並登記取消申請書式

●第一 家督相續人指定届ノ書例

勢多郡前橋町大字本町七十二番地戸主士族繁光二男
教員 上野新造

明治拾八年五月七日生

法定ノ推定家督相續人ナキニ付右新造ヲ以テ家督相續人ニ指定ス
右家督相續人指定候條及御届候也

明治參拾壹年八月拾七日

群馬郡高崎町大字赤坂三番地戸主士族建築技師

被相續人 飛彈 匠

明治貳年參月貳日生

●第二 遺言ニ依リ家督相續人届出ノ書例
群馬郡高崎町戸籍吏佐野廣道殿

家督相續人指定届

南佐久郡川上村大字居倉一番地戸主佐左衛門弟農

一郎平

明治拾壹年七月壹日生

被相續人北佐久郡岩村田町大字猿久保千八百五十六番地戸主士族農長倉八十右衛門法定ノ推定家督相
續人ナキニ付右一郎平ヲ以テ家督相續人ニ指定セラレタリ

明治參拾壹年七月拾參日被相續人死亡

右指定ニ關スル遺言ノ謄本相添ヘ及御届候也

明治參拾五年七月貳拾四日

北佐久郡平根村大字上平尾十一番地戸主平民農

遺言執行者 長倉八十右衛門叔父 早田 稻作

明治元年參月八日生

●第三 家督相續人指定取消届出ノ書例
北佐久郡岩村田町戸籍吏遠藤盛重殿

家督相續人指定取消届

勢多郡前橋町大字本町七十二番地戸主繁光二男

教員

明治參拾壹年八月拾七日指定
右指定取消候條此段及御届候也

上野新造
明治八年五月七日生

明治參拾參年九月拾日

群馬郡高崎町戶籍吏佐野廣道殿

群馬郡高崎町大字赤坂三番地士族建築技師
被相續人 飛 彈 匠

明治貳年參月貳日生

●第四 指定相續人登記取消申請ノ書例
家督相續人指定登記取消申請

勢多郡前橋町大字本町七十二番地戶主繁光二男
教員
指定家督相續人 上野新造

明治八年五月七日生

右明治參拾壹年八月拾七日提出ノ家督相續人指定届出取消候條右登記取消ノ儀申請候也

群馬縣高崎町大字赤坂三番地戶主士族建築技師

取消申請人 飛 彈 匠

明治貳年參月貳日生

明治參拾參年九月拾日

群馬郡高崎町戶籍吏佐野廣道殿

(附言) 第四百四十五條ニ依ル無効ニ依リ登記取消申請書ハ緯文右何年何月何日家督相續人指定ノ儀

届出置キ候處幾男女名出生ニ依リ又ハ失踪ノ幾男女名歸復失踪宣告取消ノ裁判ニ依リ法定ノ家督
相續人アルニ至リ指定效力ヲ失ヒ候條別紙證明書相添ヘ登記取消ノ儀ヲ申請候也ト記載シ餘ハ此
例ヲ參配シテ記載スルヲ要ス

●第五 指定ノ效力ヲ失ヒタル事由證明書例
證明書

岩瀬郡須賀川町大字須賀川一番地戶主平民祠官八雲
彌比古二男

八重彦

明治四年四月八日生

明治參拾參年壹月壹日失踪取消宣告ヲ受ク

右八重彦失踪ノ宣告取消ノ裁判ニ依リ法定ノ家督相續人アルニ至リタリ仍テ別紙裁判ノ謄本ヲ以テ之ヲ
證明ス此段及御届候也

明治參拾參年九月拾日

被相續人 八雲彌比古

嘉永六年貳月拾九日生

岩瀬郡須賀川町戶籍吏岩代三郎殿

第二節 家督相續人指定ニ關スル登記書式

附錄第一號ノ十四

明治何年

本籍人

身分登記簿

家督相續人指定之部

東京市京橋區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏

名 園

第一號(月一四〇一四三、民九七九八〇)

京橋區采女町一丁目五番地戶主辰郎三男平民書籍商

山 岸 吉 次

明治拾年壹月七日生

法定ノ推定家督相續人ナキニ付右吉次指定セラレ

京橋區采女町三丁目一番地戶主平民無職業

被相續人 吉次兄 黑 田 吉 郎

明治元年貳月五日生

右家督相續人指定明治參拾貳年五月貳日届出同日受附

第二號(月一四〇、一四二)

京橋區銀座一丁目三番地戸主一郎第平民無職業

中野又一

明治拾年壹月五日生

被相続人京橋區銀座三丁目二番地平民下田甲三法定ノ推定家督相続人ナキニ付右又一指定セラル
明治參拾貳年七月壹日被相続人死亡

京橋區采女町二丁目一番地戸主平民無職業

遺言執行者 甲三弟 高田乙助

明治元年壹月五日生

右家督相続人指定明治參拾貳年七月拾日届出同日受附㊦
第三號(月一四二)

京橋區采女町一丁目五番地戸主辰郎三男平民舊籍商

山岸吉次

明治拾年壹月七日生

指定取消人 吉次兄 黒田吉郎

明治元年貳月五日生

右家督相続人指定ノ取消明治參拾貳年拾月貳拾五日届出同日受附㊦

第一號欄外登記例

明治參拾貳年拾月貳拾五日黒田吉郎ヨリ登記取消ノ申請同日受附㊦

第十六章 入籍、離籍及ヒ復籍拒絶

第一節 入籍届出

凡ソ家族ノ庶子及私生子ハ戸主ノ同意アルニアラザレハ家ニ入ルコトヲ得サルニ因リ其戸主カ同意セサルニ依リ庶子ヲシテ母其他ノ家ニ入ラシメ又ハ戸主ノ同意セサルニ依リ私生子ヲシテ母ノ家ニ入ルル能ハサルニ依リ他家ニ入ラシメ他家ノ家族ト爲サント欲スル者又ハ婚姻、養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者カ其配偶者又ハ養親ノ親族ニアラサル自己ノ親族ヲ婚家又ハ養家ノ家族ニ爲サント欲シ若クハ婚家又ハ養家ヲ去リタル者カ婚家又ハ養家ニ在ル自己ノ直系卑屬ヲ自家ノ家族ト爲サント欲スル者ハ左ノ第一ニ列記シタル諸件ヲ具シ第二ノ區別ニ依リ戸主配偶者、養親又ハ後見人ノ同意ノ證書ヲ添ヘ若クハ届書中ニ同意ノ旨ヲ附記シテ署名、捺印セシメ其届出ヲ爲スヘキモノトス

●第一 届書ニ記載スヘキ條件

- 一 入籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 二 入籍スヘキ家ノ戸主又ハ家族入籍スヘキ者トノ親族關係
 - 三 入籍スヘキ者カ廢家シテ他家ニ入ルトキハ其旨
 - 四 入籍スヘキ者カ家族ナルトキハ其去ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業、本籍地及ヒ其戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄
- 第二 戸主ノ同意ヲ得ヘキモノ
- 一 家族ノ庶子、私生子ヲ其家ニ入ルトキ
 - 二 他家ニアル戸主ノ親族カ戸主ノ家族ト爲ルトキ

- 三 他家ノ家族タル親族ヲ戸主ノ家族ト爲ストキ新舊戸主ノ同意ヲ要ス
 - 第三 親權ヲ行フ父又ハ母又ハ後見人ノ同意ヲ得ヘキモノ
 - 一 第二ノ二號三號ニ掲ケタル者カ未成年者ナルトキ
 - 第四 配遊者ノ同意ヲ要スヘキモノ
 - 一 婚姻ニ依リ他家ニ入りタル者カ配遊者ノ親族ニアラサル自己ノ親族ヲ婚家ノ家族ト爲サントスルトキ
 - 二 婚家ヲ去リタル者カ其家ニ在ル自己ノ直系卑屬ヲ自家ノ家族ト爲サントスルトキ
 - 第五 養親ノ同意ヲ要スヘキモノ
 - 一 養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者カ養親ノ親族ニアラサル自己ノ親族ヲ養家ノ家族ト爲サントスルトキ
 - 二 養家ヲ去リタル者カ其家ニ在ル自己ノ直系卑屬ヲ自家ノ家族ト爲サントスルトキ
- 例
- 第四百十六條 民法第七百三十五條第一項若シハ第七百三十七條ノ規定ニ依リ他家ノ家族ト爲ラント欲スル者又ハ民法第七百二十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ヲ婚家養家又ハ自家ノ家族ト爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ入籍ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス
- (註記) 本條ニ列記シタル一號ノ乃至四號ハ本文第一ニ記載セシテ以テ略ス
- 第四百十七條 民法第七百三十五條第一項、第七百三十七條及ヒ第七百三十八條ノ規定ニ依リ戸主、配遊者、養親、親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ届出人ハ届書ニ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ニ署名捺印セシムルコトヲ要ス

附録 入籍届書式

父ノ認知ヲ得タル私生子即チ庶子ニシテ其戸主同意セシメテ父ノ家ニ入ルコト能ハスシテ母ノ家ニ入り又ハ私生子出生ノトキ戸主ノ同意セサルニ依リ母ノ家ニ入ルコト能ハスシテ一家ヲ創立スルノ例ハ第二章第一節出生届出書式ニ掲載シアルヲ以テ茲ニ之ヲ省ク

- 第一 私生子ニシテ一家ヲ廢シテ母ノ家ニ入ル届出ノ書例

廢家入籍届

三 瓶 勘 助

宇都宮市大字地上町二番地戸主馬勞業

右勘助姉セン私生子河内郡平石村大字石井九百二番

地戸主平民機職業

三 瓶 サ ン

明治貳年四月五日生

右姪サンノ入籍ニ同意セシコトヲ證明ス

三 瓶 勘 助

私生子サン廢家ノ上伯父勘助ノ家ニ入テ其家族ト爲ルニ同意セシコトヲ證明ス

三 瓶 セ ン

文久參年參月五日生

右入籍及御届候也

明治參拾壹年八月拾六日

●第二 戸主親族ナル他家ノ家族入籍届出ノ書例
親族入籍届

親權執行者

母

三瓶

セノ

津市大字南堀端一番町十五番地戸主平民陶器商
幸名渡弟

陶器製造業 幸名 茂八

右茂八實父三重郡四市日町大字北町六十五番地戸主士族陶器商久松茂承家族ニ入籍ス

右二男茂八ノ家族トシテ入籍ニ同意セシコトヲ證明ス

茂八實父 久松 茂承

天保拾貳年五月七日生

右茂八カ實父久松茂承ノ家族ト爲ルコトニ同意シタルコトヲ證明ス

茂八兄 桑名 渡

元治元年拾月貳拾壹日生

右入籍及御届候也

明治參拾貳年拾貳月拾五日

桑名 茂八

津市戸籍吏伊勢平一郎殿

●第三 實家ニ於テ舉ケタル子ヲ養家ノ家族ト爲スノ届出ノ書例

親族入籍届

上京區下天神町十七番地戸主平民菓子商天滿三郎養

子無職業天滿五郎實子

下京區御供町四番地戸主書籍商生玉新一孫

入籍者 菓子職 十郎

明治拾年貳月四日生

右十郎カ家ニ入りテ家族ト爲ルニ同意セシコトヲ證明ス

天滿 三郎

天保八年拾月貳拾五日生

天滿 五郎

文久元年六月參日生

右十郎天滿三郎ノ家ニ入り其家族ト爲ルニ同意セシコトヲ證明ス

生玉 新一郎

天保參拾年八月參日生

右入籍及御届候也

明治參拾八年六月拾六日

届出入 生玉 十郎

京都市上京區戸籍吏鳴川清殿

●第四 婚家ヲ去リタル者婚家ニ擧ケタル子ヲ自家ノ家族ト爲スノ届出ノ書例
婚家ノ子(女)入籍届

犬上郡彦根町大字芹橋一丁目十二番地戸主土族著作
業橋瓜賑實子
同郡彦根町大字西榮三十八番地戸主刀劍商二井三郎
繼子無職業

入籍者

八百吉

右八百吉ノ入籍ニ同意シタルコトヲ證明ス

明治貳拾壹年六月拾日生

橋 瓜 賑

右八百吉カ其實父賑ノ家族ト爲ルニ同意セシコトヲ證明ス

明治五年貳月五日生

二 井 三 郎

親權ヲ
行フ母

二井三郎妻無職業

明治元年六月四日生

二 井 八 郎

右八百吉入籍爲致候條此段及御届候也
明治參拾壹年七月拾六日

橋 瓜 八 百 吉

第二節 離籍届

犬上郡彦根町竹生島次殿

成年ノ家族ニシテ戸主ノ定メタル場所ニ居住セス催告スルモ應セス又ハ家族カ戸主ノ同意ヲ得スシテ婚
姻、養子縁組ヲナシ若クハ養子ヲ爲シタルトキハ戸主ハ其家族ヲ離籍スルコトヲ得ヘク戸主ニ離籍セラレ
タル家族ハ一家ヲ創立セサルヘカラス戸主ニ於テ家族ヲ離籍シ又離籍ニ依リ一家ヲ創立シタルトキハ左ノ
諸件ヲ具シテ届出ツヘキモノニシテ離籍者カ一家ヲ創立シタル者ハ離籍セラレタル事實ヲ知りタル日ヨリ
十日内ニ届出ツルコトヲ要ス

●第一 戸主カ家族ヲ離籍セントスルトキ届出ニ具スヘキ諸件

- 一 離籍セラレヘキ者ノ氏名出生ノ年月日及ヒ職業
- 二 離籍ノ原因及其原因發生ノ年月日
- 三 離籍セラレヘキ者ト共ニ家ヲ去ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト離籍セラ
ルヘキ者トノ續柄

●第二 離籍ニ依リ一家ヲ創立シタル者カ届出ニ具スヘキ件

- 一 離籍ヲ爲シタル戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 離籍ヲ爲シタル戸主ト届出人トノ續柄
- 三 離籍ノ原因及ヒ年月日
- 四 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄

(例)

第四百十八條

(註記)

本條ノ成文中第一號乃至第四號ハ原文ノ儘本文ニ列記セシニ依リ略ス但該第二號ノ離婚ノ原因トハ家族ニ於テ戸主ノ同意ヲ得ス民法ノ明文ニ反シテ婚姻又ハ養子縁組ヲ爲シタルカ如キ其離婚スヘキ原因タル事由ヲ云ヒ原因ノ發生トハ即チ其養子縁組又ハ婚姻ヲ爲シタル年月日ヲ云フ又離婚セラレタル者ト共ニ家ヲ去ルトハ父カ離婚セラレタルトキ其子ハ父ニ隨テ其家ヲ去ルカ如キモノニシテ子ハ父ニ隨フヘキ原則ニ依リ父カ離婚セラレタルトキハ子ハ家ニ在ルコトヲ得サレハナリ

第四百十九條 離婚ニ因リテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

(註記)

本條モ亦第一號乃至第四號ハ成文ノ儘本文ニ掲ケタルヲ以テ之ヲ省ク離婚ニ因リ一家ヲ創立スルトハ離婚セラレタル者ハ勢ヒ一家ヲ創立セサルヲ得ス若シ一家ヲ創立シ得サルトキハ無籍者ヲ生スヘキモノニシテ天下豈ニ無籍者アラサルヘカラレハナリ第四號ノ届出人ノ家ニ入ルトハ離婚ニ依リ共ニ其家ヲ去ル者ヲ云フ

附録 離婚及ヒ一家創立ノ届書

第一 戸主ノ指定シタル居所ニ在ラサルニ依リ家族ヲ離婚スル届出ノ書例

離婚届

芝區神明町十六番地戸主平民待合茶屋業詔間エノ方
被離婚者 無職業 馬太郎
明治七年九月七日生

右馬太郎明治貳拾八年五月貳日以後指定ノ場所ニ在ラサルニ付明治參拾壹年七月拾六日五个月内ニ戸主ノ家ニ復歸シ戸主ト同居スヘキ旨催告シ明治參拾壹年拾貳月拾五日ニ至リ期間満了スルモ復歸同居セスシテ催告ニ應セス仍テ離婚ス

馬太郎ト共ニ家ヲ去ル者

馬太郎長男 無職業

丑之助

明治貳拾八年四月貳日生

右離婚致候間及御届候也

明治參拾壹年拾貳月拾七日

離婚届出人 詔 間 エ ノ 方

萬延元年六月拾八日生

京東市芝區戸籍吏花園一枝殿

第二 戸主ノ同意ヲ得スシテ養子ヲ爲シタルニ依リ離婚届出ノ書例

離婚届

麴町區富士見町三丁目七番地戸主新平民靴商伯父

被離婚者 靴 職

團 十

文久貳年貳月拾壹日生

右團十明治參拾貳年壹月拾五日戸主ノ同意ヲ得スシテ養子ヲ爲シタルニ因リ離婚ス

團十ト共ニ家ヲ去ル者

團十養子 靴 職

革 造

明治拾壹年參月四日生

右離婚致候條及御届候也

明治參拾貳年貳月四日

●第三 離籍ニ依リ一家創立届出ノ書例
 一家創立届

新 民 平
 弘化元年七月六日生

芝區神明町十六番地戸主平民待合茶屋業
 離籍ヲ爲シタル戸主 詫 間 エ ン

小石川區大門町十九番地戸主平民無職業
 一家創立者 詫 間 馬 太 郎
 明治七年九月七日生

右馬太郎戸主ノ催告ニ應セス戸主指定ノ場所ニ住居セサルニ付明治參拾壹年拾貳月拾六日離籍セラル
 馬太郎ノ家 馬太郎長男 無職業 丑 之 助
 明治貳拾八年四月貳日生

右離籍ニ付一家創立候條及御届候也
 明治參拾壹年拾貳月拾九日

東京市小石川區戸籍吏小川礫太殿
 詫 間 馬 太 郎

第三節 復籍拒絶ノ届

凡ソ婚姻又ハ養子縁組ニ依リ他家ニ入りタル者カ離婚、離縁トナリタルトキハ實家ニ復籍スルハ一般ノ通則ナリト雖モ家族カ戸主ノ同意ヲ得シテ婚姻又ハ養子縁組ヲ爲シタル場合ニ於テハ戸主ハ民法ノ規定ニ依リ其復籍ヲ拒絶スルコトヲ得ヘキニ依リ戸主ニ於テ復籍ヲ拒マントスルトキハ戸主ハ左ノ諸件ヲ具シテ戸籍吏ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 二 復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
 - 三 復籍拒絶ノ原因及ヒ其原因發生ノ年月日
- 復籍ヲ拒絶セラレタル者又ハ復籍スヘキ家カ廢絶シタルトキハ婚姻又ハ養子縁組ニ依リ他家ニ入りタル者カ離婚又ハ離縁セララルルモ勿論實家ニ復歸スル能ハサルニ依リ是等ノ者カ離婚又ハ離縁トナリタルトキハ一家ヲ創立セサルヘカラス一家ヲ創立シタルトキハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ届出ヲ爲スヘキモノトス

- 一 復籍ヲ拒ミタル戸主又ハ廢絶シタル家ノ最終ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ノ原因及ヒ年月日
- 三 届出人ノ家ニ入ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄

例 第五百十條 戸主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マント欲スルトキハ左ノ諸件ヲ具シテ届出ツルコトヲ要ス

(註記) 本條第一號乃至第三號ハ成文ノ儘本條第一項ニ之ヲ掲ケタルニ依リ略ス但復籍拒絶ノ原因

トハ法條ニ反シ戸主ノ同意ヲ得スシテ婚姻又ハ縁組ヲ爲シテ他家ニ入ルモノ即チ其原因ナリ其他家ニ入リタル年月日ハ其ノ原因發生ノ年月日トナリトス

第五百一十一條 復籍拒絶又ハ復籍スヘキ家ノ廢絶ニ因リテ復籍ヲ爲スコト能ハサル者カ一家ヲ創立シタルトキハ其實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

(註記)

本條ノ第一號乃至第三號モ亦本文第二項ニ成文ノ儘ヲ掲ケタレハ茲ニ略ス其第三號ノ届出人ノ家ニ入ルヘキ者トハ例ヘハ妻カ夫ノ離縁ニ依リ夫ニ隨テ夫ノ家ニ入ルカ如キ場合ヲ云フ

附録 復籍拒絶及一家創立届書式

●第一 戸主ノ同意ヲ得スシテ婚姻ヲ爲シタルニ依リ復籍ヲ拒絶スル届出ノ書例

神田區佐久間町十九番地戸主平民船宿業

猪 牙 舟 吉

明治參年五月拾日生

舟吉妻無職業 カ 子

明治拾年四月拾貳日生

右カチ明治三拾壹年七月貳拾八日戸主ノ同意ヲ得スシテ舟吉ト婚姻ヲ爲シタルニ付復籍ヲ拒絶ス右復籍拒絶致候條此段及御届候也

小石川區江戸川町四番地戸主平民綱打業

カチ兄 大 曲 駒 吉

明治元年壹月拾日生

●第二 復籍ヲ拒絶セラレタル者離縁ニ付一家創立届出ノ書例

復籍拒絶ニ付一家創立届

東京市小石川區戸籍吏小川礫太殿

復籍拒絶者 小石川區江戸川町四番地戸主平民綱打業

大 曲 駒 吉

明治元年壹月拾日生

神田區佐久間町十九番地戸主平民船宿業猪牙舟吉妻

一家創立者 無職業 カ 子

明治拾年四月拾貳日生

右カチ兄駒吉ノ同意ヲ得スシテ婚姻セシ爲メ明治參拾壹年八月拾五日離縁セラレ

離縁ニ依リ一家創立

右離縁ニ依リ一家創立候條此段及御届候也

猪 牙 カ 子

東京市神田區戸籍吏芝崎守殿

●第三 實家廢絶ニ依リ離縁ノ養子一家ヲ創立スル届出ノ書例

離縁ニ付一家創立届

豊多摩郡内藤新宿町一丁目一番地戸主平民煙草商

離縁ヲ爲シタル戸主 戸 部 幸

天保五年八月六日生
同郡千駄ヶ谷村大字新町十一番地戸主平民水車業
一家創立者
玉川 徹

右徹父玉川冷二慶應參年九月拾八日死亡家督相續人ナシテ絶家トナリタルニ依リ復籍スルコト能ハ
ス 離縁ニ因リ一家創立

徹ト共ニ
入籍ス 徹妻

明治拾壹年六月六日生

右離縁ニ付一家創立致候條及御届候也

明治參拾五年參月貳日

玉川 徹

第四節 入籍離籍及復籍拒絕ニ關スル登記書式

附録第一號ノ十五

明治何年

本籍人

身分登記簿

入籍、離籍及ヒ復籍拒絕之部

東京市神田區戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名 圖

第一號(月一四六、民七三五ノ一)

神田區鎌倉河岸二丁目三番地戶主平民酒問屋

落合 六 兵 衛

文化元年貳月四日生

右六兵衛妹キン私生子神田區三河町三丁目一番地戶主平

民無職業

廢家ノ上入籍

尾 野 兵 助

明治五年參月貳日生

右入籍明治參拾壹年拾月五日届出同日受附
第二號(月一四六、民七三七)

神田區錦町一丁目四番地戶主無職業

與 田 七 郎

文化貳年參月五日生

神田區鈴木町八番地戶主平民無職業

廢家ノ上入籍 七郎弟

下 田 鶴 松

明治元年貳月拾日生

右入籍明治參拾壹年拾月貳拾日届出同日受附
第三號(月一四六、民七三八)

神田區小川町五十番地戶主平民普籍商山口太郎

(明治元年七月六日生)妻無職業

夕 カ

明治七年五月四日生

右タカ兄本郷區退分町三番地戶主官吏添田五郎(天保貳
年參月六日生)三女

入 籍

ハ ナ

右入籍明治參拾壹年拾壹月貳日届出同日受附
第四號(月一四八、民七五〇)

神田區美土代町一丁目四番地戶主平民青物商三平弟
無職業

戶 口 平 次

明治五年六月八日生

右平次明治參拾壹年貳月四日戶主ノ同意ヲ得スシテ婚姻ヲ爲シタルニ付離籍セラル

離籍人

戶 口 三 平

右離籍明治參拾貳年壹月六日届出同日受附㊦
第五號(月一四八、民七五〇)

明治元年拾月貳日生

神田區堅大工町六番地戸主平民農德兵衛三男無職業

河内 德三郎

右德三郎明治參拾貳年貳月四日戸主ノ同意ヲ得スシテ養子ヲ爲シタルニ付離籍セラル

德三郎ト共ニ家ヲ去ル 德三郎養女

カ マ

明治拾九年八月六日生

離籍人

河内 德兵衛

文化參年貳月四日生

右離籍明治參拾貳年貳月貳拾日届出同日受附㊦
第六號(月一四九、民七五〇)

神田區堅大工町六番地戸主農

離籍ヲ爲シタル戸主

河内 德兵衛

文化參年貳月四日生

小石川區指ヶ谷町八番地戸主平民無職業

一家創立者

河内 德三郎

明治參年貳月九日生

右德三郎父德兵衛ノ同意ヲ得スシテ養子ヲ爲シタルカ爲メ明治參拾貳年貳月貳拾日離籍セラル
一家創立

德三郎ノ家ニ入ル 德三郎養女

カ マ

明治拾九年八月六日生

右離籍ニ因ル一家創立明治參拾貳年參月壹日届出同日受附㊦
第七號(月一五〇、民七五〇)

神田區錦町一丁目三番地戸主平民運送業川上秀雄
(明治元年參月四日生)養子無職業

音 吉

明治九年八月七日生

右音吉明治參拾壹年五月參日戸主ノ同意ヲ得スシテ養子ト爲リタルニ付復籍ヲ拒絕セラル

下谷區練堀町十番地平民菓子商

寄留地 神田區錦町三丁目一番地

拒絕者

音吉實父 下井 儀一

文化貳年四月七日生

右復籍拒絕明治參拾壹年拾貳月貳日届出同日受附㊦
第八號(月一五一、民七五〇)

下谷區練堀町十番地戸主菓子商

拒絕者

下井 儀一

文化貳年四月七日生
神田區美土代町一丁目五番地戸主平民無職業
一家創立者
川上音吉

明治九年八月七日生

右音吉父儀一ノ同意ヲ得スシテ養子トナリタルカ爲メ明治參拾壹年拾貳月貳日復籍ヲ拒絕セラレ

右復籍拒絕ニ因レル一家創立明治參拾貳年壹月七日届出同日受附
第九號(月一五一、民七四〇)

神田區美土代町一丁目五番地戸主平民無職業
廢家ノ最終ノ戸主
川上音吉

明治九年八月七日生

神田區今川小路二丁目三番地戸主平民無職業

一家創立者 音吉妹 田上ラク

明治拾壹年貳月參日生

右ラク兄音吉明治參拾五年貳月五日廢家シテ他家ニ入りタルカ爲メ復籍スルコト能ハス
離婚ニ因リ一家創立

右廢家ニ因リ一家創立明治參拾九年八月七日届出同日受附

第十七章 廢家及絶家 第一節 廢家絶家ニ關スル届

凡ソ分家又ハ一家創立ニ依リ戸主ト爲リタル者ハ其家ヲ廢シ他ノ家ニ入ルコトヲ得ヘキモ家督相續ニ因リ戸主トナリタル者即チ二代以上襲續ノ戸主ハ一家ヲ廢シテ他家ニ入ルコトヲ得ス然レトモ本家相續又ハ本家ヲ再興シ其他正當ノ事由ニ因リ裁判所ノ許可ヲ得タルトキハ二代以上世襲ノ戸主タリトモ其家ヲ廢スルヲ得ヘシ然リ而シテ家督相續ニ依リ戸主トナリタルニアラサル者ニ於テ廢家ヲ爲サントスル者ハ家督相續ニ因リ戸主トナリタル者ニアラサルコトノ證明書ヲ作り左ノ諸件ヲ具シテ直チニ戸籍吏ニ届出ツヘシ又家督相續ニ因リ戸主ト爲リタル者カ廢家セントスルトキハ裁判所ニ之カ請求ヲ爲シ許可ヲ得タル後其許可ニ關スルノ裁判ノ謄本ヲ添ヘ左ノ諸件ヲ具シテ廢家ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 廢家シタル者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 廢家シタル者ニ隨ヒテ他家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業
戸主カ死亡シ其他一家ニ戸主ヲ失ヒテ家督相續人ナキトキハ其家ハ絶家トナルヘキモノニシテ其家ニアル處ノ家族ニシテ父又ハ母アル者ハ父又ハ母ニ隨ヒ其他ハ各一家ヲ創立スヘキモノナリ此ノ如ク一家ヲ創立シタル者ハ其家斷絶シテ已レカ一家ヲ創立シタルコトヲ知リタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ絶家及一家創立ノ届出ヲ爲スヘキモノトス
- 一 絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地
- 二 絶家ノ原因及ヒ年月日
- 三 一家ヲ創立シタル者ニ隨テ其家ニ入ル者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

例

第五百二十二條 廢家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シ家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者ニ非サルコトノ證明書又ハ廢家ノ許可ニ關スル裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ツルコトヲ要ス

〔註記〕

本條第一號及第二號ハ本文第一項ニ成文ノ儘ヲ掲ケタルニ依リ茲ニ畧ス

第五百十三條 絶家ノ家族ニシテ一家ヲ創立シタル者ハ其事實ヲ知りタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ絶家及ヒ一家創立ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

〔註記〕

本條第一號乃至第三號モ亦成文ノ儘本文ノ末項ニ列記シタルハ之ヲ略ス第一號ノ最終ノ戶主トハ其絶家ノ際戶主タリシ者ヲ云フ

附録 廢家及ヒ絶家居出書式

●第一 廢家居出ノ書例

廢 家 届

四谷區鹽町三丁目二番地戶主平民豆腐商

廢家人

大 木 戸 一 郎

明治六年六月七日生

戶一耶ノ家

妻 無職業

明治拾壹年貳月六日生

北豊島郡板橋町大字下板橋百八十四番地戶主平民貸

座敷業

戶一耶ノ入ル
ヘキ家ノ戶主

大 木 久

明治元年參月四日生

右廢家致候條別紙證明書(裁判謄本)相添此段及御届候也

明治參拾五年拾壹月壹日

大 木 戸 一 郎

北豊島郡板橋町戶籍吏榎本孤仙殿

●第二 廢家ニ關スル證明書例

證 明 書

四谷區鹽町三丁目二番地戶主平民豆腐商

廢家人

大 木 戸 一 郎

明治六年六月七日生

右戶一郎北豊島郡板橋町大字下板橋百八十四番地貸座敷業大木久ノ弟ニテ明治十年九月拾八日分家シ

一家創立シタル戶主ニシテ家督相續ニ因リ戶主トナリタル者ニアラス

右證明候也

明治參拾五年拾壹月壹日

大 木 戸 一 郎

北豊島郡板橋町戶籍吏榎本孤仙殿

●第三 絶家及一家創立届出ノ書例

北足立郡浦和町大字浦和三番地戶主平民日本鐵道會

社驛夫

絶家最終ノ戶主

大 宮 榮

明治拾年拾月拾日生

右榮家督相續人ナキニ因リ明治參拾四年五月拾壹日絶家

戶籍法 第四編 第十七章 第一節 附録

南埼玉郡岩槻町大字岩槻七十八番地平民藥種商
一家創立者 大 宮 和

和ノ家ニ
入ル者

和長男

無職業

巳之吉

明治拾壹年壹月貳日生
明治貳拾六年拾貳月八日生

右絶家及一家創立及御届候也

明治參拾五年貳月八日

北足立郡浦和町戶籍吏坂本太郎殿

届出人

大 宮

和

第二節 廢家及絶家ニ關スル登記書式

附錄第一號ノ十六

明治何年

本籍人

身分登記簿

廢家及ヒ絶家之部

東京市淺草區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏

名 圖

第一號(月一五二)

二五四十二

神田區美土代町一丁目五番地戸主平民無職業
廢家人 養子 川上音吉

明治九年八月七日生

妻

淺草區左衛門町六十五番地戸主酒商
明治拾貳年參月四日生

右音吉ノ入ルヘキ家ノ戸主 山上卓一

明治元年貳月參日生

右廢家明治參拾五年貳月五日届出同日受附
第二號(月一五三)

淺草區左衛門町河岸第六號地戸主無職業

絶家最終ノ戸主

岡田三平

天保參年六月四日生

右三平家督相續人ナキニ因リ明治參拾壹年九月六日絶家

淺草區三筋町三丁目一番地戸主平民藥種店

一家創立者

岡田三次

明治元年貳月四日生

三次妻

トク

明治九年拾月五日生

右絶家及ヒ一家創立明治參拾貳年八月八日届出同月受附

第十八章 分家及廢絶家再興

第一節 分家及廢絶家再興ニ關スル届出

凡ソ家族ハ戸主ノ同意ヲ得テ分家シ又ハ廢絶シタル本家、分家、同家其他親族ノ家ヲ再興スルコトヲ得ヘク若シ其家族カ未成年者ナルトキハ親權ヲ行フ父又ハ母若クハ後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス故ニ家族ハ是等ノ同意ヲ得スシテ分家又ハ廢絶家ヲ再興スルコトヲ得サルナリ家族カ戸主又ハ其他ノ者ノ同意ヲ得テ分家又ハ廢絶家ヲ再興セントスルトキハ左ノ諸件ヲ具シ戸主其他ノ者ノ同意ヲ爲シタル證明書ヲ添ヘ又ハ其同意ノ旨ヲ届書ニ記載シ署名捺印セシメテ届出ツルコトヲ要ス

●第一 分家セントスル者カ届出ツヘキ條件

一 分家ノ戸主トナルヘキ者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

二 本家ノ戸主ノ氏名、職業、本籍地及ヒ其戸主ト分家ノ戸主ト爲ルヘキ者トノ續柄

三 分家ノ家族ト爲ルヘキ者アルトキハ其名、出生ノ年月日及ヒ職業

四 分家ノ戸主及ヒ家族ト爲ルヘキ者ノ父母ノ氏名、職業及ヒ本籍地

●第二 廢絶家ヲ再興セントスル者カ届出ツヘキ條件

一 廢絶家ノ最終ノ戸主ノ氏名職業、及ヒ本籍地

二 廢絶ノ原因及ヒ年月日

三 廢絶シタル家ト再興ヲ爲ス者ノ家トノ續柄

四 再興ヲ爲ス者ノ戸主ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地

五 再興ヲ爲ス者ニ隨ヒテ其家ニ入ルヘキ者ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

例

第五百四十四條 分家ヲ爲サント欲スル者ハ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

(註記)

本條第一乃至第四號ハ本文第一項ニ成文ノ儘ヲ掲ケタルニ依リ之ヲ略ス但本條第三號ノ分家ノ家族トナルヘキモノトハ其分家スル者ニ隨テ分家スル家ニ入ルヘキ者ヲ云フ

第五百四十五條

(註記)

本條第一號乃至第五號モ亦成文ノ儘ヲ本文ノ末項ニ掲ケタルハ略ス而シテ第三號ノ廢絶シタル家ト再興ヲ爲ス者ノ家トハ例ヘハ本家ノ家族ニシテ分家同家ヲ再興シ分家ノ戸主又ハ家族ニシテ本家又ハ同家ヲ再興シ若クハ親族ノ家ヲ再興スルトキハ本家ト分家又ハ同家若クハ親族相互ヲ云ヒ第五號ノ再興ヲ爲ス者ニ隨テ其家ニ入ルトハ再興者ノ配偶者直系卑屬等カ配偶者又ハ直系尊屬ニ隨テ再興スル家ニ入ルヲ云フ

第五百四十六條 分家又ハ廢絶家再興ノ届出人ハ届書ニ戸主ノ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ戸主ヲシテ届書ニ同意ノ旨ヲ附記シ之ヲ署名、捺印セシムルコトヲ要ス
前項ノ規定ハ民法第七百四十三條ノ但書ノ規定ニ依リ親權ヲ行フ者又ハ後見人ノ同意ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

附錄 分家及ヒ廢絶家再興届出書式

第一 妻子ヲ有スル家族分家ヲ爲ス届出ノ書例

南足立郡千住町大字千住三丁目一番地戸主平民青物

問屋

本家戸主

大橋 衛門

神田區須田町十三番地果物商

明治參年拾貳月貳拾八日生

分家戸主

衛門弟 大橋 樽貫

明治九年拾月參日生

右父南足立郡千住町大字千住三丁目一番地無職業大橋甘吉

右母亡キヤウ

樽貫ト共ニ分家ニ入ル者 樽貫妻

サ

明治拾年九月拾日生

右父南足立郡舍人町八百一番地農粟生實

右母イガ

樽貫ト共ニ分家ニ入ル者 樽貫長男

八 彌

明治貳拾八年八月四日生

右母キサ

右樽貫ノ分家スルニ同意セシコトヲ證明ス

大橋 衛門

右妻子携帶分家ス此段及御届候也

明治參拾貳年六月拾五日

戸籍法 第四編 第十八章 第一節 附錄

●第二 家族ニ於テ親族ノ絶家ヲ再興スルノ届出ノ書例
絶家再興届

分家者 大 柿 樽 貫 ⑥

本所區緑町三丁目八番地戸主平民無職業
絶家最終ノ戸主 大 石 重 太

右重太家督相續人ナキニ因リ弘化參年拾壹月四日絶家

本所區花町二十七番地戸主平民肥料商

絶家ノ再興人 重太又甥 大 石 堅

堅ト共ニ再興
ノ家ニ入ル者

重太長男 無職業

明治拾五年參月參日生
復 藏

右堅ノ絶家大石氏ヲ再興スルニ同意セシコトヲ證明ス

明治參拾壹年五月四日生

本所區龜井戸天神町二十五番地戸主平民人形師

堅 兄 大 島 耕 齊 ⑥

明治拾年七月九日生

堅 父 大 島 金 藏 ⑥

万延元年貳月貳日生

堅 母 大 島 山 本 ⑥

右絶家再興ス仍テ及御届候也

文久元年四月八日生

明治參拾貳年七月八日

大 石 堅 ⑥

第二節 東京市本所區戸籍吏二國武總殿
分家及廢絶家再興ニ關スル登記書式

附錄第一號ノ十七

明治何年

本籍人

身分登記簿

分家及ヒ廢絶家再興之部

東京芝區戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名

第一號(月一五四)

神奈川縣橫濱市伊勢町二丁目一番地戶主平民無職業
本家戶主 中 戶 市 兵 衛
芝區明舟町三十五番地戶主平民牛肉販賣營業
分家戶主 市兵衛弟 中 戶 市 兵 衛

明治元年參月貳日生
右父神奈川縣橫濱市伊勢町二丁目一番地中戶市右衛門
右母 市三妻
明治拾年五月四日生
右父神奈川縣橫濱市扇町二丁目一番地平民松下高尾
右母亡

右分家明治參拾貳年壹月六日届出同日受附
第二號(月一五五)

淺草區左衛門河岸第六號地戶主無職業
絶家最終ノ戶主 岡 田 三 平
右三平家督相續人ナキニ因リ明治元年九月六日絶家
芝區日蔭町二丁目一番地戶主平民無職業
絶家再興人 三平甥 岡 田 丹 次
明治拾年貳月六日生

右絶家再興明治參拾貳年九月八日届出同日受附

第十九章 國籍得喪

第一節 國籍取得ノ届出

凡ソ日本人外國人ト婚姻ヲ爲シ又ハ養子縁組ヲ爲スコトヲ得ヘク外國人ノ女カ日本人ニ嫁シ又ハ外國人ノ

男カ日本ノ女ニ入夫シ若クハ婿養子トナリ外國人ノ男カ日本人ノ養子トナルコトヲ得ヘシ就中日本人カ外國ノ男子ヲ入夫トシテ之ト婚姻シ又ハ養子トシテ縁組ヲナスハ總テ内務大臣ノ許可ヲ受クルヲ要ス外國人カ婚姻又ハ養子縁組ニ因リ日本人ノ夫トナリ妻トナリ又ハ養子トナルトキハ外國人ハ日本ノ國籍ヲ取得スヘキニ依リ此場合ニ於テハ婚姻養子縁組ノ届出ヲ爲ス者ハ國籍ヲ取得シタル外國人ノ原國籍ヲ記載シタル届書ヲ要ス其内務大臣ノ許可シ得ヘキモノハ届書ニ許可書ノ謄本ヲ添ヘ國籍取得ノ届出ヲ爲スヘキモノトス

外國人ヲ日本人ニ於テ認知シタルニ因リ其認知セラレタル外國人カ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ認知ヲ爲シタル者ハ認知ノ届書ニ認知シタル子ノ原國籍ヲ記載シ若シ其母カ外國人ナルトキハ母ノ國籍ヲ之ニ記載スルヲ要ス

外國人カ日本國ニ歸化ヲ爲スハ日本政府ノ許可ヲ受ケサルヘカラス其許可ヲ受ケテ日本ノ國籍ヲ取得シタルトキハ許可ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ其届出ヲ爲スヲ要ス若シ其妻子カ歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得セサルトキハ其取得セサル事由ヲ其届書ニ記載スヘキモノトス

- 一 歸化人ノ氏名出生ノ年月日、職業、住所及ヒ原國籍
- 二 父母ノ氏名出生ノ年月日、職業及ヒ國籍
- 三 歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シタル者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業、及ヒ其者ト歸化人トノ續柄

例 四 許可ノ年月日

第五十七條 外國人カ婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ婚姻又ハ縁組ノ届出人ハ届書ニ國籍取得者ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

入夫婚姻又ハ養子縁組ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外届書ニ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添フルコトヲ要ス

(註記)

本條ハ日本人カ外國人ノ女ヲ娶リテ妻トシ又ハ外國人ノ男ヲ迎ヘテ入夫トシ若クハ婿養子ト爲シ又ハ單ニ養子トシテ縁組ヲ爲スニ因リ其外國人カ日本ノ國籍ヲ取得スルニ付キ規定セラレタルモノニシテ就中日本人カ外國人ヲ入夫又ハ養子ト爲スニハ内務大臣ノ許可ヲ得ルヲ要ス而シテ其許可ハ明治三十一年法律第二十一號ノ要件ヲ具備スルニアラサレハ許可セラレサルヘキモノトス

第五十八條 外國人カ認知ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキハ認知者ハ認知ノ届書ニ子ノ原國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

子ノ母カ外國人ナルトキハ認知者ハ届書ニ母ノ國籍ヲ記載スルコトヲ要ス

(註記)

本條ハ日本人カ外國人ヲ認知シタル爲メ其認知セラレタル外國人カ日本ノ國籍ヲ取得スヘキトキ届出ノ方法ヲ規定シタルモノニシテ其取得ニ關スル規定ハ他日國籍法頒布ヲ待テ定メラルヘシト雖モ認知ヲ得タル者ハ未成年者ニ限ルモノトス何トナレハ成年者ニ在テハ自己ノ隨意ニ國籍ヲ變シ得ヘケレハナリ

第五十九條 歸化ヲ爲シタル者ハ歸化ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

歸化人ノ妻又ハ子カ歸化人ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得セサルトキハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

(註記) 本條ノ第一號乃至第四號ハ成文ノ儘本文ニ掲ケタルハ之ヲ容ス而シテ本條ハ歸化人カ日本ノ國籍ヲ取得シタルニ依リ届出ヲ爲スノ手續ヲ規定シタル者ニシテ外國人カ日本ニ歸化スルハ内務大臣ノ許可ヲ受クルヲ要ス其歸化ニ關スル規定ハ國籍法ニ定ムヘキモノナレハ他日國籍法ノ發表ニ依リ其規定ヲ判明スヘキモノナリ

(參照)

明治三十一年七月九日法律第二十一號

明治六年第百三號布告左ノ通り改正ス

- 第一條 日本人ハ外國人ヲ養子又ハ入夫ト爲スニハ内務大臣ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス
- 第二條 内務大臣ハ外國人カ左ノ條件ヲ具備スルニ非サレハ前條ノ許可ヲ與フルコトヲ得ス
 - 一 引續キ一年以上日本ニ住所又ハ居所ヲ有スルコト
 - 二 品行端正ナルコト

附錄 國籍取得ノ届出書式

●第一 外國人ヲ養子ト爲シタルニ付國籍取得届出ノ書例

魏町區下六番町三十二番地戸主士族官吏
 養父 新 進
 明治元年八月七日生
 養母 アキ
 明治五年壹月壹日生
 養子 英國人 救員
 ヲヨシ

明治拾壹年七月五日生

右ヲヨシ養子縁組ニ因リ國籍ヲ取得ス
 右養子國籍取得ニ付内務大臣ノ許可書ノ謄本相添及御届候也
 明治參拾參年拾貳月九日

新 進

●第二 日本人ト婚姻ニ因リ外國ノ女ノ國籍取得届出ノ書例

東京市魏町區戸籍吏星岡富吉殿
 婚姻ニ依ル國籍取得ノ届
 神田區駿河臺甲賀町二番地士族中立業
 夫 二階堂 信行
 明治八年七月貳拾日生
 妻 佛國人 無職業
 ビ子ヲ
 明治拾壹年貳月四日生

右婚姻ニ付國籍ヲ取得ス仍テ及御届候也

明治參拾壹年拾月拾日

二階堂 信行

●第三 歸化人ニ在テ國籍ヲ取得シタル届出ノ書例
 歸化ニ因ル國籍取得届
 東京市神田區戸籍吏芝崎守殿

戸籍法 第四編 第十九章 第一節 附錄

芝區芝公園第十一號地教員佛國人

バテント、イール

千八百五十八年九月拾八日生

バテント、アイソル

千八百四十四年貳月拾貳日生

スミス

千八百四十五年五月五日生

マリヤ

千八百五十九年七月貳日生

イールト共ニ國籍ヲ取得シタル者

妻

母

父

佛國人 官吏

右國籍取得致候條別紙内務大臣ノ許可書ノ謄本相添へ及御届候也

明治參拾參年八月拾日

東京市芝區戶籍吏花園一枝殿

バテント、イール

第二節 國籍喪失書

日本ノ女カ外國人ト婚姻ヲ爲シ婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者カ離婚又ハ離縁ニ依リ外國人ノ國籍ヲ有シ若クハ日本人タル子カ認知ニ因リ外國ノ國籍ヲ取得シ其他自己ノ志望ニ依リ外國ノ國籍ヲ取得シタル者等ハ皆日本ノ國籍ヲ失フヘキモノナリ其日本ノ國籍ヲ失フヘキ者ハ國籍喪失ノ前ニ未ニ列記シタル諸件ヲ具シテ届出ツルコトヲ要ス若シ國籍喪失前ニ其届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ喪失後十日内ニ之ヲ爲サルヘカラス然レトモ國籍喪失者カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ國籍喪失後ニ

於テ其届出ヲ爲スコトヲ要セス

又日本ノ國籍ヲ失フ者カ滿十七年以上ノ男子ナルトキハ國籍喪失ノ届出人ハ届書ニ本人カ既ニ陸海軍ノ現役ニ服シタルコト又ハ之ニ服スルノ義務ナキコトノ證明書ヲ添フルコトヲ要シ若シ其者カ官職ヲ帶フル者ナルトキハ國籍喪失届出人ハ所屬長官ノ許可ヲ得テ其許可書ノ謄本ヲ届書ニ添フヘキモノトス

- 一 國籍喪失ノ原因
- 二 國籍喪失ノ期日ヲ知り得ヘキトキハ其年月日
- 三 法定ノ推定家督相續人アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト届出人トノ續柄
- 四 新ニ取得スヘキ國籍
- 五 届出人ノ妻又ハ子カ共ニ國籍ヲ失フヘキトキハ其妻又ハ子ノ名、出生ノ年月日及ヒ職業

(例)

第六十條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者ハ其國籍喪失前ニ左ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

(註記) 本條ノ第一號乃至第五號ハ成文ノ儘本文ニ掲ケタルニ依リ略ス但國籍喪失ニ關スル規定ハ

國籍法ノ頒布アルニアラサレハ知ルニ由ナキモノタルハ以下第二條共亦註記ヲ省略ス

第六十一條 日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ國籍喪失前ニ前條ノ届出ヲ爲スコト能ハサルシトキハ國籍喪失後十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ國籍喪失者カ日本ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ之ヲ適用セス

第六十二條 日本ノ國籍ヲ失フヘキ者カ滿十七年以上ノ男子ナルトキハ國籍喪失ノ届出人ハ届書ニ其者カ既ニ陸海軍現役ニ服シタルコト又ハ之ニ服スル義務ナキコトノ證明書ヲ添フルコトヲ要ス

日本ノ國籍失フヘキ者カ官職ヲ帶フル者ナルトキハ國籍喪失ノ届出人ハ届書ニ所屬長官ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

(備考) 第三編第四章參觀

附錄 國籍喪失届出書式

日本橋區馬喰町二丁目戶主平民運漕業西野遠洋二女
無職業
ベルチ

明治拾貳年五月拾六日生

右ベルチ米國人ミリ、センナート、ト婚姻ヲ爲スニ因リ國籍ヲ喪失ス

明治參拾參年拾壹月四日

届出人

西野 遠洋

文久元年七月貳日生

東京市日本橋區戶籍吏江戶眞雄殿

第三節 國籍回復届

婚姻ニ因リ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者カ婚姻解消ノ後日本國ニ住所ヲ定メテ國籍ヲ回復セントシ又ハ自己ノ志望ニ依リ外國ノ國籍ヲ取得シ若クハ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者ノ妻子ニシテ其夫又ハ父ノ國籍ヲ取得シ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者等カ又日本國ニ住所ヲ定メテ國籍ヲ回復セントスルニハ内務大臣ニ出願シテ其許可ヲ得ヘシ内務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ其許可ヲ得タル日ヨリ十日内ニ許可書ノ謄本ヲ添ヘ左ノ諸件ヲ具シテ届出ヘキモノトス

一 日本ノ國籍ヲ失ヒタル原因及ヒ年月日

二 國籍回復前ニ有セシ國籍

三 國籍回復ノ許可ヲ得タル年月日

四 國籍回復者ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ之ヲ回復シタル者アルトキハ其名、出生ノ年月日、職業及ヒ其者ト國籍回復者トノ綴柄

(例)

第六十三條 日本ノ國籍ヲ回復シタル者ハ國籍回復ノ許可ヲ得タル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ内務大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

(註記)

本條第一號乃至第四號ハ成文ノ謄本文ニ掲ケタルハ之ヲ略ス

(附記)

本條ニ付テハ國籍法頒布ノ上ナラテハ確乎タル手續ヲ知ルニ由ナクハ届出書式等ヲモ亦之ヲ略ス

第四節 國籍得喪ニ關スル登記書式

附錄第一號ノ十八

明治何年

本籍人

身分登記簿

國籍得喪之部

東京市麴町區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名 圖

第一號(月一五七)

夫 麴町區元園町一丁目八番地戶主平民雜貨商
井口 冷水 千八百五拾八年九月貳拾六日生

妻 獨國人 無職業
ヘルミ 千八百六拾壹年五月參拾日生

右ヘルミ婚姻ニ因リ國籍ヲ取得ス

婚姻證書作製者
伯林身分取扱吏 パウル、レン子

婚姻證書作製 千八百八拾九年拾月九日

右婚姻證書ノ謄本明治參拾壹年拾貳月貳拾日外務大臣甲野乙郎發送同日受附

第二號(月一五七)

麴町區永田町一丁目六番地戶主平民官吏

養父 寺山 太郎 明治元年壹月六日生

養母 イヨ 明治五年八月七日生

養子 英國人 小學校教員

マリー 明治拾年六月九日生

右マリー縁組ニ因リ國籍ヲ取得ス

戶籍法 第四編 第十九章 第四節

右養子縁組明治參拾貳年六月七日届出同日受附④
第三號(月一五八)

麴町區麴町九丁目五番地戸主平民茶商飯口平三郎
庶子男獨國人

認知ニ因リ國籍ヲ取得シタル者

クルツ

右母

獨國人

明治參拾年參月四日生
マリ、ノイベルヒ

右私生子認知明治參拾貳年九月五日届出同日受附④
第四號(月一六〇)

麴町區平河町二丁目三番地戸主平民無職業

河合アキ

明治參年貳月六日生

右アキ佛國人アンリ、ベルナールト婚姻ヲ爲スニ因リ國籍喪失
右國籍喪失明治參拾貳年拾壹月拾日届出同日受附④

第一號欄外登記例

本籍人身分登記簿婚姻之部第三號參看

第二號欄外登記例

本籍人身分登記簿養子縁組之部第二十號參看

第三號欄外登記例

本籍人身分登記簿私生子認知之部第四號參看

第二十章 氏名及族稱ノ變更

第一節 氏名變更届

凡ソ氏名ヲ改稱スルハ明治五年八月第二百三十五號布告ニ依リ之ヲ禁セラレタルヲ以テ爾後氏名改稱スルヲ得サルモ其但書ニ同苗同名等ニ餘義ナキ差支アル者ハ管轄廳ヘ改名願出ヘシトアルニ依リ是等ノ差支アルトキハ管轄廳ニ出願シ其許可ヲ得テ改名スルコトヲ得ヘキモ氏ハ如何ナル差支アルモ改稱スルヲ得ス然レトモ祖先ノ氏ノ煙滅ニ屬セシモノヲ復興スル爲メ之ヲ復舊スルハ願ニ依リ許可ヲ得ヘキモノトス故ニ其許可ヲ得テ氏ヲ復舊シ又ハ改名ヲ爲ス者ハ其許可書ヲ受領シタル日ヨリ十日内ニ復舊又ハ改名ノ届出ヲ爲スヘキモノニシテ其届書ニハ復舊又ハ改名前ノ氏名復舊シタル氏又ハ改稱シタル名復舊又ハ改稱ノ原因及許可ノ年月日ヲ記載シ且之ニ管轄廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘルコトヲ要ス但華族ニニ在テハ是等ノ許可ハ宮内大臣ニ之ヲ爲スヘキニ依リ宮内大臣ノ許可書ノ謄本ヲ添フヘキモノトス

例

第六十四條 氏ヲ復舊シ又ハ名ヲ改稱シタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ管轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス

- 一 復舊又ハ改稱前ノ氏名
- 二 復舊シタル氏又ハ改稱シタル名
- 三 復舊又ハ改稱ノ原因及ヒ許可ノ年月日

附錄 復姓及改名届書式

第一 復姓届出ノ書例

復姓届

本郷區弓町二丁目十五番地戸主平民無職業

丸橋 忠 彌

嘉永六年五月七日生

右祖先ノ氏ノ湮滅ヲ憂ヒ長曾我部ニ復舊ノ儀明治參拾參年六月四日許可
右復舊ス依之別紙東京府知事ノ許可書ノ謄本相添及御届候也

明治參拾參年六月拾參日

丸橋 忠 彌

東京市本郷區戸籍吏富士元在殿

●第二 改名届出ノ書例

改名届

本郷區弓町二丁目十五番地無職業

長曾我部 忠 彌

嘉永六年五月七日生

右忠彌祖先以來諱ノ通字盛ノ字ヲ用ヒテ盛郷ト改名明治參拾五年壹月六日許可
右改名致候條別紙東京府知事ノ許可書ノ謄本相添及御届候也

明治參拾五年壹月拾日

長曾我部 忠 彌

東京市本郷區戸籍吏富士元在殿

第二節 族稱ノ變更

華族ノ子弟ニシテ更ニ華族ニ列セラレ又ハ士族平民ニシテ華族ニ列セラレ平民ニシテ士族ニ編入シ若クハ華士族ノ盟其稱ヲ失ヒタルトキハ其辭令書又ハ許可書ヲ受領シタル日ヨリ十日内ニ辭令書又ハ管轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘ戸主ハ本人ヨリ家族ノ戸主ヨリ新舊族稱及族稱變更ノ原因族稱變更ノ辭令又ハ許可アリタル年月日ヲ具シテ届出ツルコトヲ要ス其分家廢絶家再興又ハ處刑ニ因リ族稱ヲ失ヒタル者ハ此届書ヲ爲スヲ要セス但處刑ニ因リ族稱ヲ失ヒタルトキハ明治三十一年司法省訓令第六號ニ依リ檢事ヨリ本人本籍地ノ戸籍吏ニ其報告ヲ爲スヘキモノトス

(例)

第六十五條 新ニ華族ニ列セラレ又ハ華士族ノ稱ヲ失ヒタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ辭令書又

ハ管轄官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ十日内ニ届出ツルコトヲ要ス

一 新舊族稱

二 族稱變更ノ原因

三 族稱變更ノ辭令又ハ許可アリタル年月日

前項ノ届出ハ其族稱ニ變更アリタル者カ家族ナルトキハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

(註記)

本條ニ依レハ華族ニ列セラレ又ハ華族ノ平民ニ編入セラレタルモノノミ族稱變更ノ届出ヲ爲シ平民ノ士族ニ編入セラレタル者ハ此届出ヲ爲スヘキ明文ナシト雖モ平民ノ士族ニ編入セラレタル者モ亦族稱ノ變更セシモノナレハ身分登記簿ニ登記シ戸籍ニ記載セサルヘカラサルモノナルニ依リ本文ニ其事ヲ掲ケタルモノトス

第六十六條 前條ノ規定ハ分家、廢絶家再興又ハ處刑ニ因リ族稱ヲ失ヒタル者ニハ之ヲ適用セス但處

刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル場合ニ於テハ檢事ハ其者ノ本籍地ノ戸籍吏ニ其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

附錄 族稱變更届出書式

豊多摩郡大久保村大字東大久保一番地戸主舊士族
無職業

北 島 忠 道

明治七年五月拾日生

右忠道明治參拾四年拾月九日華族ニ列セラル
右辭令書謄本相添へ族稱變更及御届候也

明治參拾四年拾月拾五日

北 島 忠 道

第三節 氏名及族稱變更登記書式

豊多摩郡大久保村戸籍吏甲田一郎殿

附錄第一號ノ十九

明 治 何 年

本籍人

身 分 登 記 簿

氏名及ヒ族籍變更之部

東京市牛込區戸籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名 圖

第一號(戸一六四)

二百六十六

牛込區矢來町六番地戸主平民湯屋營業

山本又吉

明治六年八月九日生

祖先ノ苗字湮滅ヲ愛ヒ川合氏ヲ廢シ山本氏ニ復ス明治參拾壹年拾貳月五日許可
右氏ノ復舊明治參拾壹年拾貳月六日届出同日受附

第二號(戸一六四)

牛込區早稻田町五十番地戸主爲右衛門長男平民
青物商

本木長之助

明治元年七月六日生

同氏名ノ者アルニ因リ爲藏ヲ長之助ト改稱ス明治參拾貳年拾貳月拾日許可
右名ノ改稱明治參拾壹年拾貳月拾壹日届出同日受附

第三號(戸一六五)

牛込區山伏町三番地戸主華族官吏(舊士族)

新田義近

明治元年貳月九日生

右義近明治參拾貳年壹月八日ノ辭令ヲ以テ華族ニ列セラル
右族稱變更明治參拾貳年壹月九日届出同日受附

第二十一章 身分登記ノ變更

第一節 身分登記ノ變更ノ申請

凡第二章ヨリ第二十章ニ記載セシ處ノ諸件ノ届出ニ依リ登記ヲ爲シタル事件ニ於テ變更ヲ要スヘキ事項アルトキハ其事由ヲ具シテ裁判所ニ申請シ登記變更ノ請求ヲ爲スヲ得ヘシ裁判所ニ於テ許可アリタルトキハ其裁判カ確定シタル日ヨリ一个月内ニ原登記ノ件名及原登記ノ年月日、變更スヘキ事項ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ原登記ヲ爲シタル戸籍吏ニ之カ申請ヲ爲スヘキモノトス若シ確定判決ニ依リ身分登記ノ變更ヲ申請スル場合ニ於テモ又之ニ準スルコトヲ要ス

(例)

第六十七條 身分登記ノ變更ヲ請求セント欲スル者ハ原登記ヲ爲シタル戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其申請ヲ爲スコトヲ要ス

第六十八條 身分登記變更ノ申請ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ一个月内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ原登記ヲ爲シタル戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 原登記ノ件名及年月日
- 二 變更スヘキ事項

第六十九條 前條ノ規定ハ確定判決ニ依リテ身分登記ノ變更ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

附錄 登記變更申請書

明治參拾貳年壹月壹日嫡出子出生届

豊多摩郡大久保村大字西大久保一番地戸主華族官吏
前田利勝及同人妻ヨウ

右勝豊出生登記中出生ノ時ノ行ニ明治參拾壹年拾月貳拾壹日午前壹時五十分トアルヲ明治參拾壹年拾月貳拾貳日午前貳時ト變更ノ儀明治參拾貳年貳月拾參日許可ノ裁判確定ス
右裁判ノ謄本相添ヘ登記變更ノ儀申請候也

明治參拾貳年貳月拾五日

申請人

父

前田

利

勝

豊多摩郡大久保村戶籍吏甲田一郎殿

嘉永五年八月壹日生

第二節 身分登記變更登記書式

附錄第一號ノ二十

明治何年

本籍人

身分登記簿

身分登記變更之部

東京市麴町區戶籍役場

紙數表紙ヲ除キ何枚

東京區裁判所監督判事 氏 名 齋

麴町區麴町一丁目一番地戸主平民吳服商飯尾太郎
同人妻ウシ

明治參拾貳年參月五日右一郎出生登記中出生ノ時ノ行ニ午後五時トアルヲ午後六時ト變更ス明治參拾貳年五月四日許可ノ裁判確定

申請人

飯尾太郎

明治元年四月貳日生

右出生登記變更明治參拾貳年五月五日申請同日受附㊦

第五編 戸籍簿

第一章 戸籍編製

凡ソ戸籍ハ戸籍吏ノ管轄地ニ本籍ヲ定メタル者ニ付テ編製シ日本ノ國籍ヲ有セサル者ハ戸籍吏ノ管轄地内ニ在リト雖モ本籍ヲ定ムルコトヲ得ス其戸籍吏ノ管轄地内ニ戸籍ヲ定メタル者ニ付テハ戸籍ハ左ノ附録第二號離形ノ用紙ヲ用ヒテ各家別葉ニ作り附録第三號以下ノ書式ニ依テ之ヲ記載スヘシ若シ一家ノ人員多クシテ一葉ニ書キ盡ササルトキハ乙號ノ用紙ヲ接續シテ記載スヘシ又戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編製シテ帳簿ト爲シ若シ戸籍吏ノ管轄地内ニ於テ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上ノ區畫アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ戸籍吏ニ於テ之ヲ定ム其他全家他ニ寄留シ本籍地ニ地所ヲ有セス住家ナクシテ其在籍地番號ヲ定ムル能ハサル類ハ舊慣ニ從ヒ地番號ヲ附セスシテ戸籍ノ末尾ニ編綴スルコトヲ得ヘキモノトス

凡テ戸籍簿ハ正副二本ヲ設ケ正本ハ戸籍役場ニ備ヘ副本ハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ保存ス若シ便宜ニ依リ市町村ノ戸籍簿二冊以上ニ分綴スルトキハ其表紙ニ番號又ハ大字等ヲ附記スヘキモノトス總シテ戸籍其他戸籍ニ關スル書類ノ保管ニ付テハ第一編第一章ニ記述スル處ニ依ルヘシ

戸籍用紙(附録第二號)離形

(甲號)

八

寸

本籍地	麴町四丁目六番地 ^朱	前	飯田正義			
籍地	麴町區元園町一丁目三番地 ^朱	戸主	飯田正義			
横	明治六拾年八月拾日華族ニ列セラル同月拾七日届出	族稱	士族華族 ^朱			
受附㊦	同日受附㊦明治六拾年拾月六日本籍地變更届出同日	前戸主ノ稱	亡飯田正義 長男			
		父	亡飯田正義			長男
		母	タカ			
			飯田正夫			

表五

寸

明治五拾八年五月七日廻町區四番町五番地副嶋吉藏									
明治五拾八年六月壹日午後八時死亡同月貳日届出同日受附									
母					主				
父	母	家族ノ概柄ト	出生	父	母	家族ノ概柄ト	出生	父	母
副嶋吉藏	ナラ		明治九年六月四日	川下幾太郎	ナラ		明治參拾壹年六月貳拾壹日	川下幾太郎	三女
二女							父正義死亡ニ因リ明治五十九年十一月五日戸主ト爲ル同月六日届出同日受附		

二女婚姻届出同日受附入籍

明治七拾五年七月六日推定家督相續入廢除ノ裁判確定同月八日届出同日受附

二女婚姻届出同日受附入籍									
明治七拾五年七月六日推定家督相續入廢除ノ裁判確定同月八日届出同日受附									
長					妻				
父	母	家族ノ概柄ト	出生	父	母	家族ノ概柄ト	出生	父	母
飯田正夫	トク		明治參拾六年七月四日	トク	ラク				
一郎									

明治七拾貳年六月四日麴町區永田町四丁目五番地澤田兵三へ養子縁組届出同日受附除籍⑨明治七拾貳年六月四日戸主ノ同意ヲ得スシテ養子トナリタルニ因リ同月拾五日復籍拒絶届出同日受附⑨			
女		長	
出生	明治六拾參年九月六日	父	飯田正夫
		母	トク
			長女

(乙號)

明治六拾八年貳月四日出生届出同日神田區戸籍吏甲野乙郎受附同日届書發送同月七日受附⑨			
二		男	
出生	明治六拾八年貳月參日	父	飯田正義
		母	トク
			二男

二郎

明治六拾八年拾月壹日麴町區平河町一丁目四番地井戸龜次郎養子協議離縁届出同日受附入籍⑨明治七拾年拾月拾五日芝區巴町參番地へ分家届出同日芝區戸籍吏丙野丙郎受附同日届書及入籍通知書發送同月拾九日受附除籍⑨			
弟		男	
出生	明治參拾四年五月七日	父	雲井時直
		母	トク
			二女

婦

(例)

第七十條 戸籍ハ戸籍吏ノ管轄地内ニ本籍ヲ定メタル者ニ付キ之ヲ編製ス
日本ノ國籍ヲ有セサル者ハ本籍ヲ定ムルコトヲ得ス

(註記)

本條ハ戸籍ヲ編製スヘキ者ハ如何ナル者ナルヤヲ掲ケタルモノニシテ戸籍ヲ編製スヘキモノハ日本人ニシテ戸籍吏ノ管轄内ニ本籍ヲ定メタル者ナルコトヲ規定セラレタルモノナリ日本人タリトモ國籍ヲ喪失シタルモノハ日本人ニアラサレハ本籍ヲ定ムルコトヲ得サルニ依リ戸籍ヲ編製スヘキ者ニアラス又外國人ナルモ日本ノ國籍ヲ有シタル者ハ日本人ナレハ本籍ヲ定ムヘキニ依リ戸籍ヲ編製スルヘキモノトス

第七十一條 戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ編綴シテ帳簿ト爲ス
戸籍吏ノ管轄地内ニ各別ニ地番號ヲ附シタル二個以上區畫アル場合ニ於テハ其區畫ノ順序ハ戸籍吏之ヲ定ム

(註記)

戸籍ハ地番號ノ順序ニ從ヒ編綴シテ帳簿ト爲スヘキニ依リ大字、小字ノ別ナク市町村一ニ地押番號ヲ設ケタルモノハ其地押番號ノ順序ニ之ヲ編綴シ又大字若クハ小字ノ別ニ依リ地番號ヲ付シタル市町村ハ大字、小字ニ依リ其番號ノ順序ニ編綴スヘキモノトス例ヘハ一町村ニ甲乙二字アリテ各字毎ニ地番號ヲ付シタルトキハ甲字ノ一番地ヨリ終番地迄ハ其順序ニ編綴シ甲字ノ地番號ノ盡キタル後乙字ノ一番地ヨリ終番地マテ順序ニ編綴スルカ如シ若シ他ノ管轄内ニ全戸寄留スルモノ地所家屋等ナキ者ハ地番號ヲ付セス其市町村ノ戸籍ノ末尾ニ編綴スヘシト雖モ大字ニ依リ區別アルトキハ其大字ノ地番號ノ盡キタル末ニ編綴スヘシ又各別ニ地番號ヲ付シタル二個以上ノ區畫アル場合ニ於テハ第二項ノ明文ニ依リ之ヲ定ムヘシト雖モ之ニ反シ二個以上ノ地番號ヲ付シ

タル一個ノ區畫アル場合例ヘハ一番地三番地ヲ合セテ一區畫トシテ住所ヲ定メタル者ノ如キハ本人ノ選ム處ニ任セテ一個ノ地番號ヲ以テ戸籍ヲ定ムヘキモノトス

第七十二條 戸籍簿ハ正副二本ヲ設ク

戸籍簿ノ正本ハ之ヲ戸籍役場ニ備ヘ其副本ハ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所之ヲ保存ス

(註記)

戸籍ノ正本ハ戸籍役場ニ備フルハ從前戸籍ノ正本ハ市町村役場ニ備フト同一ナレトモ副本ヲ地方裁判所ニ保存スルハ從前之ヲ郡役所又ハ府縣廳ニ保存スルトハ稍異ナル處アリトス從前郡役所又ハ府縣廳ニ保存スルモノハ其編製又ハ改製ノ場合ニ於テ之ヲ備ヘテ單ニ保存スルニ止マルヘシト雖モ本法ニ於テハ各家ノ戸籍ヲ改製スルトキ其時々原本ヲ提出セシメ共ニ之ヲ保存スヘキモノニシテ本條ノ保存中ニハ改製ノ原本モ亦之ニ包含スヘキモノトス

(備考)

第一編第一章及第一編附錄戸籍法取扱手續第六條參觀

第二章 戸籍及除帳簿並戸籍ニ關スル書類ノ保存並保管

前款既ニ記述シタル如ク戸籍ノ副本ハ地方裁判所之ヲ保存シ戸籍役場ニ備フル正本ハ戸籍吏之ヲ保管スヘキモノニシテ其保管ノ方法ハ既ニ第一編第一章ニ記述シタル處ニ依ルヘシ然リ而シテ戸籍ハ各家人民ノ身分ニ關スル事項ヲ記載シタル完全ノ證書タレハ事變ヲ避クル爲メニスル場合ノ外戸籍役場外ニ持出スコトヲ得ス若シ戸籍ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ其滅失ニ依リ再製又ハ補完スルノ手續ニ關シテハ第二編第三章ニ記述シタル處ヲ準用スヘシ

若シ家督相續、廢家、絶家其他ノ事由ニ依リ戸籍ノ全部抹消シタルトキハ其戸籍ハ戸籍簿中ヨリ除去シテ別ニ之ヲ編綴シテ帳簿ト爲シ之ヲ戸籍役場ニ保有スヘシ其保存期間ハ司法大臣ノ定ムル處ニ依ル然リ而シテ全部ヲ抹消シタル戸籍ヲ戸籍簿ヨリ除キテ帳簿ニ編綴スレハ恰モ從前ノ戸籍除帳簿ニ於クルカ如シ故ニ

除帳簿ト號スルモ亦妨ケナシ但之ヲ編綴スルノ順序ハ除帳ノ日次ニ依リ之ヲ爲シテ他日參考ノ搜索ヲ便ニスヘシ

(例)

第七十三條

家督相續廢絶家其他ノ事由ニ因リ戸籍ノ全部ヲ抹消シタルモノハ之ヲ戸籍簿ヨリ除キ別ニ編綴シテ帳簿ト爲シ之ヲ戸籍役場ニ保存ス

前項ノ帳簿ヲ保存スヘキ期間ハ司法大臣之ヲ定ム

(註記)

本條其他ノ事由トハ除籍スヘキ總テノ事由ヲ云ヒ全家他管轄内ニ轉籍シ戸主ニ於テ國籍喪失スルカ如キ之ヲ包含スヘシ

第七十四條 第十二條乃至第十四條ノ規定ハ戸籍簿並ニ戸籍ノ謄本及ヒ抄本ニ之ヲ準用ス

(註記)

第十二條ハ事變ノ場合ヲ除ク外ハ身分登記簿ヲ戸籍役場外ニ持出スコトヲ得サルノ件ニシテ第十四條ハ身分登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキ再製又ハ補充ノ規定第十三條ハ手数料ヲ納付シテ身分登記ノ閱覽又ハ登記ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スル者アルトキ之ヲ付與スヘキ等ノ事項ヲ明記セシモノ、戸籍モ亦此規定ヲ準用スヘキモノトス但第十三條ニ付テハ此例ニ依リ更ニ次款ニ記事スヘキモノトス

(備考)

第二編第三章參觀

第二章 戸籍ノ閱覽及ヒ戸籍ノ謄本抄本ノ交付並ニ其手数料

凡ソ手数料ヲ納付シテ戸籍ノ閱覽又ハ戸籍ノ謄本、抄本若クハ戸籍ニ關スル届出申請等ニ對スル受理ノ證明書ヲ請求スル者アルトキ戸籍吏カ請求ニ應ジテ其閱覽ヲ爲サシメ又ハ謄本、抄本若クハ届出申請等ニ對スル受理ノ證明書ヲ交付スルノ手續及其手数料ノ金額等ハ總テ第二編第五章ニ記述シタル處ニ依ル

(例)

第七十四條

前章ニ附記ス

(備考)

第一編附録司法省訓令第五號第十二條乃至第十四條及第二編第五章附記司法省令第十三號參觀

第六編 戸籍記載ノ手續

第一章 戸籍ニ記載スヘキ事項

凡ソ戸籍ハ第五編第一章ニ掲ケタル雛形ノ用紙ヲ以テ一戸毎ニ之ヲ作り一括シテ戸籍簿ニ編綴スルモノニシテ戸籍ニハ左ノ事項ヲ記載スヘキモノトス

- 一 戸主、前戸主及ヒ家族ノ氏名
- 二 戸主ノ族稱及ヒ本籍地但家族ト戸主ト族稱ヲ異ニスル場合ニ於テハ家族ニ付テモ其族稱ヲ記載スルコトヲ要ス
- 三 戸主及ヒ家族ノ出生ノ年月日
- 四 戸主及ヒ家族ト爲リタル原因及ヒ年月日但出生ニ因リテ家族ト爲リタル者ニ付テハ此記載ヲ要セス
- 五 戸主並ニ家族ノ父母ノ氏名及ヒ其父母ト戸主又ハ家族トノ續柄
- 六 戸主ト前戸主トノ續柄及ヒ家族ト戸主トノ續柄但家族ノ他家ヨリ入りテ他ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト戸主トノ續柄ノ外他ノ家族トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス
- 七 他家ヨリ入りテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ニ付テハ其原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主ト戸主又ハ家族ト爲リタル者トノ續柄

八 他家ヨリ入りテ家族ト爲リタル者ニシテ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スル者ニ付テハ其者ト他ノ家族トノ續柄

九 戸主又ハ家族ノ身分ノ變更及ヒ其原因並ニ年月日

十 後見人アル者ニ付テハ後見人ノ氏名、住所及ヒ後見人就職並ニ任務終了ノ年月日

例 第七十五條 戸籍ハ一戸毎ニ一本ヲ作ル

(註記)

編製後入籍スル者アルトキハ敢テ順位ニ拘泥セス其末尾ニ接續シテ記載スヘキモノトス

(註記)

本條ハ戸籍ニ記載スヘキ事項ヲ掲ケラレタルモノニシテ其事項即チ第一號乃至第十號ハ本文ニ成文ノ儘ヲ掲ケタレハ茲ニ省キ唯タ事項中註記ヲ要スルモノノミヲ解説スヘシ第二號ノ家族ト戸主ト族稱ヲ異ニスル場合ハ例ヘハ華士族ノ家族タル者公權ヲ剝奪セラレタルニ依リ華士族タル貴稱ヲ失ヒタル場合ヲ云フ第四號ノ家族トナリタル原因トハ例ヘハ婚姻又ハ養子縁組ニ因リ他ヨリ入りテ戸主又ハ家族ト爲ル類ニシテ其婚姻又ハ養子縁組ハ即チ家族トナリタル原因ナリ其他私生子ノ認知モ原因ナレハ親族ノ入籍モ亦即チ原因ナリ第五號ハ戸主ノ父母ノ氏名ト戸主トノ續柄家族ノ父母ノ氏名ト家族トノ續柄ノ意ニシテ例ヘハ父母ノ氏名、長二三男女又ハ庶子私生子男女ノ續柄ヲ云フ第六號ノ他家ヨリ入りテ他ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者トハ例ヘハ兄弟ノ妻姉妹ノ夫タル者ノ類ヲ云ヒ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族ノ關係ヲ有ストハ例ヘハ甥姪ノ如キ者ヲ云フ即チ甥姪ハ其父母タル戸主ノ兄弟姉妹ヲ經テ戸主トノ親族ノ關係ヲ有スヘキモノナレハナリ

第二章 戸主及ヒ家族ノ氏名ヲ戸籍ニ記載スルノ順序

戸主及家族ノ氏名ヲ戸籍ニ記載スル順序

第一 戸主

第二 直系尊屬例ヘハ高祖父母、曾祖父母、祖父母、父母ト親等ノ遠キ者ヨリ順次記載シ親等ノ同シキ者ハ親族間ノ順位ニ依リ親族間ノ順位同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ記載ス

第三 戸主ノ配偶者例ヘハ戸主ノ夫又ハ妻ヲ記ス

第四 戸主ノ直系卑屬例ヘハ子及子ノ配偶者、孫及孫ノ配偶者、曾孫及曾孫ノ配偶者、玄孫及玄孫ノ配偶者ト親等ニ近キ者ヨリ順次之ヲ記載シ親等ノ同シキ者ハ親族間ノ順位ニ依リ親族間ノ順位同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リ記載ス

第五 戸主ノ傍系親及其配偶者例ヘハ兄弟姉妹及ヒ其配偶者、伯叔父姑及ヒ其配偶者、甥姪及其配偶者大伯叔父母及其配偶者、又甥姪及其配偶者、從弟及其配偶者等親等ノ近キ者ヨリ順次記載スルヲ要ス若シ親等同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リ記載ス

第六 戸主ノ親族ニ非サル家族例ヘハ六親等以外ノ家族ハ親等ノ遠近ニ從ヒ親等ノ近キ者ヲ先ニシ親等ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依ル若シ親等ナキ者ハ皆出生ノ前後ニ依ルヘシ故ニ從前本家末家同家ノ斷絶ニ依リ其家族等ヲ引受ケ又ハ祖父父等ノ妾ノ入籍シテ家族トナリタル者ノ如キ戸主ノ親族ニアラサル者ハ皆出生ノ前後ヲ以テ其順序ヲ定ムヘシ

例

第七十七條 戸主及ヒ家族ノ氏名ヲ戸籍ニ記載スルニハ左ノ順序ニ依ル

直系尊屬ノ間ニアリテハ親族ノ遠キ者ヲ先ニシ直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテハ親等ノ近キ者ヲ先

ニス

直系尊屬直系卑屬又ハ傍系親ノ間ニ在リテ親等ノ同シキ者ハ親族間ノ順位ニ依リ親族間ノ順位ノ同シキ者ハ出生ノ前後ニ依リテ其順序ヲ定ム

前二項ノ規定ハ戸主ノ親族ニ非ラサル者ノ記載ニ之ヲ準用ス

(註記)

本條第一第一項ノ第一ノ戸主第二ノ戸主ノ直系尊屬第三戸主ノ配偶者第四戸主ノ直系卑屬及ヒ其配偶者第六戸主ノ親族ニ非ラサ者等ハ其成文ヲ以テ本文ニ掲ケ且其例ヲ付シテ直チニ記註セリ仍テ第一乃至第六號ハ註記ハ共ニ零ス

第二章

身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ受タルトキ戸籍記載ノ方法及書例

第一節

身分登記及戸籍ニ關スル届出ニ基キ戸籍記載

戸籍吏ニ於テ身分ニ關スル届出ヲ受ク身分登記簿ニ登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ受理シタルトキハ第一款以下ニ掲ケル手續ニ依リ戸籍ヲ記載スルコトヲ要ス但身分登記簿ニ登記ヲ爲シタル事項ハ其登記ニ基キテ戸籍ヲ記載シ其他ノ事項ハ其届出ニ依リテ記載スヘキモノナルヲ以テ身分登記簿ニ登記シタル事項ニ在テハ戸籍記載ニ付別ニ届出ヲ要セサルモノトス

例

第一百八條 戸籍吏カ身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍簿ニ關スル届出ヲ受領シタルトキハ次條以下ノ規定ニ從ヒテ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第一款

家督相續及家督相續回復ニ關スル戸籍ノ記載

家督相續ノ届出アリテ戸籍吏カ第四編第十三章第三節ニ依リ其登記ヲ爲シタルトキハ其登記ト前戸主ノ戸籍ニ基キ新戸主ノ戸籍ヲ編製シ又家督相續回復ノ届出アリテ戸籍吏カ又一同上ノ手續ヲ爲シタルトキハ其

登記ト戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ基キテ又新戸主ノ戸籍ヲ編製スヘキモノニシテ此場合ニ於テハ戸籍吏ハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍即チ舊戸籍ニ家督相續又ハ家督相續回復ニ依リ改製スル旨ヲハ載シ其戸籍ハ朱線ヲ交又シテ之ヲ抹消シ戸籍吏ハ其戸籍ト新戸主ノ戸籍ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲シ新戸籍記戸籍簿ニ編綴シ舊戸籍ハ戸籍簿ヨリ除去シテ除籍簿ニ移綴スルコト從前代替ニ依リ戸籍ヲ改寫シタル手續ト取テ異ナルコトナキモノトス
胎兒ニ於テ家督相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ前項ノ手續ヲ爲スヲ要セスシテ前戸主ノ戸籍中其戸主ニ關スル部分ノミヲ抹消シ其欄内ノ上部ニ第五款ニ掲ケタル附錄第四十六號ノ書例ニ依リ家督相續人カ胎兒ナル旨ヲ記載シ其出生ノ届出アリタルトキ前項ノ手續ヲ爲スヘシ若シ胎兒カ死體ニテ産レタルニ依リ更ニ家督相續人ヲ選定シタルトキハ選定セラレタル者カ家督相續ヲ爲スヲ待テ其戸籍ヲ改製スヘキモノトス但シ本文ニ依リ戸籍ヲ編製シタルトキハ戸籍吏ハ遲滞ナク其戸籍ノ副本ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

例

第一百七十九條 家督相續又ハ家督相續回復ノ登記ヲナシタルトキハ其登記及ヒ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ基キテ新戸主ノ戸籍ヲ編製スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ニ事由ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹消シ且其戸籍ト新戸主ノ戸籍トニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

胎兒カ家督相續人ナル場合ニ於テハ其出生ニ至ルマテ前二項ノ手續ヲ爲スコトヲ要セス此場合ニ於テハ前戸主ノ戸籍中戸主ニ關スル部分ノミヲ抹消シ家督相續人ノ胎兒ナル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

(註記)

本條ハ家督相續又ハ家督相續ノ回復ニ依リ戸籍改製ノ手續ヲ規定セラレタルモノニシテ戸

主ノ名義ヲ有セシモノトハ回復ニ依リ戸主ヲ止メラレタルモノヲ云フ蓋シ家督相續ヲ回復セラレタル戸主ハ其家督相續ヲ回復セラレタル迄ハ戸主ニアリシモ實際戸主タル權利ヲ有セサル者ニシテ唯戸主タル名義ヲ有セシモノナルヲ以テナリ又胎兒カ相續人タル場合ニ前戸主ノ戸籍中ニ別ニ胎兒ノ部ヲ設クルニ及ハス其出生迄ハ前戸主ノ上欄中ニ唯其事ヲ記載スルヲ以テ足ルヘシ

第百九十四條 第百七十九條及ヒ第百八十條ノ規定ニ依リテ戸籍ヲ編製シタルトキハ戸籍吏ハ遲滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

第二款 分家廢絶家再興其他一家新立轉籍就籍ニ關スル戸籍ノ記載

分家、廢家及ヒ絶家再興其他一家ヲ創立スヘキ事件ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記ニ基キテ新ニ戸籍ヲ編製シ又轉籍又ハ無籍戸主就籍ノ届出ヲ受理シタルトキハ其届出ニ基キテ又新ニ戸籍ヲ編製スヘシ又其届出ハ總テ新管轄ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スヘキモノニシテ新管轄ノ戸籍吏カ新ニ其戸籍ヲ編製シタル場合ニ於テハ其届出ノ副本ハ遲滞ナク之ヲ舊管轄戸籍吏ニ送付スルヲ要ス然リ而シテ此届出アリテ新ニ戸籍ヲ編製スルトキハ第一章ニ掲ケル外特殊ノ事項ヲ記載スヘキモノトス但本文ニ依リ戸籍ヲ編製シタルトキ戸籍吏ハ遲滞ナク其副本ヲ監督區裁判所ヲ管轄スル地方裁判所ニ送付スヘキコトヲ要ス

例

第百八十條 分家、廢絶家再興其他新ニ家ヲ立ツヘキ事件ノ登記ヲ爲シ又ハ轉籍若クハ無籍戸主ノ就籍ノ届出ヲ受理シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キテ戸籍ヲ編製シ轉籍届書ノ副本ハ遲滞ナク之ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ送付スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リテ戸籍ヲ編製スルニハ第百七十六條ニ掲ケタル事項ノ外各場合ニ付キ特殊ナル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

(註記)

分家、廢絶家再興其他新ニ家ヲ立ツル事件ハ皆身分登記簿ニ登記スヘキモノナルヲ以テ其届出アリタルトキハ先ツ登記簿ニ之ヲ登記シタル後戸籍ニ記載スヘシ轉籍及無籍戸主ノ就籍ハ登記簿ニ登記セスシテ直チニ戸籍ニ記載スヘキモノナリ然リ而シテ分家、廢絶家再興其他一家ヲ新立スルノ届出及轉籍ハ其本籍カ轉屬スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スヘキモノニシテ戸主ノ就籍ニ付テハ就籍地戸籍吏ニ届出ヲ爲スハ敢テ云フテ俟タス而シテ本條第一項ノ其他新ニ家ヲ立ツヘキ事件トハ戸主ニ於テ庶子、私生子ノ家ニ入ルヲ拒ミ離籍又ハ復籍ヲ拒絕セラレタル者ニ於テ一家ヲ創立シ絶家ノ家族カ新ニ家ヲ立ツル等ノ如キヲ云ヒ二項ノ特殊ナル事項トハ例ハハ分家ニ因リ一家ヲ創立シ廢絶家ヲ再興シ家ヲ立テタル者又ハ無籍者ノ就籍ニ依リ戸籍ヲ編製シタルカ如キハ第百七十六條ニ掲ケタル事項ノ外特ニ其事件ヲ戸籍ニ記載スヘキヲ云フ

(備考)

前款附記第百九十四條參觀

第三款 復籍拒絕及廢家ニ關スル戸籍ノ記載

戸主ノ同意ヲ得スシテ家族カ養子縁組又ハ婚姻ニ依リ他家ニ入りタルトキ戸主ニ於テ其復籍ヲ拒絕スルコトヲ得ヘキニ依リ戸主ヨリ復籍拒絕ノ届出アリテ其事由ヲ身分登記簿ニ登記シタルトキハ戸籍吏ハ之ヲ戸籍ニ記載スヘシ

若シ一家ヲ廢シ又ハ絶家ト爲リタルノ届出アリテ身分登記簿ニ其登記ヲ爲シタルトキハ戸籍吏ハ最終ノ戸主即チ廢家シ又ハ絶家ノ際戸主タリシ者ノ戸籍ニ其事由ヲ記載シ其戸籍ハ何レモ抹消シテ戸籍簿ヨリ之ヲ除去シテ除籍簿ニ移綴スヘシ

單身戸主死亡シ又ハ失踪ノ宣告アリテ其死亡又ハ失踪ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其家ニ家督相續人ナキコト分明ナルトキハ戸籍吏ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ申報シ其許可ヲ得テ死亡者又ハ失踪

者ノ戸籍ニ絶家ノ原因及年月日ヲ記載シ前項ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

(例)

第百八十一條 復籍拒絶ノ登記ヲナシタルトキハ復籍ヲ拒絶シタル者ノ戸籍ニ登記ノ要旨ヲ記載スルコトヲ要ス

(註記)

復籍拒絶ノ登記ニ關シテハ第四編第十六章第三節第四節ニ記述シタル處ニ依リ參看スヘシ

(註記)

本條ハ廢家又ハ絶家ノ届出アリテ之ヲ登記シタル場合ニ於テ戸籍ニ登記スルノ手續ヲ掲ケラレタルモノニシテ最終ノ戸主トハ廢家ヲ爲シ又ハ死亡又ハ失踪ニ依リ絶家トナリシトキ死亡又ハ失踪シタル戸主ヲ云ヒ事由トハ死亡ニ依ルカ又ハ失踪ニ依ル等ノ事由ヲ云フ但廢絶家ニ關スル身分ニ付テハ第四編第十七章ニ掲ケル處ヲ參看スヘシ

(註記)

本條ハ絶家ノ届出ナキモ戸主死亡又ハ失踪ノ届出アリ他ニ親族ナキ場合ニ於テ其家督相續人ナキコト分明ナルトキハ戸籍吏ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ死亡者又ハ失踪者ノ戸籍ニ絶家ノ原因及年月日ヲ記載シテ其戸籍ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四款 管轄地内轉籍ニ關シ戸籍ノ記載

同一ノ戸籍吏ノ轄地内ニ於テ本籍ヲ變更スル届出アリテ之ヲ受理シタルトキハ戸籍吏ハ管轄地ニ於テ本籍變更ノ事由ヲ本人ノ戸籍ニ記載シ舊本籍地名番號ヲ抹消シテ新本籍地ヲ記載スルコト第五編第一章ニ附記セシ附録第三號甲號戸籍用紙離形ニ於ケル如クスヘシ

(例)

第百八十四條 戸籍吏ノ管轄地内ニ於ケル本籍地變更ノ届出ヲ受理シタルトキハ事由ヲ戸籍ニ記載シ舊本籍地ニ關スル記載ヲ抹消シ新本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス

第五款 家督相續分家廢絶家一家新立轉籍就籍等ニアラサル事項ニ關スル戸籍記載

家督相續又ハ家督相續ノ回復、分家、絶家再興其他一家創立轉籍、無籍戸主ノ就籍、復籍拒絶廢絶家、管轄内轉籍等ニ關スル事項ニ付戸籍吏カ其登記ヲ爲シ又ハ其届出ヲ受理シテ之ヲ戸籍ニ記載スル手續及書例等ハ既ニ前二款ニ記述シタリ其他出生嫡出子否認、私生子認知、養子縁組、離縁、婚姻、離婚、後見、隠居、失踪、死亡、推定家督相續人ノ廢除、入籍、離籍、復籍拒絶國籍ノ得喪、氏名及族稱變更、身分登記ノ變更、就籍(無籍戸主ニアラス)除籍等ニ關スル事項ヲ身分登記簿ニ登記シ又ハ其届出ヲ受理シタルトキハ戸籍吏ハ其登記又ハ届出ニ基キ第一章以下ニ掲ケル處ニ依リ其事項ヲ戸籍ニ記載スヘキモノニシテ其記載ヲ爲シタル事項ノ變更アリタルトキハ亦其變更ニ關スル事項ヲ記載スルヲ要ス

(例)

第百八十五條 前六條ノ場合ヲ除ク外身分登記ヲ爲シ又ハ戸籍ニ關スル届出ヲ受理シタルトキハ其登記又ハ届出ニ基キ第百七十六條ニ掲ケタル事項ヲ戸籍ニ記載スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ第百八十條第二項ノ規定ニ依リテ戸籍ニ記載シタル事項ノ變更アルトキハ其變更ヲ

第六款 戶籍記載ノ書例

明治三拾一年^七司法省訓令第五號戶籍法取扱手續附錄第三號戶籍ニ關スル記載ノ書例左ノ如シ
附錄第三號

戶籍記載例

出生

- 一 明治參拾壹年六月貳拾壹日出生届出同日受附[㊦]
- 二 明治參拾壹年六月貳拾貳日出生届出同日子丑縣寅卯郡辰巳村戶籍吏甲野乙郎受附同日届書發送同月貳拾五日受附[㊦]

備考

第一記載例ハ父母ノ本籍地ニ届出テタルノ例ヲ示シ第二記載例ハ出生地又ハ父母ノ寄留地ニ届出テ其戶籍吏ヨリ發送シタル届書ヲ本籍地ノ戶籍吏カ受附ケタルノ例ヲ示ス
乘 兒

- 三 明治參拾壹年七月壹日發見届出同日受附[㊦]
- 四 明治參拾壹年七月參日辰巳市午朱町參番地丙野丙吉ニ引渡[㊦]
- 五 明治參拾壹年拾月貳日申西市戌亥町四番地丁野丁助ニ引受替同月參日届出同日受附[㊦]
- 六 明治參拾壹年拾月拾八日父子丑縣寅卯郡辰巳村百番地戊川戊助現出引取拾月貳拾日登記取消申請同日受附[㊦]
- 七 明治參拾壹年七月七日嫡出子否認ノ裁判確定同月拾日届出登記變更申請同日受附[㊦]

嫡出子否認

- 八 明治參拾壹年七月參日父甲母乙婚姻ニ因リ嫡出子タル身分取得届出同日受附[㊦]
- 九 明治參拾壹年七月壹日子丑縣寅卯郡辰巳村五番地甲野甲私生子認知届出同日受附入籍[㊦]
- 十 明治參拾壹年七月壹日父辰市午未町參番地丙野丙藏認知届出同日辰市午未町戶籍吏戊野戊一郎受附同日届書及ヒ入籍通知書發送同月九日受附除籍[㊦]

私生子認知

備考 第九記載例ハ他家ノ戶主ノ私生子ヲ認知シテ之ヲ入籍セシメタルノ例ヲ示シ第十記載例ハ他家ノ戶主カ私生子ヲ認知シタル旨ヲ其戶主ノ本籍地ニ届出テ其戶籍吏ヨリ私生子ノ本籍地ノ戶籍吏ニ届書及ヒ入籍通知書ヲ發送シ其戶籍吏之ヲ受附タルニ因リ私生子ヲ除籍シタルノ例ヲ示ス

養子縁組

- 十一 明治參拾壹年六月四日子丑村四番地丁野丁郎二女養子縁組届出同日受附入籍[㊦]
- 十二 明治參拾壹年六月四日子丑村七番地戊野戊五郎ノ養子縁組届出同日受附入籍[㊦]
- 十三 明治參拾壹年六月五日寅卯縣辰巳郡午未村六番地乙野乙郎甥養子縁組届出同日子丑市戶籍吏丙野丙郎受附同月六日届書發送同月八日受附入籍[㊦]
- 十四 明治參拾壹年六月五日午未區申酉町七番地甲野甲郎へ養子縁組届出同日子丑市戶籍吏丙野丙郎受附同月六日届書發送同月九日受附除籍[㊦]
- 十五 明治參拾壹年六月六日子丑府寅卯郡辰巳村九番地乙野乙郎養子縁組届出同日辰巳村戶籍吏丙野丙郎受附同月八日届書發送同月拾日受附入籍[㊦]

- 十六 明治參拾壹年六月六日夫乙四郎ト共ニ養子縁組入籍㊦
 - 十七 明治參拾壹年六月六日辰巳縣午未郡申酉村拾番地甲野甲郎へ養子縁組届出同月七日受附除籍㊦
養子縁組ノ無効、取消
 - 十八 明治參拾壹年六月拾參日縁組無効ニ因リ登記取消申請同日受附㊦
 - 十九 明治參拾壹年六月拾參日縁組無効ニ因リ登記取消申請同日辰巳村戸籍吏丙野丙郎受附同日申請書發送六月拾九日受附㊦
 - 二十 明治參拾壹年六月拾四日縁組取消ノ裁判確定同月貳拾九日登記取消申請同日受附㊦
 - 二十一 明治參拾壹年六月拾四日縁組取消ノ裁判確定同月貳拾九日登記取消申請同日子丑縣寅卯郡辰巳町戸籍吏丙野丙郎受附同日申請書發送七月貳日受附㊦
- 離縁
- 二十二 明治參拾壹年八月參日協議離縁實家復籍届出同日受附除籍㊦
 - 二十三 明治參拾壹年八月參日子丑村九番地甲野甲郎養子協議離縁届出同日入籍㊦
 - 二十四 明治參拾壹年八月四日夫乙四郎ト共ニ協議離縁實家復籍除籍㊦
 - 二十五 明治參拾壹年八月四日子丑縣寅卯郡辰巳村貳番地乙野乙郎養子協議離縁届出同日辰巳村戸籍吏丙野丙郎受附同日屆書發送同月九日受附入籍㊦
 - 二十六 明治參拾壹年八月四日夫乙四郎ト共ニ協議離縁入籍㊦
 - 二十七 明治參拾壹年八月七日離縁ノ裁判確定同月拾日實家復籍届出同日受附除籍㊦
 - 二十八 明治參拾壹年八月七日子丑縣寅卯郡子丑町一番地甲野甲郎養子離縁裁判確定同月拾日届出同日子丑町戸籍吏丙野丙郎受附同日屆書發送八月拾參日受附入籍㊦

二十九 明治參拾壹年八月拾日離縁ノ裁判確定同月拾四日離縁及ヒ實家廢絶ノ旨届出同日受附除籍㊦

婚姻

- 三十 明治參拾壹年七月參日子丑縣寅卯郡辰巳村四番地乙野乙郎姉婚姻届出同日受附入籍㊦
 - 三十一 明治參拾壹年七月參日辰巳市午未町五番地甲野甲郎長男甲太ト婚姻届出同日辰巳市戸籍吏丙野丙郎受附同月五日屆書及入籍通知書發送同月七日受附除籍㊦
 - 三十二 明治參拾壹年七月拾壹日寅卯縣辰巳郡午未村六番地乙野乙郎二女婚姻届出同日子丑市戸籍吏丙野丙郎受附同日屆書發送同月拾五日受附入籍㊦
 - 三十三 明治參拾壹年七月拾壹日午未縣子丑郡申酉村七番地甲野甲郎二男甲太ト婚姻届出同日子丑市戸籍吏丙野丙郎受附同日發送屆書同月拾七日受附除籍㊦
- 婚姻ノ無効取消
- 三十四 明治參拾壹年八月九日婚姻取消裁判確定同月貳拾日甲裁判所檢事乙野乙郎登記取消請求書發送同月貳拾五日受附㊦
- 他ハ養子縁組ノ無効、取消ノ記載例準用
- 離婚
- 養子離縁ノ記載例準用

後見

- 三十五 明治參拾壹年七月拾日後見人子丑縣寅卯郡辰巳村甲野乙郎就職届出同日受附㊦
- 三十六 明治參拾壹年八月壹日隠居届出同日受附㊦

隱居

三十七 明治參拾壹年八月四日隱居取消裁判確定同月拾參日登記取消申請同日受附㊦
三十八 明治參拾壹年八月五日隱居取消裁判確定同月拾日乙裁判所檢事丙野丙郎登記取消請求書發送同月貳拾參日受附㊦

失踪

三十九 明治參拾壹年八月拾日失踪宣告確定同月拾八日屆出同日受附㊦
四十 明治參拾壹年九月壹日失踪宣告取消ノ裁判確定同月拾參日登記取消申請同日受附㊦

死亡

四十一 明治參拾壹年八月參拾日午後八時死亡九月貳日屆出同日受附㊦
四十二 明治參拾壹年九月八日午後拾壹時辰巳市午未町四番地ニ於テ死亡同月拾日屆出同日受附㊦
四十三 明治參拾壹年九月拾日午前拾時辰巳監獄署ニ於テ死亡同月拾壹日辰巳監獄署長典獄丁野丁郎報告書發送同月拾四日受附㊦

家督相續

四十四 明治參拾壹年拾月壹日家督相續屆出同日受附㊦
四十五 明治參拾壹年拾月拾貳日家督相續回復ノ裁判確定同月拾八日屆出登記取消申請同日受附㊦
四十六 明治參拾壹年拾月拾日前戶主甲郎死亡家督相續人胎兒ナル旨同月貳拾日屆出同日受附㊦
四十七 明治參拾壹年拾貳月拾六日家督相續人タル胎兒死體ニテ分娩同月貳拾六日登記取消申請同日受附㊦

家督相續人廢除

四十八 明治參拾壹年七月壹日推定家督相續人廢除ノ裁判確定同月五日屆出同日受附㊦
四十九 明治參拾壹年八月拾壹日廢除取消ノ裁判確定同月貳拾八日登記取消申請同日受附㊦

入籍

五十 明治參拾壹年拾月四日子丑縣寅卯郡辰巳町五番地甲野甲郎甥入家屆出同日受附入籍㊦
五十一 明治參拾壹年拾月四日辰巳市午未町一番地乙野乙郎方入家屆出同日辰巳市戶籍吏丙野丙郎受附同日屆書及ヒ入籍通知書發送同月九日受附除籍㊦

離籍

五十二 明治參拾壹年九月拾日離籍屆出同日受附除籍㊦
五十三 明治參拾壹年九月拾日夫甲郎離籍セラレ共ニ家ヲ去リタルニ因リ除籍㊦
五十四 明治參拾壹年拾月九日子丑市寅卯町一番地甲野甲郎ヨリ離籍セラレタルニ因リ一家創立屆出同日受附㊦

復籍拒絕

五十五 明治參拾參年拾月九日夫甲助一家ヲ創立シタルニ因リ入籍㊦
五十六 明治參拾壹年拾壹月拾參日戶主ノ同意ヲ得スシテ婚姻ヲ爲シタルニ因リ同月拾五日復籍拒絕屆出同日受附㊦

五十七 明治參拾壹年拾貳月拾七日子丑市寅卯町一番地甲野甲郎ヨリ復籍ヲ拒絕セラレタルニ因リ同月拾九日一家創立屆出同日受附㊦

五十八 明治參拾八年拾貳月拾七日夫甲助一家ヲ創立シタルニ因リ入籍㊦
廢家、絶家

- 五十九 明治參拾壹年八月拾日廢家届出同日受附㊦
- 六十 明參拾壹年八月拾六日甲區裁判所ノ許可ヲ得テ絶家トス㊦
- 六十一 明治參拾壹年拾月九日戸主死亡其家絶家ト爲リタルニ因リ同月拾參日一家創立届出同日受附㊦
- 分家
- 六十二 子丑村四番地甲野甲郎方ヨリ分家明治參拾壹年拾月拾日届出同日受附㊦
- 六十三 明治參拾壹年拾月拾日父甲平分家シタルニ因リ入籍㊦
- 六十四 明治參拾壹年拾月拾日子丑村百十番地へ分家届出同日受附除籍㊦
- 六十五 明治參拾壹年拾月拾壹日子丑市寅卯町七番地へ分家届出同日寅卯町戸籍吏丙野丙郎受附同日届書及入籍通知書發送同月拾五日受附除籍㊦
- 廢絶家再興
- 六十六 子丑縣寅卯郡辰巳村八番地甲野甲郎叔父明治參拾壹年拾壹月拾壹日廢家乙村氏再興届出同日受附㊦
- 六十七 明治參拾壹年拾壹月拾壹日辰巳縣午未郡申酉村二十九番地ニ於テ絶家乙村ノ氏再興届出同日申酉村戸籍吏丙野丙郎受附同日届書及入籍通知書發送同月拾五日受附除籍㊦
- 國籍得喪
- 六十八 明治參拾壹年拾月拾貳日イ國ロ府ハ街アンリ、ヘルナール、ト婚姻ヲ爲シタルニ因リ國籍喪失同月拾參日届出同日受附除籍㊦
- 六十九 明治參拾壹年拾月貳拾日甲區裁判所ノ許可ヲ得テ國籍喪失者トス除籍㊦
- 備考 第六十八記載ハ國籍喪失後ニ届出ヲナシタルノ例ヲ示ス

氏名族稱ノ變更

- 七十 明治參拾壹年七月拾六日氏ノ復舊同月拾七日届出同日受附㊦
- 七十一 明治參拾壹年八月壹日改名同月五日届出同日受附㊦
- 七十二 明治參拾壹年八月拾五日華族ニ列セラル同月拾七日届出同日受附㊦
- 七十三 明治參拾壹年八月貳拾日士族ノ稱返上同月貳拾參日届出同日受附㊦
- 七十四 明治參拾壹年八月貳拾八日處刑ニ因リ族稱ヲ失フ同日戌亥地方裁判所報告九月參日受附㊦
- 登記ノ變更
- 七十五 明治參拾壹年九月六日ノ裁判ニ依リ同月貳拾日出生ノ時ニ關スル登記變更申請同日受附㊦
- 七十六 明治參拾壹年拾壹月貳拾參日ノ裁判ニ依リ同月參拾日甲ト戸主トノ續柄ニ關スル登記變更申請同日受附㊦

轉籍

- 七十七 明治參拾壹年七月貳拾日子丑縣寅卯郡辰巳町五番地ヨリ轉籍届出同日受附入籍㊦
- 七十八 明治參拾壹年七月貳拾日午未市申酉町七番地へ轉籍届出同日申酉町戸籍吏丙野丙郎受附同月貳拾壹日届出及入籍通知書發送同月貳拾五日受附除籍㊦
- 七十九 明治參拾壹年七月貳拾日本籍地變更届出同日受附㊦
- 就籍、除籍
- 八十 明治參拾壹年八月壹日就籍ノ裁判確定同月五日届出同日受附就籍㊦
- 八十一 明治參拾壹年九月五日除籍ノ裁判確定同月七日届出同日受附除籍㊦

第二節 戶籍加除

第一款 編製後家族ノ入籍及全家又ハ戸内一部ノ除籍

第一章ニ於テ戸籍ニ記載スヘキ順序ヲ掲載シタルモ該章ニ掲載シタルモノハ戸籍編製ノ際ニ於テ記載スヘキ順序ナルヲ以テ一旦編製シタル後家族ノ戸籍ニ入ルヘキ者アルトキハ其順序ニ拘ハラズ戸籍ノ末尾ニ入籍ノ日次ヲ逐ヒ記載スヘキモノトス故ニ例ヘハ他家ノ家族タリシ父母カ入籍スルトキ父母ハ戸主ノ配偶者ノ上位ニ記載スヘキモ既ニ孫ノ出生アリタル後ニ入籍スル者ナレハ其孫ノ末位ニ之ヲ記載シ若シ他日戸籍ヲ編製スルトキハ正當ノ順序ニ依リ其配偶者ノ上位ニ之ヲ記載スルカ如シ

戸主ヲ始メ其家族ノ全員ヲ戸籍ヨリ除クトキハ戸主タリシ者ノ上部ニ其事由ヲ記載シ戸籍ノ全部ヲ抹消スヘシ又戸内ノ一人若クハ數人ヲ戸籍ヨリ除クトキハ其除去スヘキ者ノ上部ニ其事由ヲ記載シ其一部ヲ抹消ス故ニ例ヘハ戸主カ廢家シ又ハ戸主カ死亡失踪等ニ依リ其家カ絶家トナリテ其家族カ他家ニ入り又ハ一家ヲ創立スル場合ニ於テハ其戸籍ハ全部抹消シ戸籍簿ヨリ除去シテ除籍簿ニ移綴シ又例ヘハ家族ノ一人又ハ數人カ養子縁組、婚姻等ニ依リ他家ニ入ルトキハ他家ニ入ル者ノ戸籍ノ部分ニ前節第五款ニ掲載セシ如ク養子縁組又ハ婚姻等ニ依リ他家ニ入りタル事由ヲ記載シ其戸籍ノ一部即チ本人ノ戸籍ヲ抹消スルカ如シ

例

第百八十六條 戸籍ヲ編製シタル後一人又ハ數人ヲ戸籍ニ入ルヘキトキハ第百七十七條ノ順序ニ拘ヤラズ戸籍ノ末尾ニ之ヲ記載スルコトヲ得
第百八十七條 一戸ノ全員又ハ一戸内ノ一人若クハ數人ヲ戸籍ヨリ除クヘキトキハ事由ヲ戸籍ニ記載シテ戸籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スルコトヲ要ス

註記

一戸ノ全員ヲ戸籍ヨリ除クハ廢家又ハ絶家ノ場合ニ限ルヘキモノニシテ單身戸主ノ死亡失踪又ハ本家相續等ノ如キモ亦然ランモノナルヘキモ其結局絶家ニ歸スヘキモノナレハ絶家ノ例ニ

依ルヘシ

第二款 本籍ノ轉屬ニ關スル入籍除籍ノ手續

他ノ戸籍吏ノ管轄ニ本籍ヲ有スル者カ此戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルニ依リ入籍ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テハ其入籍スル者ノ身分ニ關スル届出其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ヲ送付スルト同時ニ入籍ヲ爲シタル者ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ通知スヘキモノトス例ヲ擧テ之ヲ言ヘハ甲戸籍吏ノ管轄ニ本籍ヲ有スル者ノ家族カ乙戸籍吏ノ管轄内ニ本籍ヲ有スル者ト養子縁組又ハ婚姻ヲ爲シテ其家ニ入ルノ届出ヲ爲シタルトキハ乙戸籍吏ハ其登記ヲ爲シ又戸籍ニ之ヲ記載シテ縁組又ハ婚姻ノ届書及證人ノ證明書等ノ副本ト入籍ノ通知書トヲ甲戸籍吏ニ送付シ之ト同時ニ入籍通知ヲ爲スカ如シ又轉籍者ニ付テ一例ヲ擧クレハ甲戸籍吏ノ管轄内ニ本籍ヲ有スル戸主カ乙戸籍吏ノ管轄内ニ轉籍ノ届出ヲ爲シタルトキ乙戸籍吏ハ其轉籍者ノ戸籍ヲ編製シ其届出ノ副本ト入籍通知書トヲ併セテ甲管轄ノ戸籍吏ニ送付スルカ如シ

此戸籍吏ノ管轄内ニ本籍ヲ有スル者カ他ノ戸籍吏ノ管轄内ニ轉屬スル場合ニ於テ舊本籍ノ戸籍吏ハ新管轄即チ轉屬シタル地ノ戸籍吏ヨリ入籍ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル後チ其通知ノ發送及ヒ受附ノ年月日ヲ戸籍ニ登記シテ除籍ノ手續ヲ爲スヘキモノニシテ若シ其事項カ轉屬ニアラスシテ轉籍ナルトキハ入籍通知書ノ發送及ヒ受附ノ年月日ヲ記載スル外戸籍ニ轉籍地及ヒ轉籍ノ年月日ヲ記載シテ其戸籍ヲ除去スヘキモノトス例ヘハ甲戸籍吏ノ管轄内ニ本籍ヲ有スル者ノ養子トナリ其本籍カ乙戸籍吏ノ管轄内ニ轉屬スル場合ニ於テ甲戸籍吏ハ乙戸籍吏ヨリ入籍ノ通知ヲ受ケタル後其通知書ノ發送及ヒ受附ノ年月日ヲ本人ノ戸籍ニ記載シテ之カ除籍ノ手續ヲ爲スカ如シ其轉籍ニ依リ除籍スルモ亦此手續ニ依ルヘシト雖モ轉籍ニ在テハ入籍通知書發送及ヒ受附ノ年月日ノ外更ニ轉籍地及轉籍ノ年月日ヲ記載スヘキモノナリ

例

第百八十八條 入籍ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テ入籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ他ノ戸籍吏ノ管轄ヨリ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ヲ送付スルト同時ニ入籍ヲ爲シタル旨ヲ舊管轄ノ戸籍吏ニ通知スルコトヲ要ス

(註記) 戸籍中ノ家族ノ一人又ハ數人カ他ノ戸主ノ本籍ニ轉入シ之カ爲メ本籍地カ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬シ又ハ戸主ノ本籍カ此戸籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉スル場合ニ於ケル入籍ノ手續ヲ規定セラレタルモノニシテ身分ニ關スル届書トハ即チ身分登記簿ニ登記スヘキ届書ヲ云ヒ戸籍ニ關スル届書トハ身分登記簿ニ登記スルヲ要セスシテ單ニ戸籍ニ記載スルニ關スル届書ニシテ例ヘハ轉籍届書ノ類ヲ云フ

第百八十九條 除籍ノ手續ヲ爲スヘキ場合ニ於テ除籍ヲ爲スヘキ者ノ本籍カ戸籍吏ノ管轄ヨリ他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スルモノナルトキハ新管轄ノ戸籍吏ヨリ入籍ヲ爲シタル旨ノ通知ヲ受ケタル後其通知ノ發送及ヒ受附ノ年月日ヲ戸籍ニ記載シテ除籍ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

(註記) 本條ハ此戸籍吏ノ管轄地内ニ本籍ヲ有スル者カ他ノ戸籍吏ノ管轄地内ニ轉籍シ入籍ノ通知ヲ受ケテ除籍スルノ手續ヲ規定セラレタルモノニシテ前項ハ戸主ノ家族ノ一人又ハ數人中他ノ戸籍吏ノ管轄ニ轉屬スル場合ヲ掲ケ第二項ニ全戸轉籍ノ場合ニ於ケル除籍ノ手續ヲ掲ケラレタルモノナリ但シ轉屬トハ家族ノ一人又ハ數人戸籍ヲ轉スルヲ云ヒ轉籍トハ全家舉テ他ニ轉籍スルヲ云フ

第二節 戸籍ニ關スル届書其他ノ書類受附ノ手續及受附ノ年月日ヲ戸

籍ニ記載シ其他文字ノ記載方並文未ニ戸籍吏認印ノ方法

戸籍吏ニ於テ戸籍ニ關スル届書其他ノ書類ヲ受理シタルトキハ第三編第二章ニ記述シタル如ク戸籍法取扱手續第五條ノ手續ヲ爲シ且其届出其他ノ書類ニ受附ノ番號年月日ヲ記載シ届書ニ依リ其事項ヲ戸籍ニ記載スルトキハ尙ホ其届書ヲ受附タル年月日ヲ記載スルコトヲ要ス今其一例ヲ舉ケンニ明治三十一年八月十一日ニ出生ノ届出ヲ受理シタルトキハ其件名、届出人ノ氏名、受附ノ年月日及番號ヲ受附帳ニ記入シ又其届書ニ受附ノ番號及ヒ年月日ヲ記載シ身分登記簿ニ出生ノ登記ヲ爲シタル後引續テ其戸籍ニ出生者ノ名及父母ノ名、出生ノ年月日等ヲ成規ニ依リ記載シ更ニ出生者ノ戸籍ノ上部ニ明治參拾壹年八月拾壹日出生届出同日受附ト其届出受附ノ年月日ヲ記スルカ如シ

例

第百九十條 身分登記又ハ戸籍ニ關スル届出ニ基キテ戸籍ノ記載ヲ爲ス場合ニ於テハ前十一條ニ規定シタル事項ノ外身分ニ關スル届書其他ノ書類又ハ戸籍ニ關スル届書ノ受附年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

(註記) 凡ソ戸籍ハ身分登記簿ニ登記スル事件ニ在テハ身分登記ニ基キテ記載シ身分登記簿ニ登記セサル事件例ヘハ就籍、除籍等ノ如キハ其届書ニ基キテ記載スルモノニシテ是等ニ基キテ戸籍ヲ記載スル場合ニ於テハ第百七十九條以下第百八十九條ニ規定シタル事項ノ外身分登記ニ關スル届出其他ノ書類ノ受附ノ年月日ヲ記載シ又ハ戸籍ニ關スル届出ノ年月日ヲ記載スルモノニシテ戸籍

ハ身分登記簿ニ登記シタル事項ニ在テハ身分登記ニ基キテ記載スルモ其受附年月日ヲ記載スルハ
届書其他ノ書類ノ受附年月日ヲ記載スヘキモノナリ又本條ニ云フ其他ノ書類トハ報告書申請書等
ノ類ヲ云フ若シ死亡ノ報告アリシトキハ其報告書ノ受附年月日ヲ記載シ失踪ノ登記取消ノ申請ア
リタルトキハ其申請書受附ノ年月日ヲ記載スルノ類ナリ

第九十一條 第十八條、第二十九條及第三十一條ノ規定ハ戶籍ノ記載ニ之ヲ準用ス

(註記)

本條ニ掲ケタル第十八條ハ第三編第二章第二十九條第三十一條ハ同第五章ニ掲ケ
(備考) 第一編附録戶籍法取扱手續第五條及第十條並ニ第三編第二章參觀

第四節 戶籍用紙中ノ一部ノ盡キタルトキ記載方及行政區畫變更ニ依 リ土地名稱地番號ノ變更

記載ノ事項多クシテ戶籍用紙中ノ一部分ヲ用ヒ盡シテ記載スヘキ事項ヲ記載シ能ハサルニ至リタルトキハ
同一ノ用紙ヲ以テ其部分ニ掛紙ヲ爲シテ其用紙ニ充テ之ニ記載スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ戶籍吏ハ本
紙ト掛紙トニ職印ヲ以テ契印スヘキモノトス

若シ行政區畫ノ變更ニ依リ甲區ノ一部カ甲ヲ離レテ乙區ニ合併シ其他市町村ノ分合ヲ爲シ若クハ土地ノ名
稱又ハ地番號ニ變更アリタルトキハ戶籍ニ記載シタル區名土地ノ名稱地番號モ隨テ改正セサルヘカラス其
改正スルハ各戶主ノ戶籍中其名稱及地番號ノ傍ニ新名稱新地番號ヲ附記シテ舊名稱舊地番號ヲ抹消スヘキ
モノトス

(例)

第九十二條 戶籍用紙中ノ一部分ヲ用ヒ盡シタルトキハ掛紙ヲ以テ用紙ニ充ツルコトヲ得
掛紙ヲ爲シタルトキハ戶籍吏ハ職印ヲ以テ掛紙ト本紙トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第九十三條 行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ戶籍ニ記載シタル區畫、名稱又
ハ番號ハ當然之ヲ改正シタルモノト看做ス

第七編 戶籍ニ關スル届出

第一章 轉籍及本籍變更

凡ソ戶主カ一家ヲ舉テ他ノ戶籍吏ノ管轄内ニ本籍ヲ轉スルモノ之ヲ轉籍ト單稱シ同一ノ戶籍吏ノ管轄地内
ニ於テ甲乙轉スルカ如キハ本籍變更ト稱ス一戶籍中ノ家族ノ一人又ハ數人カ婚姻、養子縁組、離婚、離縁、
分家及ヒ廢絶家再興、親族入籍等ニ依リ他ノ戶籍吏ノ管轄地ニ本籍ヲ移スカ如キモ轉籍ナルヘクレトモ本
法ニ於テハ轉籍トハ言ハスシテ本籍ノ轉屬ト掲ケラレタリ就中戶主カ全家ヲ舉ケテ他ノ戶籍吏ノ管轄地内
ニ本籍ヲ轉セントスルトキハ戶主ハ原籍地ノ戶籍吏ニ請ヒテ其戶籍ノ謄本ヲ受ケ轉籍者ノ氏名、出生ノ年
月日及職業ト原籍及ヒ轉籍地ヲ具シ其謄本ヲ添ヘテ轉籍地ノ戶籍吏ニ届出ツヘキモノニシテ其届書ハ正副
二本ヲ作ルコトヲ要ス轉籍地ノ戶籍吏ニ於テ其届出ヲ受理シタルトキハ第六編第二章第一節第二款第一項
ノ手續ニ依リテ入籍ヲ取扱ヒ原籍ノ戶籍吏ハ其第二項ニ依リテ之カ除籍ヲ爲スヘキモノトス
若シ同一ノ戶籍吏ノ管轄内ニ於テ本籍ヲ變更セントスルトキハ其戶主ハ原籍地及新籍地ヲ具シテ戶籍吏ニ本
籍地變更ノ届出ヲ爲スヘキモノトス轉籍及本籍地變更ノ届出ハ總テ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシト雖モ正當ノ
事由アルモノハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ此場合ニ於テ戶籍吏ハ其供述ヲ聽キテ届書ヲ作り戶主ヲ
シテ署名捺印セシムル等總テ登記ニ關シ戶籍吏カ作製スルノ方式ニ準スヘシ又此届出ニ付テハ第五十一條
ニ依リ代人ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

(例)

第九十五條

戸籍吏ハ管轄地外ニ本籍ヲ轉セント欲スルトキハ戸主ヨリ左ノ諸件ヲ具シ戸籍ノ謄本ヲ添ヘテ之ヲ轉籍地ノ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

- 一 轉籍者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ職業
- 二 原籍地及ヒ轉籍地

前項ノ届書ハ正副二本ヲ作ルコトヲ要ス

(註記)

本條ハ甲戸籍吏ノ管轄地内ニ本籍ヲ有スル戸主ヲ一家ヲ舉クテ乙戸籍吏ノ管轄地内ニ轉籍スル場合ノ届出方式ヲ掲ケラレタルモノナリ

第九十六條

戸籍吏ノ管轄地内ニ於テ本籍地ヲ變更セント欲スルトキハ戸主ヨリ原籍地及ヒ新本籍地ヲ具シテ其旨ヲ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス

(註記)

本條ハ同戸籍吏ノ管轄地ニ轉籍スル者ノ届出方式ヲ掲ケラレタルモノニシテ此場合ニ於テハ其届書ハ二通ヲ要セス

第二章 就籍及除籍

第一節 漏籍者就籍及重籍者除籍ノ届出ノ手續並ニ届出義務者

凡ソ戸籍届出ノ漏漏其他ノ事由ニ因リ本籍ヲ有セサル者ハ就籍ノ手續ヲ爲ササルヘカラス之ニ反シ本籍ノ重複シアルモノハ其一方ヲ除籍セサルヘカラス凡ソ日本人ニシテ國籍ヲ有セサルモノアルヘカラスアルト一人ニテ二個以上ノ本籍ヲ有スヘキモノニアラサルノ理由ニ基ケルモノナリ故ニ本籍ヲ有セサルモノハ戸主タルヘキモノト家族ナルトヲ問ハス就籍ノ手續ヲ爲シ復本籍ヲ有スル者ハ戸主家族ヲ論セス一方ヲ存シテ他ヲ除籍スルノ手續ヲ爲ササルヘカラス其就籍又ハ除籍ヲ爲スノ手續ハ漏籍其他ノ事由又ハ復本籍ヲ有シタル事由ヲ掲ケテ其就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲サントスル戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ請求ヲ爲

シ其許可ヲ得テ就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲スヘキモノニシテ其就籍又ハ除籍カ家族ナルトキ又ハ戸主ト家族ナルトキハ其届出ハ戸主ヨリ之ヲ爲スヘキモノトス

(例)

第九十七條 届出ノ漏漏其他ノ事由ニ因リ本籍ヲ有セス又ハ復本籍ヲ有スル者ハ就籍又ハ除籍ノ届出ヲ爲サントスル戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ許可ヲ得テ其届出ヲナスコトヲ要ス

(註記)

本條ハ所謂舊ノ無籍者編入、漏籍者編入及重籍者除籍ニシテ其他ノ事由トハ届出ノ漏漏ニアラサル事由ヲ云フ例ヘハ失踪者カ八十年以上ニ達シタルニ依リ曾テ除籍シタル後數年ヲ經過シテ尙ホ生存アリシ場合ニ於テ就籍ヲ請求スルカ如キヲ云フ

第九十八條 就籍又ハ除籍スヘキ者カ家族ナルトキ又ハ戸主及ヒ家族ナルトキハ前二條ノ届出ハ戸主ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス

(註記)

本條ハ就籍又ハ除籍スルニ付届出ノ義務ヲ負フ者ヲ規定シタルモノニシテ其就籍又ハ除籍スヘキ者カ戸主ナルトキハ勿論又其家族ナルトキハ就籍除籍ノ届出ハ戸主ニ於テ之ヲ爲シ若シ又戸主ト家族ト共ニ就籍除籍ノ届出ヲ爲ストキハ總テ戸主ニ於テ之ヲ爲スヘキモノトス

第二節 就籍届

裁判所ニ於テ就籍請求ノ許可アリテ其裁判確定シタルトキハ確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘ左ノ諸件ヲ具シテ就籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ其届出ヲ爲スヘキヲ要ス

- 一 就籍スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日時、職業及ヒ就籍スヘキ地
- 二 就籍スヘキ者ノ氏名及ヒ其者ト父母トノ続柄
- 三 本籍ヲ有セザリシ原因

- 四 就籍スヘキ者カ前ニ本籍ヲ有セシトキハ其舊本籍地
 - 五 就籍スヘキ者カ戸主ナルトキハ其旨
 - 六 就籍スヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱、職業及ヒ其者ト戸主トノ續柄
 - 七 就籍スヘキ者カ戸主及ヒ家族ナルトキハ戸主、家族ノ別及ヒ家族ト戸主トノ續柄
 - 八 就籍スヘキ者カ他家ヨリ入りテ戸主又ハ家族ト爲リタル者ナルトキハ其原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名、族稱及ヒ其戸主トノ續柄
- 前第六號及第七號ノ場合ニ於テ就籍スヘキ者カ家族ニシテ他家ヨリ入りテ他家ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者ナルトキハ届書ニ其者ト戸主トノ續柄ノ外他ノ家族トノ續柄ヲ記載スヘシ又他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族ノ關係ヲ有スル者ナルトキハ又其者ト戸主トノ續柄ノ外家族トノ續柄ヲ記載シ若シ又其就籍スヘキ家族カ他ノ家族トノミ關係ヲ有スル者ナルトキハ其者ト他ノ家族トノ關係ノミヲ記載スヘキモノトス

例

第九十八條 就籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ就籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項第六號及第七號ノ場合ニ於テ就籍スヘキ家族カ他家ヨリ入りテ他家ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者ナルトキ又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ届書ニ其者ト戸主トノ續柄ノ外他ノ家族トノ續柄ヲ記載シ若シ他ノ家族トノミ親族關係ヲ有スル者ナルトキハ其者ト他ノ家族トノ續柄ノミヲ記載スルコトヲ要ス

註記

本條ノ第一號乃至第八號ハ本文ニ成文ノ儘掲ケタルハ省略ス而シテ本條ハ戸主又ハ家族若クハ戸主ト家族トノ就籍ノ届出ニ關スル事項ヲ掲ケタルモノニシテ其届出ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ就籍地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲シ其届出ニ付テハ第一號乃至第八號ノ事項ヲ記載スルヲ要ス然シテ本條第一號ノ其者ト父母トノ續柄トハ就籍スヘキ者ト父母トノ續柄ヲ記載スヘキモノニシテ即チ養親子又ハ繼父母、繼子若クハ嫡母及庶子等ノ如キ續柄ヲ云フ第二號ノ本籍ヲ有セザラシ原因トハ例ヘハ明治五年戸籍編製ノ際家ヲ出テ歸ラサリシニ依リ戸籍人別ノ届出ニ漏シ又ハ出生ノ際父母ニ於テ其届出ヲ怠リタルヲ以テ其籍ニ漏レ若クハ失踪ニ依リ除籍セラレ數年ヲ經タルニ依リ無籍トナリタル等總テ籍ニ欠漏セシ原因ヲ記載スヘキヲ云ヒ第四號ノ就籍スヘキ前ニ本籍ヲ有セシトハ殆ト失踪者カ除籍セラレテ後就籍スルカ如キ場合ヲ云ヒ第八號ハ他家ノ家族ニシテ他家ニ入りタル後其家ヲ去リテ其籍ヲ失ヒタル者カ更ニ就籍スル場合ニ於テ届書ニ記載ノ方式ヲ掲ケ第二項ノ就籍スヘキ家族カ他家ヨリ入りテ他家ノ家族ノ配偶者ト爲リタル者トハ例ヘハ甲家ノ家族トリシ甲者カ乙家ノ家族タル乙者ノ配偶者トナリタル者ナルトキ乙家戸主トノ續柄ノ外甲者トノ續柄ヲ記載スヘキヲ云ヒ又就籍スヘキ家族カ他ノ家族ト戸主トノ親族關係ヲ有スルトハ例ヘハ甲家ノ戸主甲者ノ養父タル乙者ト就籍スヘキ丙者トハ親子ノ關係ヲ有シ其乙丙ノ關係ヨリシテ甲ト丙トカ親族ノ關係ヲ有スルカ如キヲ云フ又他ノ家族ノミ關係ヲ有スルトハ甲家戸主ノ長男乙者ハ丙者ノ妹ノ所生ニシテ其妹ハ既ニ死亡シ丙者カ甲家ニ就籍セントスルモ甲家ハ單ニ乙者ノ親族タリシカ如キヲ云フ

第二節 除籍届

復本籍ヲ有スル者カ重復スル處ノ本籍ヲ除キテ其本籍ヲシテ一ニ歸セシムルハ既ニ記述シタルカ如ク區裁判所ノ許可ヲ受クヘキモノニシテ除籍ノ許可ヲ得テ之カ届出ヲ爲スハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判謄本ヲ添ヘテ除籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ届出ヘキモノトス

- 一 除籍スヘキ者ノ氏名、族稱、職業、本籍地及ヒ復本籍地
- 二 復本籍ヲ有セル原因
- 三 除籍スヘキ者カ本籍ト復本籍トニ於テ身分ヲ異ニスルトキハ本籍並ニ復本籍ニ於ケル身分及ヒ其身分ノ異ナル原因

(例)

第九十九條 除籍ノ届出ハ許可ノ裁判カ確定シタル日ヨリ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ除籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

(註記)

本條ノ第一號乃至第三號ハ成文ノ儘ヲ本文ノ起頭ニ掲ケタレハ容ス而シテ本條ハ復本籍ヲ有スル者カ重復スル處ノ本籍ヨリ除籍スルニ付テ届出ノ手續ヲ掲ケラレタルモノニシテ第一號ノ復本籍地トハ即チ重復スル本籍地ヲ云フ故ニ例ヘハ大久保村ニ本籍ヲ有シテ住居スル者カ淀橋町ノ戸籍ニモ掲載アルトキハ即チ淀橋町ハ本籍カ重復スル地ナリ第二號ノ復本籍地ヲ有スル原因トハ例ヘハ代々大久保村ニ住居スル士族カ淀橋町ニ田畑ヲ所持セシテ以テ從前其田畑ニ百姓名前ヲ付シ置キ之ヲ淀橋町ノ名寄帳ニ記載アリシヨリ茲ニ戸籍編製ノ際淀橋町ノ戸籍ニ掲ケ大久保村ハ素ヨリ居住地ナルニ依リ大久保村ノ戸籍ニ編製シタルヨリ本籍重復シ又ハ甲地ノ本籍者カ乙地ニ轉居セシメ甲町村役場ニ於テ除籍スルコトヲ怠リタルヨリ終ニ本籍カ重復スルニ至リタルカ如キ皆其原因タルヘシ第三號ノ身分ヲ異ニスルトハ一方ニハ士族トシ他ノ一方ニ平民ト掲ケアリシ如キヲ云フ

第三章

身分登記ノ届出ニ關シ規定セラレタル左ノ諸件ハ戸籍ニ關スル届出ニ付テモ之ヲ準用スヘキモノトス

身分登記ノ届出ニ關スル規定中戸籍ノ届出ニ準用スヘキ事項

- 一 届出ハ書面ヲ以テ之ヲ爲シ正當ノ理由アルトキハ戸籍吏ニ其理由ヲ陳述シ口頭ヲ以テ届出ヲ爲シ得ルコト
- 二 届書ニハ届出事件、届出年月日、届出人ノ族稱、職業、出生ノ年月日本籍地ヲ記載シ署名捺印スルコト
- 三 届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者ト爲シ其届出人ハ届書ニ届出ヲ爲スヘキ者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日及本籍地、無能力者ノ原因、届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タルコトヲ記載スヘキコト
- 四 届出人届出事件ノ本人又ハ届出ノ證人カ本籍地外ニ在ルトキ届書ニ其所在地ヲ記載スルコト
- 五 本法ノ規定ニ依リ届書ニ記載スヘキ事項中其事實ヲ存セサルモノ又ハ知レサルモノアルトキハ其旨ヲ記載スルコト戸籍吏ニ於テ各届出事件ニ付特ニ重要ト認ムル事項ヲ記載セサル届書ヲ受理スルヲ得サルコト
- 六 届書ニハ本法其他法令ニ定メタル事項ニ非サレハ之ヲ記載スルコトヲ得サルコト
- 七 第二十九條ノ規定ハ届書ノ記載ニ之ヲ準用スルコト
- 八 口頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ハ戸籍吏ノ面前ニ出頭シ届出事件ヲ陳述シ戸籍吏ハ直チニ其口述並ニ届出ノ年月日、届出人ノ氏名、出生ノ年月日、職業及ヒ本籍地ヲ筆記シテ届出人ニ讀聞カセ届出人ヲシテ署名捺印セシムルコト
- 九 前項ノ規定ニ依リテ戸籍吏カ作ルヘキ書面ニハ届書ニ關スル規定ヲ準用スルコト
- 十 届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リテ自ラ戸籍吏ノ面前ニ出頭スルコト能ハサルトキハ代理人ヲ差出スコトヲ得ルコト

- 十一 本法ニ定メタル届出期間ハ届出事件ノ發生シタル日ヨリ起算スルコト
- 十二 裁判確定ノ日ヨリ期間ヲ起算スヘキ場合ニ於テ届出義務者カ裁判ノ送達又ハ交付ヲ受ケタル前裁判カ確定シタルトキハ其送達又ハ交付ヲ受ケタル日ヨリ期間ヲ起算スルコト
- 十三 本法ノ規定ニ依リ期間内ニ爲スヘキ届出ヲ怠リタル爲メ過料ニ處セラレタル者アルトキ戸籍吏ヨリ既ニ届出ヲ受理シタル旨ノ通知アリタル場合ノ外裁判所ハ遲滞ナク其届出ヲ爲スヘキ地ノ戸籍吏ニ通知スヘキコト
- 十四 戸籍吏ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ届出義務者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨催告ヲ爲スヘキコト
- 十五 届出義務者カ催告ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ戸籍吏ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シ爾後届出義務者カ催告ニ應セザルトキ尙ホ催告ヲ爲スヘキコト
- 十六 本法ノ規定ニ違反シ届出ヲ爲ササル者カ管轄内ニアルコトヲ知リタルトキハ戸籍吏ハ其事項ヲ管轄區裁判所ニ通知スルコト
- 十七 届出期間ヲ經過シタル後ニ届出ヲ爲シタル場合ト雖モ戸籍吏ハ其届出ヲ受理スヘキコト
- 十八 届出人ハ手数料ヲ納付シテ届出受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得ルコト

(例)

第二百二條、第四十三條、第四十四條、第四十六條、第四十九條乃至第五十二條、第五十四條、第五十五條、第五十八條及第六十二條乃至第六十六條ノ規定ハ本章ノ届出ニ之ヲ準用ス

(備考)

第四編第一章第一節乃至第六節及第八節乃至第十節參觀

第八編 抗告、罰則及附則

第一章 抗告

第二百三條 身分登記又ハ戸籍ニ關スル事件ニ付キ戸籍吏ノ處分ヲ不當トスル者ハ戸籍役場ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

(註記)

身分登記又ハ戸籍ニ關スル事件ニ付キ戸籍吏ノ處分トハ例ハ身分登記又ハ戸籍ニ關スル事件ノ届出ヲ爲スモ戸籍吏ニ於テ之ヲ受理セス又ハ受理スルモ懈怠ニ付シ登記又ハ記載ヲ怠リ若クハ登記、記載ヲ誤マリ或ハ手数料ヲ納付シテ登記簿及戸籍ノ閲覧若クハ謄本、抄本等ヲ請求スルモ戸籍吏ニ於テ閲覧ヲ爲サシメス又之ヲ交付セサル等何事ニ依ラス登記及戸籍ニ關スル不當ノ處分アル場合ヲ云フ此場合ニ於テハ其處分ヲ不當トスル者ハ裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ

第二百四條 抗告ハ管轄區裁判所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

(註記)

抗告狀ニハ届書又ハ申請書及ヒ其他ノ關係書類ヲ添フルコトヲ要ス
申請書其他關係ノ書類ヲ添付スヘキモノトス

第二百五條 抗告ヲ受ケタル裁判所ハ抗告ニ關スル書類ヲ戸籍吏ニ送付シテ其意見ヲ求ムルコトヲ要ス

(註記)

裁判所ニ於テ抗告ヲ受ケタルトキハ其書類ヲ一旦戸籍吏ニ送付シテ戸籍吏ノ意見ヲ求ムルヘキニ依リ戸籍吏ハ其書類ニ付キ熟考シテ其意見ヲ答申セサルヘカラス

第二百六條 戸籍吏ハ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ處分ヲ變更シテ其旨ヲ裁判所及ヒ抗告人ニ通知スルコトヲ要ス

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ其意見ヲ附シ送付ヲ受ケタル書類ヲ五日内ニ裁判所ニ返還スルコトヲ

要ス

(註記) 戸籍吏ニ於テ抗告ニ關スル書類ノ送附ヲ受ケ其抗告ノ理由アリト認メタルトキハ戸籍吏ハ既ニ爲シタル處分ヲ變更シテ抗告人ノ申立ヲ採用スルヲ得ヘシ其處分ヲ變更スルトキハ戸籍吏ハ其旨ヲ裁判所及抗告人ニ通知スヘシ又其抗告ノ理由ナシト認ムルトキハ其書類ニ意見ヲ附シテ五日內ニ其書類ヲ送附ヲ受ケタル裁判所ニ返還スヘキモノトス

第二百七條 裁判所ハ抗告ノ理由ナシトスルトキハ之ヲ却下シ其理由アリトスルトキハ戸籍吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告ヲ却下シ又ハ處分ヲ命スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲シ之ヲ戸籍吏及ヒ抗告人ニ送達スルコトヲ要ス

(註記) 本條ハ抗告ノ理非ヲ正シテ裁判所カ決定ヲ以テ之ヲ却下シ又戸籍吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ規定シタルモノニシテ裁判所ハ其抗告ノ理由ナシトスルトキハ抗告人ニ之ヲ却下スヘシト雖モ若シ理由アリト認メタルトキハ戸籍吏ハ或ハ懲戒ニ付シ或ハ過料ニ處スル等相當ノ處分ヲ命スヘキモノトス

第二百八條 裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスルトキニ限り民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ抗告ヲ爲スコトヲ得

(註記) 本條ハ裁判所ノ決定ニ對シ民事訴訟法ノ規定ニ依リ更ニ抗告ヲ爲シ得ヘキコトヲ規定シタルモノニシテ民事訴訟法ノ規定ニ依リ抗告ヲ爲シ得ヘキハ裁判ノ決定カ法律ニ違背シタル裁判ナルコトヲ理由トスル時ニ限ルヘキモノトス

第二百九條 抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

(註記) 本條ハ抗告ノ費用ヲ規定シタルモノニシテ抗告ノ費用ハ非訟事件手續法第二十六條ニ依リ申立人ノ負擔トス其他第二十七條等ヲ準用スヘキモノトス

第二章 罰則

第二百十條 本法ノ規定ニ依リ期間內ニ爲スヘキ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ十圓以下ノ過料ニ處セラ

(註記) 本條ハ本法ニ規定セラレタル期間內ニ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ヲ罰スヘキ明條ヲ掲ケタルモノニシテ期間內ニ届出又ハ申請ヲ怠リタルトハ例ヘハ出生ノ日ヨリ十日內ニ出生ノ届出ヲ爲ササル者或ハ死亡ノ日ヨリ五日內ニ死亡ノ届出ヲ爲サス胎內ニ在テ認知セラレタル子カ死體ニテ分娩シタルトキ其事實ヲ知リタル日ヨリ一个月內ニ認知ノ登記ノ取消ヲ申請セサルカ如キヲ云フ其之ヲ怠リタル者ハ本條ノ過料ニ處セラレヘシ

第二百十一條 期間內ニ届出又ハ申請ヲ爲ササルニ因リ戸籍吏カ期間ヲ定メテ届出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ尙ホ其届出又ハ申請ヲ怠リタル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處セラレ二回以上戸籍吏ノ催告ニ應セサル者モ亦同シ

(註記) 本條ハ戸籍吏ノ催告ニ應セスシテ尙ホ届出又ハ申請ヲ怠リタル者ヲ罰スヘキ明條ヲ規定シタルモノニシテ戸籍吏ノ催告ニ應セサル者アルトキハ戸籍吏ハ數回催告ヲ爲シ得ヘクシテ數回之ニ應セサルトキハ又數回本條ノ過料ニ處セラレヘキモノトス

第二百十二條 戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處セラレ

- 一 正當ノ理由ナクシテ身分又ハ戸籍ニ關スル届出若クハ申請ヲ受理セサルトキ
- 二 身分登記又ハ戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ又ハ戸籍ニ關スル届出又ハ申請ノ受理ノ證明

書ヲ交付セサルトキ

(註記) 本條第一號第二號ノ所爲アルトキハ其所爲カ故意ナルト過失ナルトヲ問ハス戸籍吏ハ三十圓以下ノ過料ニ處セラレヘシ

第二百十三條 戸籍吏ハ左ノ場合ニ於テハ十圓以下ノ過料ニ處セラレ

一 正當ノ理由ナクシテ身分登記簿又ハ戸籍簿ノ閲覧ヲ拒ミタルトキ

二 正當ノ理由ナクシテ身分登記簿又ハ戸籍簿ノ謄本若クハ抄本ヲ交付セス又ハ身分若クハ戸籍ニ關スル届出又ハ申請ノ受理ノ證明書ヲ交付セサルトキ

(註記) 本條ハ戸籍吏カ正當ノ理由ナクシテ身分登記簿又ハ戸籍簿ノ閲覧ヲ拒ミ又ハ其謄本、抄本ヲ交付セス若クハ届出又ハ申請ノ受理ノ證明書ヲ交付セサルトキノ制裁ヲ規定セラレタルモノニ

シテ是等ノ場合ニ於テハ戸籍吏ハ本條ノ過料ニ處セラレヘキモノトス

第二百十四條 本章ニ定メタル過料ノ裁判ハ過料ニ處セラレヘキ者ノ住所又ハ居所ノ地ヲ管轄スル區裁判所之ヲ爲ス其裁判及ヒ裁判ノ執行ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

(註記) 本章ノ規定ニ依リ過料ニ處セラレヘキ裁判ハ其過料ニ處セラレヘキ者ノ住所又ハ居所ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄ニ屬スヘキモノナルヲ以テ市町村ノ分レテ甲乙二個ノ區裁判所カ管轄スルトキ戸籍役場ハ甲區裁判所ノ管轄内ニアルヲ以テ甲區裁判所ノ監督ニ屬スヘキモ其戸籍吏其他届出又ハ申請違反者カ乙區裁判所ノ管轄ニ住居スルトキハ乙區裁判所ノ管轄ニ屬スヘキモノトス

第二百十五條 自己又ハ他人ノ利ヲ圖リ若クハ他人ヲ害スル目的ヲ以テ身分又ハ戸籍ニ關シ詐僞ノ届出若クハ申請ヲ爲シタル者ハ十一日以上四年以下ノ重禁錮又ハ貳圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラレ

(註記) 本條ハ自己又ハ他人ノ利害ヲ曠スヘキ爲メニ故ラニ詐僞ノ届出ヲ爲シタル者ヲ罰スルノ明

條ヲ掲ケラレタルモノニシテ若シ自己又ハ他人ノ利害ニ關スルニアラスシテ差異アル届出ヲ爲ス者ニ在テハ事實過誤ノ所爲タラサルヘカラサレハ本條ニ依リ處罰スヘキモノニアラス若シ既ニ差異ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記變更ノ手續ニ依リ訂正スヘキモノトス

第二章 附則

附則ハ第二百十六條ヨリ第二百二十三條迄總テ八條アリ就中第二百十六條ハ市町村長ヲ置カサル地ニ於テ戸籍吏ノ職務ヲ行フヘキ吏員ノ件ニシテ之ヲ第一編第一章ニ掲ケ第二百十七條ハ本法ノ規定ニ依リ納付スル手續料收入ノ件ニシテ又第一編第一章ニ掲ケ第二百十八條ハ届出人其他ノ者ノ署名捺印ノ件ニシテ第二編第五章ニ掲ケ第二百十九條ハ登記目錄ヲ以テ登記簿ニ代用ノ件第二百二十條ハ登記目錄ノ冊數紙數不足ノ場合ニ於テ戸籍吏作製ノ件ニテ第二編第一章ニ掲ケ

第一節 戸籍改製ノ時期

凡ソ戸籍ハ従前編製シタルモノヲ用ヒ家督相續、轉籍ノ場合ト分家、廢絶家再與其他一家ヲ創立スル場合ニ於テ更ニ之ヲ編製スルトキハ其記載ハ本法ノ規定ニ依ルヘシト雖モ其他ハ従前ノ戸籍ヲ用ヒテ本法ニ依リ改製スルヲ要セス若シ本法ノ用紙ヲ用ヒテ戸籍ヲ編製スルトキハ舊戸籍ニ記載ナキ事項ニシテ其實事ヲ知ル能ハサルモノノ其記載ヲ省クコトヲ得ヘシ従前ノ戸籍中父ノ名ハ總テ記載アルモ母ノ名ニ至テハ母カ家族ニシテ生存セサルモノハ記載ナキヲ常トセハ若シ其母ノ名等ノ知ル能ハサルモノハ勿論其他總テ事實ヲ知ル能ハサルモノハ之ヲ省クコトヲ得ヘシ其舊用紙ニ在テハ本法ニ從ヒ記載スヘキ事項ノ區畫ナキモノアリ若シ舊用紙ヲ以テ編製スルトキハ其區畫ナキモノハ亦之ヲ省クヲ得ヘシ總シテ一体ニ戸籍ヲ改製スル時期ハ司法大臣ニ於テ定メラレヘキモノトス

例

第二百二十一條 本法ノ規定ニ依リ戶籍ヲ改製スヘキ時期ハ各地又ハ一般ニ付キ司法大臣之ヲ定ム
本法施行後戶籍ノ記載ヲ爲シ又ハ新ニ戶籍ヲ編製スル場合ニ於テハ其記載又ハ編製ニ付テハ本法ノ規定ニ從フコトヲ要ス但記載ヲ要スル事項ニシテ其實事ヲ知ルコト能ハサルモノ又ハ從前ノ戶籍用紙中其事項ヲ記載スヘキ區劃ノ設ナキモノハ其記載ヲ省クコトヲ得

第二節 寄留

第一款 寄留ノ事務

明治四年領布ノ戶籍法ハ勿論明治十九年内務省令第十九號及同年内務省令第二十二號ノ寄留ニ關スル規定ノ外ハ本法施行ノ日ヨリ廢セラレ又其他ノ法令ナルモ本法ノ規定ニ抵觸スルモノト重復スルモノト同日ヨリ廢止セラレヘキモノトス故ニ内務省令第十九號寄留届出ニ關スル制裁及出入寄留簿及其届出登記ニ關スル規定等ハ此法律ト相並施行スヘキモノタル取テ言フヲ待タス然リ而シテ其寄留ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ第五條ノ規定ヲ準用シ司法行政ノ監督ヲ準屬セラルヘキモノトス
寄留ノ事務ニ在テハ内務省令ニ依リ取扱フヘキニ依リ其事務ハ市町村長ノ職務ニ屬シ戶籍吏ノ職務ニ屬セサルモノナリト言フ說夥多アリテ當路ノ吏員ノ迷ヒテ決セサル者多シ編者カ者アル處ニ依リハ寄留ハ即チ戶籍事務ノ一部分ニシテ内務省カ明治十九年ニ於テ省令ヲ發シテ其事務ノ手續ヲ定メ届出ヲ怠リタル者ニ付罰則ヲ規定セラレタルハ戶籍法則ニ基キテ定メラレタルモノニシテ該法令ハ當時其主管タリシ内務省ヨリ發セラレタルモノ今日戶籍ノ事務カ司法省ノ主管ニ移屬セラレタル上ハ寄留ノ事務モ從テ司法省ノ主管ニ移屬セラレサルヘカラス其元タル戶籍事務カ司法部ニ屬シテ技葉タル寄留ノ事務カ内務省ノ主管タルヘキ事ハ道理上ヨリ論スルモ實際上ヨリ論スルモ決シテアルヘカラサルナリ殊ニ從來所管ノ移轉ニ從ヒ舊主管

應ノ法令ノ其儘履行セラレタルコトハ往々其例ヲ見ル處ナリ斯ク言ハ、論者ハ或ハ言ハシ該法令中區長戶長ニ於テ寄留者ノ届出ヲ受理シ寄留簿ヲ整頓スヘキ明文アリテ區長戶長ノ事務ハ市町村長ノ固有ノ事務タルモ市町村長ト戶籍吏トハ其人ハ同一ナルモ其職務ハ異ナルヘキモノナリ故ニ若シ戶籍吏ヲシテ寄留ノ事務ヲ處理セシムルニ於テハ該法令中ノ區長戶長ハ戶籍吏タルコトヲ明示セラレサルヘカラス否ラサルニ依リ該事務ハ從前ノ如ク市町村長ニ屬スヘキモノナリト論者ノ言ハル處一理ナキニアラサレトモ戶籍吏ト市町村長トハ別種ノモノニアラス市町村長ハ戶籍吏ニシテ戶籍吏ハ市町村長ナリ市町村長カ戶籍ノ事務ヲ扱フトキハ戶籍吏トナリ其市町村ノ行政事務ニ從事スルトキハ市町村長ノ名ヲ以テシ敢テ別人ナルニアラズ止タ其主管ノ異ナルノミ其主管ノ異ナルカ故ニ亦其監督ノ異ナルモノトス然リ而シテ戶籍吏トシテ身分登記及戶籍ニ關スル事務ニ從事スル者ハ市町村長ニ限ルヘカラス市參事會員町村助役等ニ於テモ市町村長ニ依リ該場合ハ戶籍吏ノ職務ニ從事スル者ノ言ハル如ク内務省令第十九號第二十二號中區長戶長トアルニ依リ寄留ノ事務ハ市町村長ニ屬スヘシトセハ明年三十年十一月十一日大藏省令第二十號ニ依リ戶籍ノ謄本ヲ請求スル者アル場合ニ於テハ該省令ニハ市町村長ノ證明シタル新舊戶籍ノ謄本云々トアルニ依リ其謄本ヲ作り之ニ證明シテ交付スヘキモノハ市町村長ナラサルヘカラス又公證人規則第二十八條ニ依リ在籍ヲ證明スルモ郡長若クハ戶長ト明掲セラレアルハ市町村長ナラサルヘカラス其他陸軍士官候補生教導團生徒中央地方幼年學校生徒ノ志願書ニ添付スヘキ戶籍ノ謄本ヲ始メ從前ノ法令中戶籍ノ謄本ヲ提出セシムル明文アルモノ管區長戶長市町村長ニ於テ證明スヘキ明文ヲ掲ケラレアリ戶籍法施行後既ニ數句ヲ經ルモ未タ戶籍吏ト改正スルノ令達アリシヲ聽カス去リ迎市町村長ノ職務トシテ戶籍ヲ謄寫シ之ヲ證明スルハ市町村長ノ事務ト戶籍吏ノ事務トヲ混交シ結局其監督アル所ヲ區別スル能ハサルニ至ルヘシ故ニ人ハ同一ノ人タリトモ其職務ハ之ヲ區別セサルヘカラス是レ法令ニ區長戶長又ハ市町村長トアリシモ其職務ノ區別ヲ設ケラレタル

上ハ區別スヘキコト當然ナルヘケレハ爾來是等ノ事務ハ渾テ戶籍吏ノ職務ニ移屬セシコトハ言テ俟タスシテ明カナリ尙ホ一步ヲ進メテ寄留ノ事務ヲ戶籍吏ニ屬セサルヘカラサルコトヲ證言スヘシ見ヨ戶籍法第二百二十二條ノ末項ニ於テ寄留ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ第五條ノ規定ヲ準用ストアルニアラスヤ蓋シ此法意ヲ案スルニ寄留ノ事務ニ付テハ戶籍及身分登記ニ關スル事務ニ準シテ裁判所構成法ノ規定ヲ準用セラルヘキハ戶籍及身分登記ニ關スル事務ヲ準シテ司法行政ニ關スル規定即チ裁判所構成法ノ規定ヲ準用セラルヘキモノナルヘシ若シ寄留ノ事務ヲシテ市町村長ノ職務ニ屬スルモノトセハ寄留ノ事務ハ行政廳ノ監督ニ付セラルヘキヲ以テ戶籍法第五條ヲ準用セラルルハ穩當ナラサルノミナラス其法文ハ市制町村制ノ規定ヲ準用ストセサルヘカラス然ルニ第五條ノ規定ヲ準用セラルヘキ明文ヲ掲ケラレタルニ依リ寄留ノ事務モ共ニ戶籍吏從屬スヘキモノタル疑フヘカラサルナリ

編者曰此疑義ニ付テハ我カ大久保村ハ既ニ其筋ヘ稟伺中ニシテ尙ホ此事ニ付テハ或ル者ニ質義セシニ市町村長ノ職務ニ屬スヘキ景况ナリト雖モ編者ハ固ク本説ヲ執テ動かサルモノナリ

例

第二百二十二條 明治四年四月四日布告戶籍法、明治十九年内務省令第十九號及ヒ同年内務省令第二百二十二號ハ寄留ニ關スル規定ヲ除ク外本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止シ其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ抵觸シ又ハ重複スルモノハ同日ヨリ之ヲ廢ス

寄留ニ關スル事務ノ監督ニ付テハ第五條ノ規定ヲ準用ス

附記

寄留ニ關スル届出及取扱手續等ニ關スル諸則ハ第四部中ニ其目ヲ設ケテ掲載スヘキニ依リ讀者宜ク第四部ニ就キ之ヲ了セラルヘシ

第二部 親族編

第一編 總則

本編ハ親族ノ範圍及親等算定ノ方法ニ關スル規定ヲ掲ケラレタルモノニシテ本編各條ノ規定ハ所謂親族法ノ基礎タルモノナリ

第一章 親族ノ範圍

凡ソ六親等内ノ血族ト配偶者及三親等内ノ姻族ヲ以テ親族トシ縱令血統相聯繫シ實際親族ノ關係アリト雖トモ此範圍外ニ在ルモノハ民法上親族タル効力ヲ有セス故ニ親族ニ付規定シタル民法上ノ權利ヲ行ヒ義務ヲ負擔スルコトヲ得サルモノナリ

親等ハ世數ヲ算シテ之ヲ定メ一世ヲ一親等トシ世代ヲ重テ爾ニ隨ヒ親等ノ數ヲ増シ親族ノ關係ヲ疎ニス故ニ親族ノ遠近ハ世數ノ多少ニ依ル其始祖ヨリ子孫ニ直下スルモノニアラスシテ同始祖ニ出ツル處ノ親系即チ親族ノ一人又ハ配偶者ヨリ始祖ニ遡リ其始祖ヨリ子孫ニ下ラスシテ他ノ一人ニ下ルマテノ世數ヲ傍系ト謂ヒ其親等ヲ定ム蓋シ傍系親トハ直系親ニ對スルノ語ニシテ父祖子孫ハ直系ニシテ兄弟伯叔父姑ノ如キハ即チ傍系親ナリ其親等ヲ算フルハ已レ又ハ配偶者ヨリ算フルモ已又ハ配偶者ヲ以テ世數ニ加ヘス直系ノ親等ヲ算フルトキハ父母ヲ一親等トシ祖父父母ヲ二親等曾祖父母ヲ三親等トシ以上遡リテ六親等ニ至リ又子ヲ一親等トシ孫ヲ二親等トシ下テ六親等ニ至ル傍系親ニ在テハ父母ヲ一親等トシ兄弟姊妹ヲ二親等トシ甥姪ヲ三親等トスルカ如シ餘ハ皆之レニ準シテ親等ヲ算定スヘキモノトス

例

第七百二十五條 左ニ掲ケタル者ハ之ヲ親族トス

一 六親等内ノ血族

二 配偶者

三 三親等内ノ姻族

(註記)

本法ニ於テハ血統ノ相聯繫スル者タリトモ六親等内ノ血族ニアラサレハ親族ノ關係ヲ有セシメス其六親等外ノ血族ヲシテ民法上親族タルノ効力ヲ生セシメサル所以ノモノハ他ナシ六親等外ノ血族ニ在リテハ親愛ノ情極メテ疎ク互ニ相見ルコト血縁ナキ者ト相同シキコトヲ思量セラレタルモノニシテ新律網領及刑法ノ親屬例ヲ見ルモ六親等以外ノ者ヲ以テ親族トナシタルモノナリ故ニ從來ノ慣例ヲ執リ親族ハ六親等以内ノ者ニ限ルモノト規定セラレタルモノトス
本法ニ在リテハ姻族ハ三親等以内ノ者ヲ以テ親族ノ範圍ニ置キ三親等以外ノ姻族ハ親族ト認ス本法ニ於テ三親等以内ノ姻族ヲ以テ親族ト爲シタルモノハ蓋シ人情ニ於テ實際親族ノ待遇ヲ爲ス處ノ慣習ニ依ルモノトス

第七百二十六條 親等ハ親族間ノ世數ヲ算シテ之ヲ定ム

傍系親ノ親等ヲ定ムルニハ其一人又ハ其配偶者ヨリ同始祖ニ遡リ其始祖ヨリ他ノ一人ニ下ルマテノ世數ニ依ル

(註記)

本條ハ血統ノ親疎ヲ以テ親等計算法ノ基礎ヲ定メタルモノニシテ世數ヲ算スルトハ世代ヲ算フルヲ云フ同始祖ニ遡ルトハ例ヘハ伯叔父母ナレハ其父母ヨリ祖父父母ニ遡リ祖父ヨリ伯叔父母ニ下リ其間ノ世數即チ父母祖父伯叔父母ト算ヘテ親等ヲ定ムルカ如シ

第二章 養子ト養親及養方親族並繼父母ト繼子、嫡母ト庶子トノ間ニ於ケル親族ノ關係

養子ト養親トハ眞ノ親子ヲ假設スルモノニシテ養子ノ實親ニ於ケルヨリ養親ニ於ケル却テ其情義ノ深厚ナラサルヘカラス故ニ養子ト養親トノ間ハ勿論養子ト養親ノ血族ノ間ニ於ケルモ養子縁組ヲ爲シタルトキハ其日ヨリ血族間ニ於ケルト同一ノ親族ノ關係ヲ生シ又父カ後妻ヲ娶リ母カ後夫ヲ迎ヘタルトキハ前妻ノ子ト後妻ト前夫ノ子ト後夫トノ間夫カ庶子ヲ擧ケタルトキ其庶子ト父ノ配偶者トノ間モ亦其日ヨリ血族間ニ於ケルト同一ノ親族ノ關係ヲ生ス故ニ前章ニ記述シタル親等ニ依リ民法上ノ效力モ互ニ生スヘシト雖モ養親養子ノ間離縁トナリタルトキハ養親ト養子及養親血族トノ親族ノ關係ハ離縁ノ日ヨリ止ム而シテ養親カ養家ヲ去リタルトキハ養親ト養親ノ實方ノ血族ト養子トノ間ノ親族關係ハ養親カ養家ヲ去リタルノ日ヨリ止ム但シ養親カ本家相續、分家、廢家、絶家ヲ再興スル爲メニ養家ヲ去リタル場合ニ於テハ本文ノ限ニ在ラズ
若シ養子ノ配偶者養子ノ直系卑屬即チ子孫又ハ其子孫ノ配偶者カ養子離縁ニ因リ其養子ト共ニ養家ヲ去リタルトキハ養子ト共ニ養家ヲ去リタル者ト養子ノ養親ト其養親ノ血族トノ親族ノ關係ハ其養子ト共ニ養家ヲ去リタルニ由リ止ム

(例)

第七百二十七條 養子ト養親及ヒ其血族トノ間ニ於テハ養子縁組ノ日ヨリ血族間ニ於ケルト同一ノ親族關係ヲ生ス

(解釋)

本條ハ養子縁組ニ依リ生スル親族關係ノ性質ヲ定メタルモノニシテ本條ニ云フ養子トハ男女ヲ分タス之ヲ總稱スルモノナリ

第七百二十八條 繼父母ト繼子ト又嫡母ト又庶子トノ間ニ於テハ親子間ニ於ケルト同一ノ親族關係ヲ生ス

(解釋)

父死後母ニ於テ後夫ヲ迎ヘタルトキ前夫ノ子母ノ後夫ヲ指テ繼父ト稱シ後夫ヨリ前夫ノ子ヲ指シテ繼子ト稱ス母ノ連子ニシテ後夫ニ養ハル、者(養子ニアラス)亦其後夫ヲ繼父トシ後夫ヨリ繼子ト稱ス母ニ於テ再嫁スルモ後夫ノ家ニ連レ越サレサルトキハ繼父子ノ稱ナシ又先妻ノ子ヨリ父ノ後妻ヲ呼テ繼母ト云ヒ後妻ヨリ夫ノ前妻ノ子ヲ呼テ亦繼子ト稱ス妻ヨリ夫ノ嫡子ニアラサル子ヲ呼テ庶子ト云ヒ庶子ヨリ父ノ正妻ヲ呼テ嫡母ト云フ繼父母ト繼子及嫡母ト庶子ノ間ニ於ケル養子ト異ナリ眞ノ親子ノ關係ヲ有セザレトモ其配偶者ノ一方ト實子トノ間ニ在テハ眞ノ親子ノ關係ヲ有スヘケレハ其子ト配偶者ノ他ノ一方ノ間ニ於ケルモ亦眞ノ親子ノ間ニ於ケルト同一ニ親族關係ヲ生スルモノト爲ササルヘカラス

第七百三十條 養子ト養親及ヒ其血族トノ親族關係ハ離縁ニ因リテ止ム

養親カ養家ヲ去リタルトキハ其者及ヒ其實方ノ血族ト養子トノ親族關係ハ之ニ因リテ止ム養子ノ配偶者、直系卑屬又ハ其配偶者カ養子ノ離縁ニ因リテ之ト共ニ養家ヲ去リタルトキハ其者ト養親及ヒ其血族トノ親族關係ハ之ニ因リテ止ム

(註記)

本條第一項ニ於テ養子縁組ニ依リ生シタル親族關係ハ離縁ニ依リ消滅スヘキコトヲ明揭シタルモノニシテ他家ヨリ入りタル養親カ離縁離婚ニ依リ養家ヲ去リタルトキハ其本人及其養家ノ血族ト養子トノ親族關係ハ之ニ依テ消滅スルコトヲ第二項ニ規定セラレタリ第三項ハ養子縁組ニ依リ其配偶者直系卑屬及其配偶者ヲ養子カ携帶シタルトキ其者ト養親及其血族ト親族關係ノ消滅スルコトヲ規定シタルモノナリ然レトモ養子ノ直系卑屬ハ養家繼承ノ地位ヲ占ムルモノニシテ所謂法定ノ推定家督相続人タレハ其養家ヲ去ラサルトキハ其者ト養親及其血族トハ親族關係ヲ有スルコト勿論ナリトス

(備考)

第三章ノ例ニ記載スル第七百三十一條後段ノ規定參觀

第二章 姻族關係及繼父母ト繼子嫡母ト庶子トノ間ニ於ケル親族關係ノ消滅

配偶者ノ一方カ離婚トナリテ其家ヲ去リタルトキハ姻族關係並繼親子及嫡母ト庶子トノ間ノ親族關係ハ之ニ因リテ消滅スヘシ蓋シ此ノ如キ親族關係ハ親ノ婚姻ニ依リテ生スルモノナルカ故ニ又其離婚ニ依リ消滅ニ至ルヘキハ敢テ疑フヘキニアラス然リ而シテ夫婦ノ一方カ死亡シタルモ他ノ一方カ生存スルカ其家ヲ去ラサルトキハ姻族關係並繼親子及嫡母ト庶子トノ間ノ親族關係ハ消滅スヘキモノニアラサルモ夫婦ノ一方カ死亡シタル場合ニ於テ一方ノ生存配偶者カ其家ヲ去リタルトキハ姻族關係及此ノ如キ親族關係ハ消滅スヘキモノトス然レトモ本家相續ノ爲メ其家ヲ去ルカ又ハ分家若クハ廢家絶家ヲ再興ノ爲メニ其家ヲ去ルトキハ其生存配偶者ハ依然其家ニ在ルト同一視セサルヘカラサルヲ以テ姻族親族ノ固有ノ關係ハ消滅スヘキモノニアラス又婚姻無効トナリタルモノハ初メヨリ其婚姻ノ成立セサルモノニシテ婚姻ノ解消シタルモノニアラサレハ之カ爲メ姻族關係親族關係ノ消滅シタリトスヘキモノニアラス

(例)

第七百二十九條 姻族關係及ヒ前條ノ親族關係ハ離婚ニ因リテ止ム

夫婦ノ一方カ死亡シタル場合ニ於テ生存配偶者カ其家ヲ去リタルトキ亦同シ

(註記)

本條第二項生存配偶者カ其家ヲ去ルトハ例ヘハ夫カ死亡ノ後其婦カ生家ニ復歸シ又ハ婦カ死去ノ後其夫カ實家ニ復歸シタル場合ヲ云フ

第七百三十一條 第七百二十九條第二項及ヒ前條第二項ノ規定ハ本家相續分家及ヒ廢絶家再興ノ場合ニハ之ヲ適用セス

(註記)

本條ノ本家相續分家廢絶家再興ハ該家ノ本家ノ相續ヲ爲シ又ハ該家ヨリ該家ノ分家ヲ新立シ若クハ該家ノ縁故ノ廢家絶家ヲ該家ヨリ再興スルモノニ該當シ他家ノ本家ヲ相續シ他家ノ分家ヲナシ該家ニ縁故ナキ他家ノ縁故アリシ家ヲ再興スル場合ニ該當セサルヘシ

第二編 戸主及家族

第一章 總則

本章ハ其家ニ生レテ家族タリシ者ト他家ヨリ入りテ家族トナリタルモノヲ規定シ家ヲ轉スルニ付キ必用ナル條件ヲ定メ併セテ戸主權取得ノ特別原因ヲ掲ク戸主權取得ノ普通原因ハ家督相續ニシテ第三部相續ノ部ニ規定セラルルナリ

第一節 戸主ト家族ノ關係

凡ソ一家ノ家長タル者之レヲ戸主ト云ヒ其戸主タル者ノ家ニ在ル者ト其配偶者トハ戸主ノ家族トス然リ而シテ戸主變更即チ代替ノ場合ニ於テハ舊戸主即チ隱居ト其家族トハ新戸主ノ家族トス
若シ戸主ノ親族ニアラサルヲ以テ其戸主ノ家族タルヘカラサルモ民法施行ノ際民法上家族トシテ其戸主ノ家ニ在ル者ハ亦之レヲ家族トシ其家族トナリタル者ハ民法施行ノ日ヨリ本章第二節ノ規定ニ從ヒ戸主權ニ服スヘキモノトス

(例)

第七百十二條 戸主ノ親族ニシテ其家ニ在ル者及ヒ其配偶者ハ之ヲ家族トス

戸主ノ變更アリタル場合ニ於テハ舊戸主及ヒ其家族ハ新戸主ノ家族トス

(註記)

戸主ノ親族ニシテ其家ニ在ル者トハ前編第一章ニ掲ケタル戸主ノ六親等ノ血族ト三親等ノ

姻族ト云ヒ其配偶者トハ戸主及家族ノ配偶者ヲ云フ但本條ノ明文ヲ以テスルトキハ其配偶者ナル稱ハ戸主ノ配偶者ニ於ケルカ如シト雖モ若シ然ラニハ從來ノ慣行ト合ハサルモノニシテ之レヲ刑法ノ親族例等ニ照ラスモ戸主ノ配偶者ノミニ限ルトキハ法律施行ノ點ニ於テ差支アル處アルヘキモノトス

(備考)

民法施行法第六十二條參觀

第二節 子タル者ノ定籍ニ關スル規定

子ハ當然其父ノ家ニ入ルヘシト雖モ父カ其子ノ出生前ニ離婚又ハ離縁ニ依リ其家即チ子ノ懐胎シタル家ヲ去リタル後子ノ出生シタルトキハ現ニ父ノ屬スル家ニ入ラスシテ懐胎ノ始ニ父カ屬シタル家ニ入ルヘキモノトス例ヘハ養子カ離縁ニ因リ實家ニ復歸シ入夫カ離婚ニ因リテ婚家ヲ去リタルトキ既ニ妻カ懐胎シテアリテ其養子又ハ入夫ノ離縁又ハ離婚ノ後其家ニ在リテ養子又ハ入夫ノ子ヲ産ミタルトキハ其子ハ養家又ハ婚家ニ入ルカ如シ若シ其子ノ出生前父母共ニ其家ヲ去リタルトキ例ヘハ父カ養子ニシテ離縁トナリテ養家ヲ去ルトキ其妻カ父ト離婚セシテ隨テ其家ヲ去リタルカ如キ場合ニ於テハ父カ養家ヲ去リタル後出生ノ子ヲシテ懐胎ノ始メニ遡リ父ノ舊養家ニ入ラシムヘカラスシテ出生ノ時現ニ父ノ屬スル家即チ其實家ニ入ルヘキモノトス然レトモ母カ子ノ出生前ニ復籍ヲ爲シタルトキハ子ハ出生ノ當時父ノ屬スル家ニ入ルヲ得スシテ懐胎ノ始メニ父カ屬セシ家ニ入ルヘシ例ヘハ母カ協議上離婚ヲ爲シテ生家ニ復歸スルカ又ハ本法第八百十三條第十號及第八百十八條第二項ニ依リ離縁ヲ理由トシテ離婚ノ訴ヲ爲シ子ノ出生前ニ復籍シタルトキハ其子ハ父ノ舊養家ニ屬スルカ如シ

子ハ父ノ家ニ入ルヲ以テ原則トスルモ父ノ知レサル子ニ在テハ父ノ家ニ入ルヲ得サルニ依リ此場合ニ於テハ子ハ母ノ家ニ入ルヘシ若シ父母共ニ知レサル子ハ其屬スヘキ家ナキニ依リ一家ヲ創立シテ以テ其家籍ヲ

定ムヘキモノトス

(例)

第七百三十三條 子ハ父ノ家ニ入ル
父ノ知レサル子ハ母ノ家ニ入ル
父母共ニ知レサル子ハ一家ヲ創立ス

(解釋)

父又ハ母ノ家ニ入ルトハ其屬スヘキ家籍ヲ定ムルモノニシテ父ノ知レサル子トハ私生子ノ類ナリ又父母ノ知レサル子トハ棄兒迷兒ノ如ク其父母ノ誰タルヤヲ判別シ能ハサル子ヲ云フ其父母ノ知レサル子ハ其定ムル處ノ籍ナキヲ以テ一家ヲ創立シ以テ其籍ヲ定メシムヘキモノトス否ラサレハ數歳月間無籍者ヲ出スニ至ルヲ以テナリ

第七百三十四條 父カ子ノ出生前ニ離婚又ハ離縁ニ因リテ其家ヲ去リタルトキハ前條第一項ノ規定ハ懷胎ノ始ニ遡リテ之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ父母カ共ニ其家ヲ去リタル場合ニハ之ヲ適用セス但母カ子ノ出生前ニ復籍ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

(註記)

本條第一項ハ子ハ父ノ家ニ入ル原則ノ除外例ヲ掲ケラレタルモノナリ蓋シ父カ離婚又ハ離縁ニ因リ婚家又ハ養家ヲ去ルノ後母カ其家ニ殘留シタルトキハ出生ノ子ハ懷胎ノ始メ父カ屬セシ家即チ母ノ家ニ入ルモノニシテ是レ舊慣ニ依ル處ナリ

第二項ハ母カ父ニ隨テ其家ヲ去リ父ノ屬スル家ニ入りタル場合ヲ規定シタルモノニシテ舊慣ト相反スル所ナリ舊慣ニ於テハ婦カ養子ニ隨テ其家ヲ去ルモ其家ニ在リテ懷胎シタルトキハ出生ノ子ハ其家ニ屬スヘキナリ然レトモ父母共ニ其家ヲ去リ父母カ婚姻ヲ解消セサルニ子ノミ其舊家ニ歸

セシムルハ條理ニ戻リタルモノナレハ此ノ場合ニ於テハ出生ノ子モ亦父母ノ現ニ屬スル家ニ入ル然レトモ父母共ニ其家ヲ去リ婚姻ヲ解消シタルトキハ之レニ反シ出生ノ子ハ其舊家ニ屬セシムヘキモノトス

(備考)

民法施行法第六十三條參觀

第二節 家族ノ庶子私生子タル者定籍ニ關スル規定

家族カ正當ノ婚姻ニ依リ子ヲ擧ケタルトキハ其子ハ當然前節ニ規定アル處ニ從ヒ其父又ハ其母ノ家ニ入ルヘキニ依リ其戸主タル者ノ家族トナシ戸主ハ其子ニ對シテ扶養教育ノ義務ヲ負フヘキコト當然ナリト雖トモ家族ニ於テ庶子又ハ私生子ヲ擧ケタルトキハ家族カ正當ノ婚姻ニ依リテ擧ケタルモノニアラスシテ倫理ニ悖リタル所爲タレハ戸主ニ於テ其子ヲ自家ノ家族トナシ扶養教育ノ義務ヲ負擔スルヲ拒ムヲ得ヘシ故ニ家族ノ庶子及私生子ハ戸主ノ同意アルニアラサレハ其家ニ入ルコトヲ得ス若シ家族ノ庶子ニシテ其父ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ其母ノ家ニ入ルヘキコトヲ得ス若シ父ノ知レサル子タルヲ以テ第七百三十三條第二項ノ規定ニ依リ母ノ家ニ入ルヘキコトヲ得ス若シ母ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ其籍ニ置クコト能ハサルニ依リ一家ヲ創立シテ以テ其籍ヲ定ムヘキモノトス

(例)

第七百三十五條 家族ノ庶子及ヒ私生子ハ戸主ノ同意アルニ非ラサレハ其家ニ入ルコトヲ得ス
庶子カ父ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ母ノ家ニ入ル
私生子カ母ノ家ニ入ルコトヲ得サルトキハ一家ヲ創立ス

(註記)

婚姻ニ依リ家族カ擧ケタル子ハ戸主ニ於テ其家ニ入ルコトヲ拒ムコトヲ得サルモ家族カ庶子私生子ヲ擧ケタルトキハ其家ニ入ルコトヲ拒ムコトヲ得ヘシ故ニ本條第一項ニ戸主ノ同意アル

ニアラサレハ其家ニ入ルコトヲ得サル旨ヲ規定セラレタリ其他別ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ欠ク
第四節 女戸主ノ入夫ヲ戸主トシ他家ニ在ル戸主ノ親族ヲ家族ト爲スノ規定

女戸主ニ於テ入夫ヲ迎ヘテ婚姻ヲ爲シタルトキハ女戸主ハ其戸主ヲ退キ入夫ハ當然其家ノ戸主トナル是レ蓋シ婦ハ夫ニ從フヘキ原則ニ基キタルモノナリ然レトモ婚姻ノ當時反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニアラサルモノトス

戸主ノ親族ニシテ他家即チ他家ニ在ルモノハ甲家戸主ノ同意ヲ得タルトキハ甲家戸主ノ家族ト爲ルコトヲ得ヘキモ若シ其他家即チ他家ニ在ル甲家戸主ノ親族タル者カ乙家戸主ノ家族タルトキハ又乙家戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス單ニ甲家戸主ノ同意ヲ得タルノミニテ甲家ノ家族トナルコトヲ得ス又其親族タル者カ未成年ナルトキハ單ニ戸主ノ同意ヲ得タルノミニテハ他家ニ入り家族トナルコトヲ得ス此場合ニ於テハ親權ヲ行フ父又ハ母若クハ其後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス故ニ例ヘハ乙家ノ戸主カ廢家スル場合ニ於テ甲家ノ親族タルヲ以テ甲家戸主ノ家族トナルトキ其者カ未成年者ニアラサレハ甲家戸主ノ同意ヲ得ルノミニテ甲家戸主ノ家族トナルヲ得ヘキモ乙家戸主ノ家族タル者ニ於テ甲家戸主ノ親族タルニ依リ甲家戸主ノ家族トナラントスルニハ甲乙兩家戸主ノ同意ヲ得若シ其者カ未成年者ナルトキハ尙ホ親權ヲ行フ父又ハ母若クハ後見人ノ同意ヲ要スヘキモノトス

第七百三十六條 女戸主カ入夫婚姻ヲナシタルトキハ入夫ハ其家ノ戸主ト爲ル但當事者カ婚姻ノ當時反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

例 第七百三十六條 女戸主カ入夫ヲ爲シタルトキハ入夫カ其家ノ戸主トナルコトハ明治二十六年第二百六十三號

布告ニ於テ規定セラレタル處ニシテ爾來之ニ依リ實行セラレタルモノナリ然レトカモ女戸主カ入夫婚姻シタルトキハ入夫ヲシテ必ス其家ノ戸主ト爲サシムルニ於テ自由ノ權利ヲ束縛スルノ嫌ナキ能ハス殊ニ情實ニ於テ入夫ヲシテ戸主タラシムルヲ得サル場合ナシトセサレハ本條第二項ニ於テ當事者カ婚姻ノ當時前項ノ規定ニ反對スル意思ヲ表示シタルトキハ強テ入夫ヲシテ戸主タラシムルニ及ハサル除外例ヲ掲ケタルモノナリ

第七百三十七條 戸主ノ親族ニシテ他家ニ在ル者ハ戸主ノ同意ヲ得テ其家族ト爲ルコトヲ得但其者カ他家ノ家族タルトキハ其家ノ戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前項ニ掲ケタル者カ未成年者ナルトキハ親權ヲ行フ父若クハ母又ハ後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
(註記) 本條第一項本文ハ戸主ノ家族ニアラスシテ他家ニアル戸主ノ親族ヲシテ家族ト爲ス場合ヲ規定セラレタルモノニシテ戸主カ一家ヲ廢シテ親族ノ家族トナリ又ハ戸主カ死亡シ其家名ヲ繼承スルモノナクシテ親族ノ家族トナリ若クハ分家戸主ニ於テ其生家ニ復歸スルカ如キ場合ニ該當シ其但書ニ在リテハ子カ侍養ノ爲メニ他家ノ家族タル父母ヲ入家セシメテ家族ト爲スカ如キ總シテ他家ニ在ル親族ヲ家族ト爲ス場合ニ該當スヘシ蓋シ從前ノ例ニ於テ一家退轉其他ノ事情ニ依リ親族ヲシテ附籍トナシ家族ニ準シ養育等ヲ爲シタル者ニ髣髴タリ

第五節 婚姻離婚、養子縁組離縁ニ因リ其親族ヲ養家、婚家、生家ニ携帶入籍ノ規定及離縁離婚ニ因ル復籍ノ規定

凡ソ婚姻又ハ養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者カ婚家又ハ養家ノ親族ニアラサル自己ノ親族ヲ其婚家又ハ養家ノ親族ト爲サントスルトキハ其親族タル者ノ戸主ハ婚家又ハ養家ノ戸主トノ同意ヲ得ヘキノミナラス其配偶者又ハ養親タル者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス今一例ヲ舉ケンニ甲家ノ弟妹又ハ二男女カ乙者ノ入夫又

ハ妻トナリ若クハ養子トナリテ乙家ニ入りタルトキ甲家ニアル父母又ハ弟妹等ヲシテ乙家ノ家族ト爲サントスルトキハ甲乙兩家戸主ノ同意ヲ得且其夫又ハ其妻若クハ養親ノ同意ヲ要スルカ如シ之ニ反シ婚姻又ハ養子縁組ニ依リ他家ニ入りタル者カ離婚縁組ニ因リ婚家又ハ養家ヲ去リタルトキハ其婚家又ハ養家ニ遺留セル自己ノ直系卑屬即チ其子孫ヲ自家ノ家族ト爲サントスルトキモ前述ノ如ク其配偶者又ハ養親ト協議シ兩戸主ノ同意ヲ得テ自家ニ引取ルコトヲ得ヘキモノトス

婚姻又ハ養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者即チ他家ニ入り夫又ハ妻若クハ養子トナリタル者カ離婚又ハ離婚トナリテ婚家又ハ養家ヲ去ル場合ニ於テハ實家ニ復籍スヘキモノトスト雖トモ其實家カ廢家絶家トナリテ復籍ヲ爲シ能ハサルトキハ更ニ一家ヲ創立ス若シ實家ヲ再興センコトヲ請フトキハ實家再興ヲ爲スコトヲ得ヘシ

例

第七百三十八條 婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ他家ニ入りタル者カ其配偶者又ハ養親ノ親族ニ非ラサル自己ノ親族ヲ婚家又ハ養家ノ家族ト爲サント欲スルトキハ前條ノ規定ニ依ル外其配偶者又ハ養親ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

註記

婚家又ハ養家ヲ去リタル者カ其家ニ在ル自己ノ直系卑屬ヲ自家ノ家族ト爲サント欲スルトキ亦同シ

第七百三十九條 婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ他家ニ入りタル者ハ離婚又ハ離婚ノ場合ニ於テ實家ニ復籍ス

註記

本條ハ夫又ハ妻若クハ養子トシテ他家ニ入りタル者カ離婚縁組トナリタルトキ當然實家ニ復籍スヘキコトヲ規定シタルモノニシテ習慣ト異ナルコトナシ蓋シ婚姻養子縁組ノ無効即チ取消

レトナリタル場合ハ本條ニ包含セス婚姻養子縁組ノ無効トナリタルモノハ其婚姻養子縁組カ始メヨリ成立セザリシモノタレハ其夫婦又ハ養子タルモノハ初メヨリ實家ヲ去ラザリシモノト看做スヘケレハナリ

第七百四十條 前條ノ規定ニ依リテ實家ニ復籍スヘキ者カ實家ノ廢絶ニ因リテ復籍ヲ爲スコト能ハサルトキハ一家ヲ創立ス但實家ヲ再興スルコトヲ妨ケス

註記

本條モ亦從來實行セラル、處ノ慣例ト異ナルコトナクシテ復籍ノ場合ニ於テ實家カ斷滅セシトキハ一家ヲ新立シ又本人ノ請願ニ依リテ實家ヲ再興スルモ妨ケナシ

第六節 婚姻養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者カ更ニ婚姻養子縁組ニ

因リ他家ニ入りタル者カ更ニ婚姻養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者例ヘハ他家ニ入夫シ又ハ婚嫁シ又ハ養子ト爲リタル者カ更ニ婚姻又ハ養子縁組ニ因リテ他家ニ入ラント欲スルトキハ其婚家又ハ養家及實家戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要シ養子縁組ニ付テハ第四百四十五條ニ依リ尙ホ實家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス若シ戸主ノ同意ヲ得スシテ更ニ他家ニ入夫シ又ハ婚嫁シ若クハ他家ノ養子トナリタルトキハ同意ヲ爲サ、リシ戸主ハ其婚姻又ハ養子縁組ノ日ヨリ一年内ニ戸籍吏ニ申請シ其復籍ヲ拒絕スルコトヲ得ヘシ然リ而シテ舊法ニ於テハ婚姻ニ依リ他家ニ入りタル者ハ養子縁組ノ爲メ其家ヨリ他家ニ入り又ハ養子タル者(繼嗣ノ地位ニアル者ヲ除ク)ハ婚姻ノ爲メ養家ヨリ他家ニ入ルコトヲ得ヘキモ婚姻ニ因リ他家ヨリ入りタル者カ婚姻ノ爲メ更ニ他家ニ入り又ハ養子縁組ニ因リ他家ヨリ入りタル者カ養子縁組ノ爲メ更ニ他家ニ入ルコトヲ得ザリシ蓋シ養子縁組ノ爲メ他家ヨリ入りタル者カ養子縁組ノ爲メ他家ニ入ルトキハ養父母各兩名ヲ帶スル姿ニナリ又婚姻ノ爲メ他家ヨリ入りタル者カ婚姻ノ爲メ他家ニ入ルトキハ二様ノ姻族ヲ帶スル姿トナリ妥當ナラザレハ

ナリ然リ而シテ婚姻又ハ養子縁組ニ依リ他家ニ入りタル者カ戸主ノ許諾ヲ得テ更ニ他家ニ入りタル後離婚又ハ縁組ニ因リ其家ヲ去ル場合ニ於テ何レニ復籍スヘキヤニ在テハ疑ヲ存スル所ナリ婚姻又ハ養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者カ離婚又ハ縁組ニ因リ他家ニ入りタル場合ニ於テハ實家ニ復籍スヘシト雖モ養子カ養家ヨリ婚姻ニ因リ他家ニ入りタル者ハ其養家ヲ以テ實家ト看做スヘキニ依リ他日養子カ離婚ニ依リ他家ヲ去ル場合ニ於テハ養家ニ復籍セサルヘカラス然レモ養子縁組ニ依リ他家ニ入り又ハ婚姻ニ因リ他家ニ入りタル者カ更ニ婚姻ニ依リ他家ニ入りタル後離婚又ハ離婚トナリテ養家又ハ婚家ヲ去ル場合ニ於テハ前養家又ハ前婚家ニ復籍スルモ其實家ニ復籍スルモ互ノ協議ニ依ルヘシ若シ實家戸主ニ於テ既ニ其復籍ヲ拒絶シタルトキハ其者ハ前養家又ハ前婚家ニ復籍セサルヘカラス若シ實家及養家又ハ婚家戸主ノ同意ヲ得スシテ養子縁組又ハ婚姻ニ依リ他家ニ入りタルニ依リ實家戸主及前養家又ハ前婚家戸主ニ於テ其復籍ヲ拒絶セラレタル者ハ何レニモ復籍スルコト能ハサルモノトス

前項ノ復籍ヲ拒絶セラレタル者及第七百五十條第二項ニ依リ復籍ヲ拒絶セラレタル者カ婚家又ハ養家ヲ去リタルトキ若クハ第七百四十九條第三項ニ依リ離婚セラレタル家族ハ一家ヲ創立スヘキモノトス

例

第七百四十一條 婚姻又ハ養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者カ更ニ婚姻又ハ養子縁組ニ因リ他家ニ入りタルトキハ婚家又ハ養家及ヒ實家ノ戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ同意ヲ爲ササリシ戸主ハ婚姻又ハ養子縁組ノ日ヨリ一年内ニ復籍ヲ拒ムコトヲ得

(註記)

舊法ニ於テハ本條ノ如キ婚姻ニ因リ他家ニ入りタル者カ婚姻又ハ養子縁組ノ爲メ更ニ他家ニ入り養子縁組ニ因リ他家ニ入りタル者カ更ニ他家ノ養子トナルカ如キハ禁スル處ナリト雖モ一旦實家ニ復籍シ更ニ他家ニ入りハ妨ケナキモノタレハ本條ノ規定ヲ爲スモ敢テ害ナキモノトス

第七百四十二條 離婚セラレタル家族ハ一家ヲ創立ス他家ニ入りタル後復籍ヲ拒マレタル者カ離婚ニ因リテ其家ヲ去リタルトキ亦同シ

(註記)

復籍ヲ拒絶セラレ又ハ離婚セラレタル者カ一家ヲ創立スルハ勢ヒ已ムヲ得サルモノトス

(備考)

本法第七百七十六條、第八百四十五條及第八百四十六條●民法施行法第六十五條●戸籍法第八十七條第百三條參照

第七節 推定家督相續人カ他家ニ入り又ハ一家ヲ創立スルヲ禁シ家族カ他家ヲ相續シ分家シ廢絶家ヲ再興シ妻カ夫ニ隨ヒ夫ノ家ニ入ル規定

法定ノ推定家督相續人ハ本家相續ノ必要アルトキハ其家ヲ去リテ本家ニ入ルコトヲ得ヘキモ其他ハ相續編第九百七十五條ノ事由ニ依リテ廢除シタル場合ヲ除ク外其家ヲ去ルコトヲ得サルニ依リ勿論他家ニ入り又ハ一家ヲ創立スルコトヲ得ス其他ノ家族ニ於テハ戸主ノ同意ヲ得タルトキハ他家ヲ相續シ分家ヲ爲シ若クハ廢絶シタル本家、分家、同家其他親族ノ家ヲ再興スルヲ得ヘシ然レトモ未成年ノ家族ニ在テハ戸主ノ同意ノミヲ以テスルヲ得サレハ未成年ノ家族ハ親權ヲ行フ父又ハ母若クハ後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス若シ推定監督相續人カ戸主ノ同意ヲ得スシテ婚姻又ハ養子縁組ヲ爲シタルトキハ第七百五十條第二項ニ依リ其婚姻又ハ養子縁組ヲ爲シタル日ヨリ一年内ニ離婚ヲ爲スコトヲ得ヘシ其戸主ノ同意ヲ得スシテ婚姻又ハ養子縁組ヲ爲タルニ依リ法定ノ推定家督相續人タル者カ離婚スルヲ得ヘキモノハ戸主權ノ制裁ニシテ戸主ニ於テ不適當ナリトスル妻ヲ娶リ又ハ養子ヲ爲シテ其家ニ入ルルトキハ家制ヲ紊亂シ終ニ系統ヲ失フヘキ虞アルヘクレハナリ

夫カ其家ヲ去リ他家ニ入り又ハ一家ヲ創立シタルトキハ妻ハ夫ニ隨ヒ當然其家ニ入ルモノトス是レ蓋シ妻

ハ夫ニ随フヘキ原則ヲ規定セラレタルモノナリ

(例)

第七百四十三條 家族ハ戸主ノ同意アルトキハ他家ヲ相續シ分家ヲ爲シ又ハ廢絶シタル本家、分家、其他親族ノ家ヲ再興スルコトヲ得但未成年者ハ親權ヲ行フ父若クハ母又ハ後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

(註記)

本條ハ家族カ戸主ノ同意ヲ得テ他家ニ入ルコトヲ規定シタルモノニシテ婚姻又ハ養子縁組ハ本文ニ合有セス蓋シ婚姻養子縁組ニ付テハ第七百五十條ノ規定アルヲ以テナリ

第七百四十四條 法定ノ推定家督相續人ハ他家ニ入り又ハ一家ヲ創立スルコトヲ得ス但本家相續ノ必要アルトキハ此限ニ在ラス

(註記)

前項ノ規定ハ第七百五十條第二項ノ適用ヲ妨ケス

(註記)

本條ハ推定家督相續人即チ嫡長子孫ニシテ該家繼承ノ地位ニ在ル者ハ本家ニ相續人ヲ欠ク場合ニ於テ本家ヲ相續スル外他家ヲ去ルコトヲ許ササルコトヲ掲ケラレタルモノナリ蓋シ本家相續ノ必要アル場合ニ於テハ第七百六十二條ニ於テ戸主タリトモ他家ヲ廢シテ本家ニ入ルヲ得ヘキ規定アルヲ以テ非戸主タル推定家督相續人ニシテ本家相續ノ爲メ他家ヲ去リ得サルコトハ勿論ニシテ是皆本邦古來ノ習慣トシテ其家ヲ重ニスル所以ナリ然レ共推定家督相續人ニシテ戸主ノ許諾ヲ得スシテ妻ヲ娶リ養子ヲ爲シテ之ヲ其家ニ入ルルカ如キハ一家ノ安危ニ關係スルノ虞アルヘキヲ以テ戸主ニ於テ之ヲ離籍シ以テ相續權ヲ廢除スルヲ得ヘキモノトス

第七百四十五條 夫カ他家ニ入り又ハ一家ヲ創立シタルトキハ妻ハ之ニ随ヒテ其家ニ入ル

(註記)

本條ノ規定ニ在テハ從來施行スル所ニシテ別ニ註記ヲ要スヘキモノニアラサルモノトス

第二章 戸主及家族ノ權利義務

第一節 戸主家族ノ姓氏及家族扶養ノ義務

祖先以來傳ハル處ノ氏ヲ以テ其家姓ト爲シ代々戸主ニ於テ襲用スルモノニシテ戸主ノ家族モ亦戸主ト共ニ之ヲ稱用ス故ニ戸主ト家族トハ其氏ヲ異ニスルコトナシ蓋シ婦ハ嫁スルモ尙ホ生家ノ氏ヲ稱用スル舊慣ナルモ本法實施ノ日ヨリ第七百四十六條ノ明文ニ依リ從來家姓ヲ稱用セザリシ婦タルモ亦戸主ト共ニ其家ノ氏ヲ稱用スヘキモノトス

戸主ハ家族ニ對シ戸主權ヲ施シ得ヘキヲ以テ又家族ニ對スル義務ナカルヘカラス是レ戸主ニ於テ家族ヲ扶養スル義務ヲ負ヘル所以ナリ然リ而シテ戸主ニ於テ此如キ負擔ノ義務アリト雖モ家族カ職業ヲ營ミタル賃錢其他自己ノ名ヲ以テ得タル財産等ヲ以テ自ラ衣食其他ノ費用ヲ辨シ得ルモノハ自ラ全部又ハ幾部分ヲ辨セシメ戸主ハ其不足ヲ負擔スルニ過キス又扶養ノ義務タル第九百六十條ニ規定セララルル如ク其權利者ノ需要ト扶養義務者ノ身分及資力トニ依リテ定ムヘキモノタルヲ以テ貧家ニ在テハ完全ナル義務ヲ負擔スルヲ要セス教育ノ義務モ扶養義務ノ一部タリト雖モ亦然リトス殊ニ其家族カ戸主ノ定メタル居所ニ在ラサル間ハ戸主ハ其扶養義務ヲ免カルヘキモノトス

(例)

第七百四十六條 戸主及ハ家族ハ其家ノ氏ヲ稱ス

(註記)

本條ハ戸主ト家族ト總テ其家ノ姓氏ヲ稱スルコトヲ規定シタルモノナリ

第七百四十七條 戸主ハ其家族ニ對シテ扶養ノ義務ヲ負フ

(註記)

扶養義務ハ家族ノ生活及教育ノ費用ヲ自ラ支辨シ能ハサル場合ニ於テ戸主カ之ヲ負擔スルモノニシテ第九百五十九條第九百六十條等ニ規定スル處ニ依リテ了解スヘキヲ要ス

(備考)

本法第九百五十九條第九百六十條參照

第二節 家族ノ財産及家族ノ居所

舊制ニ依レハ地所、家屋、船舶、記名公債證書、株券等ノ如キ特ニ記名アル財産ノ外一家中ニ在ル財産ハ舉テ戸主ノ所有ニ屬シ家族ノ所有タルコトヲ認メサルモ本法實施ノ後ハ自己ノ名ニ於テ得タルモノハ特ニ家族ノ所有財産トス然レトモ家族ト戸主ト通常一家中ニ居住スル者ナレハ其家ニアル財産ニシテ戸主家族ノ何レニ屬スヘキカ分明ナラサル財産アルヘキハ云フテ俟タス此如ク所屬分明ナラサル財産ハ戸主ノ財産ト推定セラレハシ是レ舊制ニ於テ一家ノ財産ハ舉ケテ戸主ノ所有ト爲シタル原則ニ基キ規定セラレタルモノトス

家族ハ戸主權ニ服從シテ戸主ノ扶養ヲ受クルモノタレハ戸主ノ許諾ヲ得ズ擅ニ居所ヲ定ムルコトヲ得ズ然ルニ家族カ戸主ノ許諾ヲ受ケス戸主ノ意ニ反シ擅ニ居所ヲ定メ戸主ノ指定シタル居所ニアラサルトキハ其間戸主ハ其家族ニ對シテ扶養義務ヲ免カルヘシ故ニ若シ家族カ戸主ノ意ニ反シ戸主ノ指定シタル居所ニ在ラサルモ後戸主ノ許諾ヲ得又ハ戸主ノ指定シタル場所ニ居所ヲ移シタルトキハ扶養義務ヲ回復スベシ其家族カ戸主ノ指定シタル居所ニ在ラサルトキハ相當ノ期間ヲ定メテ居所ヲ指定シ其指定ノ場所ニ居所ヲ轉スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得ヘシ其催告ニ應ゼサルトキハ戸主ハ其旨戸籍吏ニ申請シテ其家族ヲ離籍スルコトヲ得ヘシ然レトモ其家族カ未成年者ナルトキハ離籍ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ是レ蓋シ未成年者ハ未タ智能全カラサルカ故ニ此制裁ヲ加フルトキハ不良ノ少年トナリ終ニ回復スヘカラサルニ至ルヘケレハナリ又推定家督相續人ハ本文ヲ適用セサルコト第七百四十四條ノ規定ニ依リ明カナリ

例
第七百四十八條 家族カ自己ノ名ニ於テ得タル財産ハ其特有財産トス
戸主又ハ家族ノ孰レニ屬スルカ分明ナラサル財産ハ戸主ノ財産ト推定ス

(註記)

自己ノ名ニ於テ得タル財産トハ例ヘハ俸給、利益金、賞與金、手間賃、贈與、遺贈、養子、入夫及婦カ齎帶シタル財産等總シテ家族カ自己ニ取得シタル財産ヲ云フ家族ハ特ニ自己ノ財産トシテ所有シタル財産ハ自活ノ資ニ供スヘシ又ハ縱令家族カ特有財産ヲ以テ其家ノ爲メニ消費シタルコトアルモ自家ノ生活ニ必要ナル範圍内ニ於テ之ヲ負擔スヘキハ當然ナルニ依リ戸主ニ對シ償還ヲ求ムルコトヲ得ス若シ其他程度ヲ超エテ戸主ノ爲メニ繰替ヲ爲シタルコトアルトキハ其償ヲ求ムルコトヲ得ヘキハ云フテ俟タス(第九百五十四條、第九百六十條)

第七百四十九條 家族ハ戸主ノ意ニ反シテ其居所ヲ定ムルコトヲ得ズ

家族カ前項ノ規定ニ違反シテ戸主ノ指定シタル居所ニ在ラサル間ハ戸主ハ之ニ對シテ扶養ノ義務ヲ免ル
前項ノ場合ニ於テ戸主ハ相當ノ期間ヲ定メ其指定シタル場所ニ居所ヲ轉スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得若シ家族カ其催告ニ應ゼサルトキハ戸主ハ之ヲ離籍スルコトヲ得但其家族カ未成年者ナルトキハ此限ニ在ラス

第三節 家族ノ婚姻又ハ養子縁組ニ關シ戸主ノ同意ヲ要シ及戸主ノ權利ヲ行フ能ハサルトキノ規定

凡ソ家族ハ戸主權ニ服シ戸主ノ扶養ヲ受ケヘキモノナルニ依リ其進退去就ヲ定ムル亦戸主ノ同意ヲ要セサルヘカラス故ニ家族カ婚姻又ハ養子縁組ヲ爲スハ戸主ノ同意ヲ得ヘキモノニシテ男滿三十年女滿二十五年ニ達セサル者ハ父母ノ同意ヲ得ルヲ要ス若シ戸主ノ同意ヲ得スシテ婚姻又ハ養子縁組ニ依リ他家ニ入り又ハ養子ヲ爲シタルトキハ其戸主ハ其婚姻又ハ養子縁組ヲ爲シタル日ヨリ一年以内ニ戸籍吏ニ申請シテ復籍ヲ拒ミ又ハ離籍ヲ爲スコトヲ得ヘシ然リ而シテ家族カ婚姻又ハ養子縁組ニ依リ他家ニ入りタル後離婚又ハ

離縁トナリタルトキハ實家ニ復籍スヘキ規定ナルモ既ニ復籍拒絶ノ申請アリシトキハ實家ニ復籍スルコトヲ得ス又離籍ノ申請アリタルトキハ其家ニ在ルコトヲ得ス此二箇ノ場合ニ於テハ其本人ハ一家ヲ創立セサルヘカラス而シテ其婚姻又ハ養子縁組ニ依リ妻トナリ子トナリタル者ハ其夫又ハ養親ニ隨ヒ養親カ創立シタル家ニ入ルヘキモノトス

戸主カ意思欠缺シ不在、失踪、未成年、禁治産ノ場合ニ於テハ戸主權ヲ行フコト能ハサルニ依リ未成年、禁治産ノ場合ノ外ハ總テ親族會之ヲ行フモノトス然レ共其戸主ニ對シ親權ヲ行フ者アルトキハ親權ヲ行フ者之ヲ行ヒ又後見人アルハ後見人之ヲ行フ其他未成年者、禁治産者ニ在テハ必ラス後見人アルヘキニ付之カ代權ハ亦後見人之ヲ行フヘキモノトス蓋シ家族ノ婚姻又ハ養子縁組等ニ對シ戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要スヘキモノハ此規定ニ依リ之ヲ爲スヘキモノトス

例

第七百五十條 家族カ婚姻又ハ養子縁組ヲ爲スニハ戸主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

家族カ前項ノ規定ニ違反シテ婚姻又ハ養子縁組ヲ爲シタルトキハ戸主ハ其婚姻又ハ養子縁組ノ日ヨリ一年内ニ離籍ヲ爲シ又ハ復籍ヲ拒ムコトヲ得

家族カ養子ヲ爲シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ從ヒ離籍セラレタルトキハ其養子ハ養親ニ隨ヒテ其家ニ入ル

註記 本條第三項ニ離籍者ノ養子ノコトヲ掲ケテ其妻タル者ノコトヲ掲ケサルハ第七百四十五條ノ規定アルヲ以テナリ

第七百五十一條 戸主カ其權利ヲ行フコト能ハサルトキハ親族會之ヲ行フ但戸主ニ對シテ親權ヲ行フ者又ハ其後見人アルトキハ此限ニ在ラス

備考

本法第七百四十五條、第八百九十五條、第九百三十四條●戸籍法第八十七條、第一百三條參觀

第三章 戸主權ノ喪失

第一節 戸主カ隱居ヲ爲スニ付テノ規定

舊制ニ於テハ年齢五十歳以上ノ者ハ他ニ原因アラサルモ隱居ヲ爲スコトヲ得タリ其五十歳以上ニ至リ隱居ヲ爲スコト得セシメタルモノハ人ノ生命ハ五十年ヲ以テ限リ人ハ五十年以上ニ至レハ老衰シテ業務ヲ執ルコト能ハサルモノト假定シタル古來ノ慣習ニ基キタルモノナレトモ五十年ニシテ命ヲ終リ又ハ老衰シテ業務ヲ執ルコト能ハサルモノハ蓋シ稀ナルヲ以テ實際上ノ經驗ニ依リ爾後六十年ヲ以テ其限度ト定メ年齢滿六十年以上ニアラサレハ隱居ヲ爲スコトヲ得サルコトト定メ縱令六十年以上ナルモ完全ノ能力ヲ有スル家督相續人カ單純ノ承認ヲ爲スニアラサレハ隱居ヲ爲スコト能ハス故ニ此二條件カ具備スルニアラサレハ隱居スルヲ得ス然リ而シテ此二條件カ具備スルモ隱居ヲ爲ス者カ任意ニ出ツヘキハ勿論若シ任意ニ出サルトキハ隱居ハ之ヲ取消ヲ得ヘキモノトス

前項ハ男戸主カ隱居スル場合ヲ規定セラレタルモノニシテ之ヲ女戸主ニ適用スルコトヲ得ス女戸主ハ年齢ニ拘ラス隱居ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ女戸主カ隱居ヲ爲ス場合ニ於テ其女戸主ニ夫アルトキハ其夫ノ同意ヲ得サルヘカラス然レトモ正當ノ理由アルニ非サレハ夫ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス是レ蓋シ女戸主ニ於テ隱居ヲ爲スヘキ正當ノ理由アルモ其夫ニ於テ自己ノ利益ノ爲メニ不正當ノ事由ニ基キ同意ヲ拒ミ隱居ヲ爲スコトヲ得サラシムルコト能ハサルノ弊ナカラント要スルニアリトス然リ而シテ女戸主ニ在テハ年齢ニ拘ハラス隱居ヲ爲スコトヲ得セシムルヲ規定セラレタル者ハ古來ノ制、士ハ武ヲ以テ常職トシ食祿ヲ賜ヒ庶人ニシテ戸主タル者ハ夫役ニ當ルヘキ公務ヲ帶ヒタルニ依リ婦女ノ家督相續ヲ許サス又家督相續ニ付年齢ニ制限アリタリシモ明治五年十一月ニ於テ徵兵令ヲ頒布シ明治六年ヨリ之ヲ施行セラルルコトナリ隨

テ庶人ノ夫役ヲ止ラレ公課ハ納稅義務者ニ一體ニ賦課スルコトニ定メラレタリ是ニ於テ明治六年二月第二十八號華士族相續法ヲ頒布シ男子無キ者ハ女子ノ相續ヲ聽サレタルモ女子ニシテ戸主タルハ畢竟男子ノ相續スヘキ者ナク婿養子ト爲スヘキ相應ノ者ナキ時ニ限ルヘキモノニシテ他日相應ノ者アラハ夫ヲ迎ヘテ夫ニ戸主ヲ讓ルヘキハ既ニ成法ノ趣旨ニシテ女子ノ相續ハ變則ニシテ男子ニ於テ戸主タルヘキハ當然ナリ是ニ於テ一旦女子カ相續シテ戸主ニ立タル後タルモ完全ノ能力ヲ有スル家督相續人カ相續ノ單純承認ヲ爲スニ於テハ女戸主ハ年齢六十年未滿ナルモ戸主ヲ讓リテ隱居ヲ爲スコトヲ得セシムルハ本法ノ旨趣タル處ナリ

例

第七百五十二條 戸主ハ左ニ掲ケタル條件ノ具備スルニ非サレハ隱居ヲ爲スコトヲ得ス
一 滿六十年以上ナルコト

二 完全ノ能力ヲ有スル家督相續人カ相續ノ單純承認ヲ爲スコト

註記

既成法ニ於テ華士族ニ限り隱居ヲ爲スニ付年齢ニ制限ヲ設ケラレ其他ハ別ニ制限ナキモ一家ヲ經營シ能ハサル未成年者ヲ以テ戸主ニ立テ少壯有爲ノ戸主カ隱居ヲ爲スカ如キコトアラザリシモ六年第二十八號布告ニ於テ華士族ニ女子及未成年者ノ相續ヲ爲スコトヲ許サレタルヨリシテ未成年者カ戸主ヲ讓リ少壯有爲ノ戸主ノ隱居ヲ爲ス者次第ニ顯出シ現今ニ在テハ戸主及隱居ハ戶籍上其肩書ニ存シ其實隱居ニシテ家制ヲ料理シテ戸主タルノ義務ヲ免カレサルハ世上往々見ル處ナリ蓋シ戸主ノ資格ヲ以テ負擔スルヲ得サル者ニ戸主ヲ讓リ戸主隨意ニ隱居スルカ如キ風習ヲ掃除シ之ヨリ生スル種々ノ弊害ヲ豫防スルニアリ又本條ニ隱居ヲ爲スハ滿六十年以上タルコトヲ規定シタルモ滿六十年以上ニ至ラハ隱居ヲ爲サシムルノ注意ニアラス滿六十年以上ナルモ戸主ニ於

テ隱居ヲ爲スヘカラストスルトキハ隱居ヲ爲スニ及ハス又滿六十年以上ニ達スルモ家督相續人カ無能力者ニシテ相續ノ單純承認ヲ爲スコトヲ得サルトキハ隱居ヲ爲シ得ヘカラサルモノトス
第七百五十五條 女戸主ハ年齢ニ拘ハラズ隱居ヲ爲スコトヲ得
有夫ノ女戸主カ隱居ヲ爲スニハ其夫ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但夫ハ正當ノ理由アルニ非サレハ其同意ヲ拒ムコトヲ得ス

註記

本條ハ第七百五十三條第一項ノ變則ヲ規定シタルモノニシテ女戸主ハ其夫ノ同意ヲ得ルニ於テハ年齢ニ拘ハラズ隱居ヲ爲スコトヲ得ヘキモ其隱居ヲ爲スニハ完全ノ能力ヲ有スル家督相續人カ相續ノ承認ヲ爲スコトヲ要スヘキハ第七百五十二條ニ於ケル如シ

備考

戶籍法第百十一條參觀

第二節 疾病又ハ本家相續及本家再興若クハ家政ヲ執ル能ハス又ハ婚姻ニ依リ他家ニ入り又ハ隱居ヲ爲シ、無能力者ノ隱居ニ關スル規定

戸主疾病ニシテ一家ヲ維持シ能ハサルカ又ハ本家ニ相續人ナキニ因リ分家戸主ニ於テ本家ノ相續ヲ爲ス場合若クハ分家ノ戸主ニシテ廢家又ハ絶家シタル本家ヲ再興スル場合其他已ムテ得サル事情アリテ爾後家政ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハ年齢滿六十年ニ達セサルモ隱居ヲ爲スコトヲ得ヘシ此場合ニ於テハ完全ノ能力アル法定ノ推定家督相續人カ單純ノ承認ヲ爲スヘキハ勿論ナリト雖モ若シ法定ノ推定家督相續人アラザルトキハ豫メ家督相續人ヲ定メ相續ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス然リ而シテ本項ニ掲ケル處ノ事故ニ依リ第七百五十二條ノ規定ニ依ラス戸主ノ隱居ヲ爲スハ非訟事件手續法第九十條ニ依リ其戸主ノ住所地方官管轄スル區裁判所ニ許可ノ申請ヲ爲スヘシ其申請ニハ推定家督相續人又ハ家督相續人タルヘキコトヲ承認

シタルコトヲ其相續人タルヘキ者ヲシテ表示セシメ之ニ署名捺印セシムヘキモノトス
 戸主カ其家ヲ棄テ他家ニ入ラントスルハ家ヲ重シトスル我カ舊慣ニ悖ルモノナリト雖モ婚姻ニ因リ他家ニ
 入ラントスルニ於テハ實際人情ノ忍ビサルモノナキニシモアラス殊ニ女戸主ノ如キハ他家ニ入ルコトヲ禁
 スルニ於テハ婚姻ニ關シ大ナル妨ケトナルコトナカルヘシ何トナレハ女戸主カ他ニ婚姻スルハ容易ナルモ
 其家ニ在テ入夫ヲ迎フルハ甚タ難カルヘシ是ニ於テ女戸主カ婚姻ニ因リ他家ニ入ルヲ許ササルヘカラサレ
 トモ戸主ノ儘他家ニ入り又ハ男女兩戸主相婚姻スルハ一家ノ利害ニ重大ナル關係ヲ及ホスヘキニ依リ容易
 ニ許スヘキモノニアラス是ニ於テ男戸主カ女戸主ノ入夫ヲラントシ又ハ女戸主カ男戸主ニ婚嫁セントスル
 場合ニ於テハ其男女ノ戸主ハ其年齢ニ拘ハラズ推定家督相續人ナキ者ハ家督相續人タルヘキ者ヲ定メ其承
 認ヲ得テ隱居ヲ爲スコトヲ得ヘシ若シ其戸主カ隱居ヲ爲サシテ婚姻ニ依リ他家ニ入ラントシ其届出ヲ爲
 シタルトキハ戸籍吏ハ第七百七十六條ニ依リ其届書ヲ受理スヘカラスト雖モ戸籍吏カ誤テ其届出ヲ受理シ
 タルトキハ其婚姻ハ第七百七十五條ノ規定ニ依リ有效ニ成立シタルモノトス此場合ニ於テ其戸主ハ婚姻ノ
 日ニ於テ隱居ヲ爲シタルモノト看做スヘシ
 又法定代理人ノ權限ハ法律ニ依リ定マルモノナレハ民法第四條及第九條ノ明文アリテ其意味廣汎ナルモ無
 能力者カ隱居ヲ爲スニ付テハ該條ニ依リ法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス本法第七百五十七條及戸籍
 法第百十九條ニ依リ戸籍吏ニ届出ルヲ以テ有效ナリトス

例

第七百五十三條 戸主カ疾病、本家ノ相續又ハ再興其他已ムコトヲ得サル事由ニ因リテ爾後家政ヲ執ル
 コト能ハサルニ至リタルトキハ前條ノ規定ニ拘ハラズ裁判所ノ許可ヲ得テ隱居ヲ爲スコトヲ得但法定
 ノ推定家督相續人アラサルトキハ豫メ家督相續人タルヘキ者ヲ定メ其承認ヲ得ルコトヲ要ス

註記

本條ハ年齡六十年未滿ノ戸主カ隱居スル場合ヲ規定セラレタルモノニシテ本家ヲ相續シ又
 ハ廢絶ノ本家ヲ再興セントスルニハ分家ノ戸主ハ隱居シ本家ニ入りテ相續シ又ハ之カ再興ヲ爲ス
 ヘキモノニシテ本家相續再興ノ爲メ分家ノ戸主ノ隱居ヲ許スハ其家ヲ重シスル古來ノ慣習ニ基ケ
 ルモノニシテ已ムコト得サル事由ニ因リ爾後家政ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトハ戸主カ家資分
 散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルヲ以テ世ノ信用ヲ失シ又ハ負債ノ爲メ自己ノ力ヲ以テ一家ヲ支ヘ能
 ハサルニ依リ他ニ戸主ヲ設クヘキ必要アルカ如キ場合ヲ云フ而シテ本條ノ如キ一般ノ規定ニ反シ
 テ隱居ヲ爲スニ付テハ利害關係人ノ權利ニ重要ナル關係ヲ有スヘキニ依リ其事由ノ確實ナラサル
 ヘカラサルヲ以テ裁判所ノ許可ヲ請フコトヲ必要ト爲シタルモノナリ其推定家督相續人アラサル
 者ヲシテ家督相續人ヲ定メシムルモノハ隱居ヲ爲スカ爲メニ一家斷滅ノ結果ヲ生セシムルカ如キ
 弊害ヲ防止スルノ趣旨ニ出タルモノトス

第七百五十四條 戸主カ婚姻ニ因リテ他家ニ入ラント欲スルトキハ前條ノ規定ニ從ヒ隱居ヲ爲スコトヲ
 得

戸主カ隱居ヲ爲サシテ婚姻ニ因リ他家ニ入ラント欲スル場合ニ於テハ戸籍吏カ其届出ヲ受理シタル
 トキハ其戸主ハ婚姻ノ日ニ於テ隱居ヲ爲シタルモノト看做ス

註記

本條ハ戸主カ婚姻ニ依リ他家ニ入ラントスルノ規定ヲ掲ケラレタルモノニシテ前條ノ規定
 ニ從ヒトハ第七百五十二條ノ要件ヲ具備セサルモ裁判所ノ許可ヲ得テ隱居ヲ爲シ然ル後他家ニ入
 ルヘキニト云フモノナリ

第七百五十六條 無能力者カ隱居ヲ爲スニハ其法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス

註記

本條ハ未成年者又ハ禁治産者カ法定代理人ノ同意ヲ得シテ隱居ヲ爲スヲ得ルコトヲ規定

(備考)

本法第七百五十五條、第七百六十一條、第七百七十五條、第七百七十六條●非訟事件手續法第九十條●戸籍法第九十九條、第二百十條、第二百一十一條參觀

第二節 隠居ノ效力及隠居ノ取消

隠居ヲ爲シタルノ效力ハ隠居ヲ爲ス者ト家督相續人トカ戸籍法ノ規定ニ依リ戸籍吏ニ隠居ヲ爲スノ届出ヲ爲シタル日ニ於テ發生スヘキモノニシテ此兩者カ届出ヲ爲スコトヲ規定セラレタルモノハ戸主ノ隠居ヲ爲スハ本人ノ任意ニ出タルト家督相續人カ單純ノ承認ヲ爲シタルトテ明瞭ナラシムルモノナリ然リ而シテ第七百五十二條ノ要件ヲ具備セスシテ隠居ヲ爲シ又ハ疾病又ハ本家相續若クハ再興其他已ムテ得サル事由ニ因リ家政ヲ執ルコト能ハサル等ノ事實アリシモ裁判所ノ許可ヲ得スシテ隠居ヲ爲シ若クハ其許可ヲ得タルモ其事實ナキ者隠居ヲ爲シタルカ如キ總テ第七百五十二條及第七百五十三條ノ規定ニ違反シテ爲シタル隠居ニ關シテハ其隠居ヲ爲シタル者ノ親族及檢事ハ隠居届出ノ日ヨリ三個月内ニ隠居ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得又女戸主カ第七百五十五條第二項ニ依リ其夫ノ同意ヲ得スシテ隠居ヲ爲シタルトキハ其夫ハ本文ノ期間内ニ女戸主カ爲シタル隠居ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ヘシ蓋シ戸主隠居ノ效力ハ隠居ヲ爲ス者ト家督相續人トノ届出ニ依リ確定セシモノトスルモ法律ニ規定シタル必要ノ條件ヲ缺キタル場合ハ之ヲ取消シ戸主カ隠居ヲ爲スニ付利害關係ヲ有スル親族及女戸主ノ夫ノ利益ヲ保護シ又檢事ニ於テ其請求ヲ爲シ以テ公益ヲ保護スルニアリトス但隠居ノ取消請求ニ關シテハ隠居者ノ普通裁判籍ヲ有スル裁判所ノ管轄ニ屬シ親屬ヨリ取消ヲ請求スルモノハ人事訴訟手續法第三十六條第三項ニ依ルヘシ

(例)

第七百五十七條 隠居ハ隠居者及ヒ其家督相續人ヨリ之ヲ戸籍吏ニ届出ツルニ因リテ其效力ヲ生ス

(註記)

本條ニ付テハ別ニ解釋ヲ要セサル其效力ヲ主張スル爲メ其以前ノ債權者又ハ債務者ニ通知ヲ要スルモノニシテ其通知ニ付テハ第七百六十一條ニ規定セラレタリ

第七百五十八條 隠居者ノ親族及ヒ檢事ハ隠居届出ノ日ヨリ三個月内ニ第七百五十二條又ハ第七百五十三條ノ規定ニ違反シタル隠居ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

三條ノ規定ニ違反シタル隠居ヲ爲シタルトキハ夫ハ前項ノ期間内ニ其取消ヲ

女戸主カ第七百五十五條第二項ノ規定ニ違反シテ隠居ヲ爲シタルトキハ夫ハ前項ノ期間内ニ其取消ヲ

裁判所ニ請求スルコトヲ得

(註記)

本條ノ請求ニ依リ裁判所ニ於テ隠居ヲ取消サレタルトキハ民法第二百一十一條ニ依リ其行爲ハ初メヨリ無効ト看做サルヘキニ依リ亦初メヨリ隠居ヲ爲サリシモノト看做スヘキモノトス

(備考)

本法第九十條、第九十一條、第九十五條、第二百十條、第二百二十二條●人事訴訟手續法第三十五條、第三十六條、第三十七條、第三十八條、第三十九條第四項●戸籍法第二百二十二條參觀

第四節 詐欺又ハ強迫ニ依リ爲シタル隠居ノ届出取消及取消以前相續人ノ債務ニ關シ返濟ノ請求

隠居者又ハ家督相續人カ他人ヨリ詐欺又ハ強迫ヲ受ケテ隠居ノ届出ヲ爲スコトハ古來其例アル處ニシテ亦各人ノ知ラルル所ナリ此ノ如キ任意ニアラサル隠居ハ其隠居者又ハ家督相續人ニ於テ隠居ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ヘシ其取消ノ請求ヲ爲スハ詐欺ヲ發見シ又ハ強迫ヲ免カレタル時ヨリ一年以内ニ之ヲ爲スヘキモノトス然レ共其隠居又ハ家督相續人ニ於テ追認ヲ爲シタルトキハ以後其取消ヲ請求スルコトヲ得サルヘシ又隠居者又ハ家督相續人カ詐欺又ハ強迫ニ依リ隠居ノ届出ヲ爲シタルモ其詐欺ニ陥リタルコトヲ知覺セス又ハ其強迫セラレタル状態ノ存續スル間ハ其親族又ハ檢事ヨリ裁判所ニ其取消ヲ請求スルヲ得ヘシ然リ而シテ此取消請求ヲ爲シ得ヘキ權利ヲ其親族及檢事ニ付與シタル者ハ親族ニ在テハ其利害ニ付多

少關係ヲ有スヘキモノニシテ檢事ハ社會ノ安寧ヲ保護スル職ニシテ一家ノ安寧ハ終ニ國ノ秩序ニ關係ヲ及
ホスフキヲ以テナリ其親族又ハ檢事ニ於テ隱居ノ取消ヲ請求シタル後隱居者又ハ家督相續人カ其隱居ノ届
出ヲ追認シタルトキハ取消權ハ消滅スヘキモノトス又此取消權ヲシテ永ク存立セシムルトキハ實際種々ノ
弊害ヲ生スヘキ虞アルニ付特別ノ時效ヲ定メ隱居届出ノ日ヨリ之ヲ十年以内トシ十年ヲ經過シタルトキハ
其權利ノ消滅ニ歸スヘキモノトス

戸主カ隱居シ家督相續人カ戸主ニ立タルトキハ其戸主ニ對シテ債權ヲ取得スヘキモノアルヘキハ言ヲ俟サ
ルナリ然ルニ其債務者タル戸主カ隱居ノ取消ニ依リ家督相續人ニ復シ戸主タル身分ヲ失シタルトキハ債務
者ハ一朝忽チ權利ヲ失ヒ損害ヲ被ムルヘキハ必然ナリ故ニ前戸主ノ家督相續人ニ對スル債權者ハ隱居取消
ニ依リ戸主ヲ復シタル隱居ニ對シ其辨濟ヲ請求スルコトヲ得ヘキハ勿論尙ホ家督相續人ニ對シテモ請求ス
ルコトヲ得ヘシ然レトモ債權者カ債權ヲ取得セル當時隱居ノ取消原因ノ存スルコトヲ知リタルトキハ家督
相續人カ戸主タルニ著目セスシテ家督相續人ノ一身ニ付著目シタルモノタレハ縱令隱居ノ取消トナリテ
隱居カ戸主ニ復シ戸主カ家督相續人ニ復セシモ債權者ニ在テハ素ヨリ自己ノ利害ニ關係ヲ有セザリシコト
ヲ想像スヘクハ斯カル債權者ニ對シテハ戸主ニ復シタル隱居ニ於テ家督相續人カ戸主タリシトキノ債務
ヲ負擔スルヲ要セス且家督相續人カ家督相續ヲ爲ス以前ノ債務及戸主カ爲シタル債務タルモ家督相續人ノ
一身ニ專屬スル債務モ又同一ナルヲ以テ是等ノ債務ニ付テ債權者ハ家督相續人ニノミ請求スルヲ得ヘシ
前各項ニ關スル諸件ハ民法施行前ニ生シタルモノト雖モ民法施行後ニ於テモ前各項ニ記述シタル處ニ依ル
モノトス

(例)

第五百五十九條 隱居又ハ家督相續人カ詐欺又ハ強迫ニ因リテ隱居ノ届出ヲ爲シタルトキハ隱居者又ハ家

督相續人ハ其詐欺ヲ發見シ又ハ強迫ヲ免レタル時ヨリ一年內ニ隱居ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ
得但追認ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

隱居者又ハ家督相續人カ詐欺ヲ發見セス又ハ強迫ヲ免レサル間ハ其親族又ハ檢事ヨリ隱居ノ取消ヲ請
求スルコトヲ得但其請求ノ後隱居者又ハ家督相續人カ追認ヲ爲シタルトキハ取消權ハ之ニ因リテ消滅
ス

前二項ノ取消權ハ隱居届出ノ日ヨリ十年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第七百六十條 隱居ノ取消前ニ家督相續人ノ債權者ト爲リタル者ハ其取消ニ因リテ戸主タル者ニ對シテ
辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得但家督相續人ニ對スル請求ヲ妨グス

債權者カ債權取得ノ當時隱居取消ノ原因ノ存スルコトヲ知リタルトキハ家督相續人ニ對シテノミ辨濟
ノ請求ヲ爲スコトヲ得家督相續人カ家督相續前ヨリ負擔セル債務及ヒ其一身ニ專屬スル債務ニ付キ亦
同シ

(備考)

民法第九十條、第九十一條、第九十五條、第一百二十條、第一百二十二條、人事訴訟手續法第十五條
第三十六條、第三十八條、民法施行法第六十四條、戶籍法第二百二十二條參觀

第五節 隱居又ハ入夫婚姻ニ依ル戸主權ノ喪失ニ付債權債務ノ兩者ニ
通報

戸主カ隱居ヲ爲スハ其債權者及債務者ニ對シ利害關係ヲ及ホスヘキモノナレハ隱居ヲ爲スノ效力ハ隱居者
及家督相續人ノ届出ニ依リ生スヘキモ未タ之ヲ知ラサル債權者及債務者ニ對シテハ其效力ヲ主張スルコト
ヲ得サルナリ而シテ隱居ニ依リ又ハ入夫婚姻ニ因ル戸主權ノ喪失ノ場合ニ於テハ前戸主又ハ家督相續人ヨ
リ前戸主ノ債權者又ハ債務者ニ通知ヲ爲スコトヲ要ス此ノ如ク前戸主又ハ家督相續人ニ通知ノ義務ヲ負ハ

シメテ債権者又ハ債務者ニ於ケル不慮ノ損失ヲ被ラシメンコトヲ防キ其利益ヲ保護スルニアリトス

(例)

第七百六十一條 隠居又ハ入夫婚姻ニ因ル戸主權ノ喪失ハ前戸主又ハ家督相續人ヨリ前戸主ノ債権者及
債務者ニ其通知ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ其債権者及ヒ債務者ニ對抗スルコトヲ得ス
(註記) 入夫婚姻ニ因ル戸主權喪失トハ女戸主カ入夫ヲ迎ヘテ婚姻ヲ爲スニ因リ戸主タル權ヲ入夫
ニ譲リ入夫カ相續スル場合ヲ云フ

第六節、廢家及絶家

凡ソ廢家トハ其家ノ廢滅シ其家名ノ滅失スルヲ云ヒ絶家トハ戸主ノ亡失ニ依リ家名ヲ斷絶スルヲ云フ新ニ
一家ヲ新立シタル者ハ其家ヲ廢シテ他家ニ入ルコトヲ得ヘシト雖モ新立ニアラサル二代以上世襲ノ家ハ本
家ニ相續人ナクシテ分家ヨリ入テ本家ヲ相續シ又ハ本家ノ廢絶シタルヲ再興シ其他正當ノ事由ニ依リ裁判
所ノ許可ヲ得テ廢家スルノ外ハ之ヲ廢スルコトヲ得ス是蓋シ我カ國古來ヨリ家名相續法ニ依リ制ヲ立タル
舊慣ニ依レルモノニシテ祖先ヨリ傳承シタル家名ヲ廢スルコトハ重大ナル事件ニシテ一家ヲ廢シ祖先ノ祭
祀ヲ斷ツハ子孫タル者ノ尤モ忍ヒサル處ニシテ其家ヲ重ニスルノ情ノ極メテ切ナルモノナレハ立法ノ本旨
モ亦之ニ依テ定メラレタルモノナリ之ニ反シ一家新立シタル者ヲシテ其家ヲ廢シテ他家ニ入ルコトヲ得セ
シメタルモノハ新立ノ家ノ戸主ハ之ヲ廢スルモ祖先ノ祭祀ヲ斷ツヘキ憂ナキノミナラス其廢家ヲ禁スルニ
於テハ或ハ困難ナル結果ヲ見ルニ至ルヘシ之本文新立ノ家名ハ廢スルコトヲ得セシメタル所以ナリ又戸主
カ適法ニ一家ヲ廢シテ他家ニ入りタルトキハ其家族モ亦戸主ニ從テ其家ニ入ルヘキモノトス
戸主死亡シ又ハ國籍喪失等ニ依リ其家ニ相續人ナキトキハ其家ハ絶家シタルモノト爲ス此場合ニ於テ他ニ
家族アルトキハ其家族ハ各一家ヲ創立スヘキモノトスルモ若シ子ニシテ父アル者ハ父ニ隨ヒテ父ノ入ル家

ニ入り父ノ知レサルトキ又ハ父ノ他家ニ在ルトキ若クハ父ノ死亡シタルトキハ其子ハ母ニ隨テ母ノ入ルヘ
キ家ニ入ル又戸主ノ家族ノ妻タルモノハ其夫ニ隨ヒ夫カ入ル處ノ家ニ入ルヘキモノトス

(例)

第七百六十二條 新ニ家ヲ立テタル者ハ其家ヲ廢シテ他家ニ入ルコトヲ得

家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者ハ其家ヲ廢スルコトヲ得ス但本家ノ相續又ハ再興其他正當ノ事由
ニ因リ裁判所ノ許可ヲ得タルトキハ此限ニ在ラス

(註記)

家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者トハ隠居又ハ死亡跡ヲ相續シ若クハ婚姻ニ因リテ相續
ヲ爲シタル戸主ヲ云フ分家又ハ一家ヲ創立シタル戸主ハ其家ヲ廢スルコトヲ得ヘキモ家督相續ニ
因リ戸主トナリタル者ハ其家ヲ廢スルコトヲ得ス然レモ本家ニ相續人ナキニ依リ分家ノ戸主ニ於
テ本家ヲ相續スル場合又ハ分家ノ戸主ニ於テ廢家又ハ絶家トナリタル本家ヲ再興スル場合ニ於テ
分家ニ家督相續人ナキトキハ分家戸主ハ之カ爲メ其家ヲ廢スルコトヲ得ヘク其他正當ノ事由アル
トハ貧困ニテ一家ヲ維持シ能サル等總シテ已ムテ得サル事情アルニ因リ其家ヲ廢シテ他家ニ入ラ
ントスル場合ヲ云フ此場合ニ於テハ非訟事件手續法第九十一條ニ依リ戸主ノ住所地ヲ管轄スル區
裁判所ノ許可ヲ請フヘキモノトス

第七百六十三條 戸主カ適法ニ廢家シテ他家ニ入りタルトキハ其家族モ亦其家ニ入ル

(註記)

本條ハ廢家戸主ノ家族ハ其戸主ニ隨テ他家ニ入ルヘキコトヲ規定シタルモノニシテ適法ニ
廢家シテ他家ニ入ルトハ分家ノ戸主カ區裁判所ノ許可ヲ得テ其家ヲ廢シテ本家ヲ相續シ又ハ再興
ヲ爲シ若クハ戸主貧困又ハ幼稚ニシテ一家ヲ維持スル能ハサルニ依リ又區裁判所ノ許可ヲ得テ其
家ヲ廢シ他家ニ入ルカ如キヲ云フ

第七百六十四條 戸主ヲ失ヒタル家ニ家督相續人ナキトキハ絶家シタルモノトシ其家族ハ各一家ヲ創立ス但子ハ父ニ隨ヒ又父カ知レサルトキ、他家ニ在ルトキ若クハ死亡シタルトキハ母ニ隨ヒテ其家ニ入ル

前項ノ規定ハ第七百四十五條ノ適用ヲ妨クス

(註記)

本條ハ戸主ヲ失ヒタルトキ他ノ家族アルモ其家ニ家督相續人ナキトキハ其家ハ絶家トナルヘキコトヲ規定シタルモノニシテ此場合ニ於テハ他ノ家族アルトキハ其家族ハ各一家ヲ創立スヘシト雖モ家族中父子アルトキハ其子ハ父ニ隨ヒテ父ノ家ニ入り其父カ他家ニアルトキハ母ト共ニアレハ母ニ隨ヒ母ノ家ニ入ル父母共ニアラス又父母アルモ家ニアラサルトキハ一家ヲ創立スルモノトス

(備考)

戸籍法第八十七條、第五百二十二條、第五百十三條●非訟事件法第九十一條參觀

第三編 婚姻

第一章 婚姻ノ成立

第一節 婚姻ノ要件

第一款 婚姻ヲ爲スノ要旨

婚姻ハ男女相合シテ一家ヲ爲シ子ヲ擧ク相互ニ扶助シテ以テ生ヲ立ルノ勞ヲ執リ運命ヲ偕ニスル爲メニ結合スル契約ヲ云フ故ニ婚姻ヲ爲スノ主眼トスル處ハ子ヲ擧クテ祖先ノ統系ヲ永世ニ傳ヘントスルト男女相互ニ扶助シテ運命ヲ偕ニスルトニアリトス

婚姻ハ第七百七十五條ニ依リ其届出ヲ爲シタルニ依リ成立シ其届出ヲ爲シタル後ハ夫婦及其父母又ハ其子

ノ間ニ權利義務ヲ發生シ夫婦互ノ財産ニ關シテ未ダ婚姻ノ成立セサル前ニ於テ之カ契約ヲ爲シ登記シテ以テ夫婦トナル者ノ財産上ノ權利ヲ行ヒ義務ヲ結約スルモノタレハ夫婦ハ其意ニ隨ヒ自由ニ其契約ヲ爲スコトヲ得ヘキヲ以テ此契約ハ婚姻ノ契約ニ附帶シテ之ヲ行フモノトス

又凡ソ人ハ隨意ニ婚姻ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ第七百六十五條乃至第七百七十三條ニ掲クル條件ニ違フモノハ婚姻ヲ爲スコトヲ得サルモノトス是レ蓋シ婚姻ハ各自ノ自由ト爲ス法律上ノ原則ノ例外法タリ

第二款 男女婚姻ヲ爲シ得ル年齢

凡ソ男滿十七年、女ハ滿十五年ニ至ラサレハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス故ニ男ハ滿十七年女ハ滿十五年ヲ以テ婚姻ヲ爲シ得ヘキ年齢ト爲ス蓋シ各種ノ契約ニ於ケル男女共成年ニ至ラサレハ之ヲ爲スヲ得サレハ未成年者ノ爲メニスル契約ハ父母又ハ後見人代テ之ヲ爲スハ即チ法律上ノ原則ニシテ幼者ハ法律上契約ヲ爲シ得ヘキ能力ナキモノト爲セシモノトス然レトモ婚姻ノ契約ニ於ケル財産上ノ契約ト異ナリ一身上ノ契約タレハ幼者ト雖モ自ラ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ然リ而シテ法律ニ於テ本文ノ如キ年齢ニ制限ヲ設ケラレタル所以ノモノハ能力ニ關スルモノニアラスシテ婚姻ヲ爲ス者ノ身體ノ成熟ニ依ルモノトス蓋シ身體ノ成熟ニ至ラサレハ縱令婚姻ヲ爲スモ其目的ヲ達スルヲ得サルヲ以テナリトス又人ノ身體ハ其性來ニ依リ多少之ヲ異ニスルモノナリト雖モ立法官ハ衛生上ノ搜查ニ依リ法律上一定ノ年齢ヲ定メ以テ身體ノ虞害ヲ防キ又婚姻ノ主眼トスル處ノ夫婦相扶ケテ運命ヲ偕ニシ重大ノ義務ヲ負フニ付キ其精神ヲ要スルノ適當ナル年齢ヲ定メタルモノトス

幼者ニ付テハ前項ノ如ク婚姻ニ年齢ノ制限アルモ老者在テハ之カ制限ヲ設ケス故ニ縱令死ニ垂ントスル者ニアルモ亦婚姻ヲ行フコトヲ得ヘシ蓋シ夫婦互ニ子ヲ擧クテ統系ヲ繼カシムル目的ヨリ之ヲ爲ストキ老者ハ子ヲ擧クヘキ力弱キ者タレハ幾分カ法律上ノ制限ヲ設ケサルヘカラスト雖モ婚姻ハ管ニ子ヲ擧クルノミヲ

以テ主眼トセス夫婦相扶クテ生ヲ遂クルモ亦其主眼タルヲ以テ法律上之カ制限ヲ設クルコトナキモノトス

從來施行スル處ノ法律中男女婚姻ヲ爲スニ付年齡ニ制限ナシ止テ刑法第三百四十條ニ十二歳未滿ノ幼女ヲ姦スル者ヲシテ重罪ニ處スルノ明文アルト陸海軍結婚條例ニ於テ軍人二十六年未滿ノ女ト結婚セシメサルノ成交アルノミ故ニ平人ニ在テハ從來滿十二年以上ナレハ婚姻ヲ爲スモ敢テ妨クナキモノタリシモ本法施行ノ後ハ茲ニ規定スル所ニ從フヘシ然レトモ本法實施以前十七年未滿ノ男子ト十五年未滿ノ女ト婚姻ヲ結セ實施ノ際未タ本條ノ年齡ニ違セサルモ既ニ結行シタル婚姻ハ解婚スルニ及ハサルモノトス

例

第七百六十五條 男ハ滿十七年女ハ滿十五年ニ至ラサレハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

(備考) 本法第七百六十五條、第七百八十條、第七百八十一條參觀

第三款 重婚及再婚

凡ソ夫アル者其夫ト解婚セスシテ他ノ男子ト婚姻ヲナシ又ハ婦アル者其婦ト離婚セスシテ他ノ女ト婚姻ヲ爲スコト許サズ犯スモノハ刑法ニ問ヒ尙ホ解婚セシムヘキモノトス蓋シ婚姻ハ各自ノ自由ニ任ス原則タリト雖モ一夫數妻ヲ娶リ一婦ノ數夫ニ嫁スルカ如キハ夫婦相愛スルノ情ヲ欠キ却テ夫婦ノ間無限ノ怨恨ヲ生シ隨テ其配偶者數人カ擧ケタル子ノ間不諧ヲ生シ互ニ仇視スルノ弊害ヲ發生スヘキニ因ルモノトス
一旦婚姻ヲ行ヒ夫婦ノ縁義ヲ結ヒタルモ其婚姻ヲ解消シタル後ハ再ヒ婚姻ヲ爲スコトヲ得管ニ再婚ヲ爲スコト得ルノミナラス其婚姻ヲ解消シ又ハ取消シタルトキハ尙ホ數婚ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ女ハ前婚解消又ハ取消ノ日ヨリ滿六ヶ月經過シタル後ニアラサレハ再婚ヲ爲スコトヲ得ス若シ本法施行前ニ前婚カ解消又ハ取消サレタルモノハ其解消又ハ取消ノ時ヨリ起算スヘキモノトス然リ而シテ前婚解消又ハ取消ノ前ヨリ

女カ懐胎シタル場合ニ於テハ此制限ハ分娩ノ日迄ニ止マルヘキヲ以テ未タ六ヶ月ヲ經過セサルモ爾後隨意ニ再婚スルコトヲ得ヘシ本法第七百六十七條ニ此制限ヲ規定セラレタルモノハ他ナシ第八百二十條ノ規定ニ依リ再婚ノ日ヨリ二百日後ニ生レタル子ハ再婚ノ夫ノ子ト看做スヲ得ヘキヲ以テ若シ前婚ノ解消タル日又ハ取消ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ再婚ヲ許ストキハ二百日以内ニ生レタル子ハ前婚ノ夫ノ子タリヤ又ハ再婚ノ夫ノ子タリヤヲ識別シ能ハサル疑ヲ惹キ起スヘキヲ以テ此疑ヲ防カシメ立法者ハ此ノ如キ制限ヲ設ケ以テ急ニ再婚ヲ爲シ婦徳ヲ汚スノ弊ヲ矯正スルニアリトス但重婚ヲ理由トシテ婚姻ノ取消ヲ請求シタル場合ニ於テ其訴ヲ棄却シタル判決ハ當事者ノ前配偶者ニ對シテハ其配偶者カ訴訟ニ參加シタルトキニ限り其效力ヲ有ス

例

第七百六十六條 配偶者アル者ハ重テ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

(註記) 若シ本法ニ違ヒ結婚ヲ行ヒタルトキハ第七百八十條ニ依リ當事者ノ配偶者又ハ前配偶者ヨリ其取消ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

第七百六十七條 女ハ前婚ノ解消又ハ取消ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタル後ニ非サレハ再婚ヲ爲スコトヲ得ス

女カ前婚ノ解消又ハ取消ノ前ヨリ懐胎シタル場合ニ於テハ其分娩ノ日ヨリ前項ノ規定ヲ適用セス

(註記) 前婚解消トハ婦カ其夫ト離婚シ又ハ其夫ノ死亡ニ依リ婚儀ノ解消タル場合ヲ云ヒ取消トハ

注律ニ違背シタル婚姻ヲシテ取消タルヲ云フ

(備考) 民法施行法第六十六條第七百七十五條第七百七十六條第七百八十條第七百八十二條人事訴訟

手續法第十八條第二項參照

第四款 姦通ニ因リ離婚ノ妻相姦者ト婚姻禁止

凡ソ有夫ノ婦ニシテ他人ト姦通シ仍テ離婚ノ宣告ヲ受ケタル者又ハ離婚ノ宣告ヲ受サルモ刑ノ宣告ヲ受ケタルモノハ其夫ト婚姻解消ノ後ニ於テ相姦者ト婚姻ヲ爲スコトヲ得サルモノニシテ刑ニ處セラレサルモ姦通ニ因リ離婚ノ宣告ヲ受ケタル妻又ハ離婚ノ宣告ヲ受ケサルモ姦通ニ因リ刑ノ宣告ヲ受ケタル妻ヲシテ前婚解消ノ後姦夫ト婚姻スルコトヲ得セシメサルモノハ既ニ一家和合ノ大本ヲ紊亂シ國家善良ノ風俗ヲ害シタルモノナレハナリ故ニ此禁ヲ犯シテ婚姻ヲ爲シタルトキハ第七百八十條ノ規定ニ依リ其婚姻取消ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

例

第七百六十八條 姦通ニ因リテ離婚又ハ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ハ相姦者ト婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

註記

姦通ニ依リ離婚ノ宣告ヲ受ケタルモ刑ニ處セラレサルコトアルヘシ又刑ノ宣告ヲ受ケタルモ離婚セラレズシテ後他ノ原因ニ因リ離婚セラルルコトアルヘク夫死シテ寡婦トナルコトモアル

ヘシ如何ナル場合ト雖モ姦通ノ妻ハ姦夫ト婚姻スルヲ得サルモノトス

備考

本法第七百七十六條、第七百八十條參觀

第五款 親族間及姻族間ノ禁婚

凡親族中已レヨリ直線ニ上下スル系統ニ係ル者ヲ直系ト云ヒ父母、祖父母、曾祖父母、高祖父母等ヲ直系尊屬ト稱シ子、孫、曾孫、玄孫等ヲ直系卑屬ト稱ス皆直系血族ナリ兄弟、姉妹、伯叔父姑、甥姪ハ三親等内ノ傍系血族ニシテ配偶者ノ親族ヲ姻族ト云ヒ其配偶者ヨリ直線ニ上下スル者ヲ直系姻族ト云フ即チ配偶者ノ父母、祖父母以上、子、孫以下是ナリ其直系血族ノ間又ハ三親等内ノ傍系血族ノ間若クハ直系姻族ノ間ニ於テハ互ニ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ養子養方ノ親族トノ間ニ於ケル直系血族トノミ相婚姻スル

ヲ得スシテ養方ノ傍系血族トノ間ニ在テハ互ニ婚姻スルヲ得又姻族ノ關係ハ離婚ニ依リテ止ミ養子ト養親及養方血族トノ親族ノ關係及養子ノ配偶者ノ直系卑屬又ハ其配偶者ト養親又ハ其直系尊屬ト親族ノ關係ハ養子離縁及養子離縁ニ依リ其配偶者カ養子ト共ニ養家ヲ去リタルニ依リ止ムヘシト雖モ其姻族又ハ親族關係ノ止ミタル後ト雖モ是等ニ在テハ互ニ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス若シ此規定ニ反シ婚姻ヲ行ヒタルトキハ第七百八十條ニ依リ其取消ヲ請求スルコトヲ得ヘキモノトス但其請求ハ人事訴訟手續法第一條ニ依リ夫カ普通裁判籍ヲ有スル地又ハ死亡ノ時之ヲ有レタル地ノ地方裁判所ノ管轄ニ專屬スヘシ蓋シ本文ノ如ハ契約自由ノ原則ニ反スル例外法ヲ規定セラレタルモノハ近親相姦スルハ倫理ヲ紊亂シ患害ヲ醸生スルノ虞アルヘキモノニシテ第一一家數子間若クハ其數子ト父母トノ間ニ競争疾惡ノ念ヲ發生セシムルニアリ第二父母ニ於テ其子孫ヲ統制スルノ權力ヲ失フニ至ラシムルノ恐レアリ第三若年ノ輩ヲシテ誑惑ニ遭遇セシムルノ患害ニ陥ラシメ以テ身体上ト人情上トニ多少害ヲ發セシムルニアリ
舊制ニ於モ直系ノ尊屬卑屬直系姻族間及三親等内ノ傍系ノ血族ハ相互ニ婚姻スルコトヲ許サザリシモ血縁ナキ傍系ノ親族ニ於テハ三親等内タルトモ其名義ヲ去リタル上ハ互ニ相婚姻スルヲ得セシムル慣習ニシテ例ヘハ養子養家ノ家女タル姉妹ト婚姻セントスルトキハ先以テ其姉妹ヲ一旦他家ノ養女トナシ戸籍上兄弟姉妹ノ名義ヲ去リ更ニ他家ヨリ婚嫁スル等實ニ姑息形式上一手段ニ出タルモノニシテ名實相反スヘキモノナリ仍テ本法ニ於テハ第七百六十九條ニ但書ヲ加ヘテ養子養方ノ傍系血族トノ間ノ婚姻ハ本文禁止ノ例外ヲ規定セラレ從來施行セラレタル煩雜ナル無用ノ手續ヲ廢セラレタルモノナリ蓋シ養子養方ノ傍系血族ト婚姻セシムルモ亂倫ノ行爲ニアラサレハナリ

例

第七百六十九條 直系血族又ハ三親等内ノ傍系血族ノ間ニ於テハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス但養子ト養方ノ

傍系血族トノ間ハ此限ニ在ラス

(註記)

父母、祖父母及子孫、兄弟、姉妹、伯叔父姑、甥姪ノ間ハ互ニ婚姻ヲ爲スコトヲ得サルモ養子養方ノ兄弟、姉妹、伯叔父姑、甥姪ノ間ハ從前ノ如ク一旦他家ノ養子女ト爲スカ如キ手數ヲ要セス相互ニ結婚スルヲ得ヘキモノトス但直系血族中ニハ繼父母、嫡母、庶子ヲ含有スヘシト雖モ夫ノ前妻及妻ノ前夫ノ子、妻ノ私生子等ハ本文直系血族中ニ含有セス第七百七十條ノ直系血族中ニ含有スヘシ又本法ニ明文ナキ親族ハ婚姻スルヲ得ヘキニ依リ大伯叔父姑ト又甥姪ト婚姻スルハ妨クナキモノトス

第七百七十條 直系血族ノ間ニ於テハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス第七百二十九條ノ規定ニ依リ姻族關係カ止ミタル後亦同シ

(註記)

直系血族トハ配偶者ノ父母、祖父母、子孫ヲ云フ直系血族トハ配偶者ト婚姻ヲ解消シ姻族關係ノ止ミタル後タリトモ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス故ニ例ヘハ妻ノ母子トハ其夫又ハ夫ノ父祖、子孫ト其妻トハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス其配偶者カ離婚トナリ又ハ死亡シテ婚姻解消シ姻族ノ關係止ミタル後ト雖モ亦然リ然リト雖モ傍系血族ニ於テハ別ニ禁婚ノ明文ナキヲ以テ婚姻ヲ爲スコトヲ得ヘシ古制ニ於テハ傍系姻族間ニ在テハ婚姻ヲ禁スルモノアリ妻カ離婚又ハ死亡ノ後前妻ノ姉妹ト婚姻シ又ハ夫ト離婚又ハ夫死亡ノ後前夫ノ兄弟ト婚姻スルヲ禁シ妻死後其姉妹ト結婚スルカ如キハ一旦其姉妹ヲ他家ノ養女トシ其姉妹タル名義ヲ止メタルトキハ更ニ婚姻スルコトヲ得セシメタルモ本法ニ於テハ姻族ノ禁婚ハ直系血族間ニ限リタルヲ以テ配偶者ノ兄弟姉妹ト婚姻スルハ之ヲ禁スルモノニアラス

第七百七十二條 養子、其配偶者、直系卑屬又ハ其配偶者ト養親又ハ其直系尊屬トノ間ニ於テハ第七百

三十條ノ規定ニ依リ親族關係カ止ミタル後ト雖モ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

(註記)

本條ハ養子ト養親又ハ其直系尊屬、養子ノ配偶者ト養親又ハ其直系尊屬トノ間ニ於テハ第七百三十條ニ依リ親族關係カ止ミタル後タリトモ婚姻スルヲ得ス故ニ例ヘハ養子離縁ノ後タリトモ其養子ト養親又ハ其父母祖父母トハ婚姻スルコトヲ得ス又養子ト離婚シ又ハ養子死亡等ニ依リ養子ト婚姻解消ノ後タリトモ養親又ハ其父母祖父母ニ於テ養子ノ配偶者タリシ者ト婚姻スルヲ得ス又養子ノ子孫又ハ其子孫ノ配偶者カ縁組又ハ婚姻解消ノ後其養親又ハ養親ノ父母、祖父母ト婚姻スルヲ得サルカ如シ蓋シ曾テ親ト呼ヒ子孫ト呼ヒタル者ニ於テ縱令親族關係ノ止ミタル後タリトモ婚姻ヲ許スヘキハ穩カナラサルニ依ルモノナレハナリ但傍系親族ノ配偶者ニ在テハ本法禁婚ノ明文ナキヲ以テ兄弟及伯叔父姑、甥姪ノ配偶者タリシモ婚姻解消ノ後ハ結婚スルヲ得ヘキモノトス

(備考)

第六款 婚姻ヲ爲スニ付父母後見人親族會ノ同意ヲ得ヘキ規定

凡ソ子カ婚姻ヲ爲スニハ其家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルヲ要ス父母ノ一方カ知レサルトキ又ハ死亡シタルトキ若クハ家ニ在ラサルトキ又ハ其意思ヲ表示シ能ハサルトキハ他ノ一方即チ父カ前述ノ場合ニ於テハ母、母カ前述ノ場合ニ於テハ其父ノミノ同意ヲ得ルヲ以テ足レリトス又父母共ニ知レサルカ又ハ父母共ニ死亡シタルカ若クハ父母共ニ家ヲ去リタルカ又ハ父母共ニ其意思ヲ表示スルコト能ハサルカ如ク家ニ同意ヲ得ヘキ父母アラサルトキハ子カ成年者ナレハ他ニ同意ヲ得ルヲ要セス婚姻ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ未成年者ナルトキハ其後見人及ヒ親族會ノ同意ヲ得ルヲ要ス但シ男カ年齡滿三十年女カ年齡滿二十五年ニ達シタル後ニ於テ婚姻ヲ爲ストキハ父母ノ同意ヲ得ルヲ要セス

婚姻ニ付テハ其家ニ在ル父母ハ養實ヲ問ハス又繼父母、嫡母ヲ論セス總テ其同意ヲ得ヘク其一方カ同意スルモ他ノ一方カ同意セサルトキハ其子ハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ繼父母ニ於テ繼子ノ婚姻ヲ拒ミ嫡母ニ於テ庶子ノ婚姻ヲ拒ムトキハ子ハ親族會ノ許諾ヲ得テ婚姻ヲ爲スコトヲ得ヘシ其繼父母、嫡母ニ於テ子ノ婚姻ヲ拒ミタルトキ其子ニ於テ親族會ノ許諾ヲ得テ婚姻ヲ爲シ得ヘキ規定ヲ設ケラレタル所以ノモノハ他ナシ實父母ニ在テハ不當ニ子ノ婚姻ヲ拒ムコトナカルヘシ又之ヲ拒ムモ之カ爲メ親子相爭フカ如キハ尠カルヘキモ血族ノ關係ナキ繼父母及嫡母ニ在テハ其不當ナルヲ知テ子ノ婚姻ヲ拒ムコト往々之アレハナリ又禁治産者カ婚姻ヲ爲スハ其後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス

(例)

第七百七十二條 子カ婚姻ヲ爲スニハ其家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但男カ滿三十年女カ滿二十五年ニ達シタル後ハ此限ニ在ラス

父母ノ一方カ知レサルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ノ同意ノミヲ以テ足ル

父母共ニ知レサルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ未成年者ハ其後見人及ヒ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

(註記)

本條第一項ハ子ハ其家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルニ非ラサレハ婚姻ヲ爲スコトヲ得サル原則ヲ規定シタルモノニシテ其家ニ在ラサルトハ失踪等ノ場合ヲ云ヒ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトハ父母カ治産ノ禁ヲ受ケタル場合ヲ云フ

第七百七十三條 繼父母又ハ嫡母カ子ノ婚姻ニ同意セサルトキハ子ハ親族會ノ同意ヲ得テ婚姻ヲ爲スコトヲ得

(註記)

本條ハ前條第一項ノ原則ニ制限ヲ付シタルモノニシテ子ノ婚姻ニ付テハ父母ノ同意ヲ與フルト否トハ父母ノ任意ニシテ其當否如何ヲ論スヘカラサルヲ以テ繼父母嫡母ノ同意ヲ與ヘサルトキハ親族會ノ同意ヲ得ルノ途ヲ開キタルモノナリ

第七百七十四條 禁治産者カ婚姻ヲ爲スニハ其後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス
(備考) 本法第七百八十三條●人事訴訟手續法第一條●戶籍法第三百三條參觀

第七款 婚姻ノ届出及婚姻ノ效力

凡ソ契約ハ雙方合意ヲ得テ成立シ官公吏ノ手數ヲ要スヘキモノニアラスト雖モ婚姻ハ婦女ノ能力ヲ變易シ且夫婦財産上ノ權利義務ニ影響ヲ及ボスヘキモノタレハ之ヲ公ニセサルヘカラス抑婚姻ノ效力タル戶籍吏ニ之カ届出ヲ爲スニ因テ生スルモノニシテ其届出ハ當事者雙方及成年以上ノ證人二人以上夫ノ本籍地又ハ所在地ノ戶籍役場ニ出頭シ入夫婚姻及婿養子縁組ナルトキハ妻ノ本籍地又ハ所在地ノ戶籍役場ニ出頭シ戶籍吏ニ口頭ニテ之ヲ爲シ又ハ署名シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス疾病其他ノ事故アリテ自ラ戶籍吏ノ面前ニ出頭スルコト能ハサルモ代理人ヲ以テ陳述スルコトヲ許サス又代署シタル書面ヲ以テ届出ツルコトヲ許サス若シ自ラ陳述シ難キ者ハ自署ノ書面ヲ以テ届出自署シ能ハサル者ハ出頭シテ自ラ陳述スヘシ其當事者ヲシテ自身出頭シテ陳述セシムルモノハ當事者雙方ヲシテ眞ニ婚姻ヲ爲スノ意思アルヲ表示セシムルモノナリ然リ而シテ婚姻ノ届書ニハ戶籍法第二百二條ニ列記シタル諸件ヲ記載スヘキモノニシテ口頭ヲ以テ届出ヲ爲ス場合ニ於テモ亦此諸件ヲ陳述スルヲ要ス

婚姻ノ届出アリタルトキハ戶籍吏ハ其婚姻カ第七百四十一條第一項、第七百四十四條第一項、第七百五十四條第一項、第七百五十四條第一項、第七百六十五條乃至第七百七十三條及第七百七十五條第二項ノ規定其他ノ法令ニ違反セザルヤ否ヲ調査シ違反セザルモノト認メタル後ニアラサレハ受理スルコトヲ得ス若シ其

婚姻カ第七百四十一條第一項又ハ第七百五十條第一項ノ規定ニ違反シ戸主ノ承諾ヲ經スシテ婚姻ヲ爲サント欲シ届出タルトキハ戸籍吏ハ其届出人ニ注意スヘシ其注意ヲ爲シタルモ當事者カ其届出ヲ受理セシムトテ請求スルトキハ戸籍吏ハ之ヲ受理スヘシ而シテ其婚姻ニ付父母又ハ戸主若シハ親族會其他後見人等ノ同意ヲ得ヘキ事件ハ戸籍吏ニ對シ口頭ヲ以テ陳述スルモ差支ナシ取テ書面ヲ以テスルニ及ハサルモノトス

例

第七百七十五條 婚姻ハ之ヲ戸籍吏ニ届出ツルニ因テ其効力ヲ生ス
前項ノ届出ハ當事者雙方及ヒ成年ノ證人二人以上ヨリ口頭ニテ又ハ署名シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

註記

本條ノ届出ハ口頭ニテ之ヲ爲スモ書面ヲ以テスルモ届出ハノ隨意ナリ口頭ニテ爲ストキハ(戸籍法第五十四條)戸籍吏ノ面前ニ出頭シテ届出事件ヲ陳述シ戸籍吏ハ之ヲ筆記スヘキモノトス
第七百七十六條 戸籍吏ハ婚姻カ第七百四十一條第一項、第七百四十四條第一項、第七百五十條第一項、第七百五十四條第一項、第七百六十五條乃至第七百七十三條及ヒ前條第二項ノ規定其他ノ法令ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其届出ヲ受理スルコトヲ得ス但婚姻カ第七百四十一條第一項又ハ第七百五十條第一項ノ規定ニ違反スル場合ニ於テ戸籍吏カ注意ヲ爲シタルニ拘ハラズ當事者カ其届出ヲ爲サント欲スルトキハ此限ニ在ラス

註記

第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項ノ規定ニ違反シタル届出ニ付戸籍吏ノ注意ヲ與フルモノハ離婚ニ關スル反省ヲ爲スヲ得サラシメントスルモノニシテ父母又ハ戸主其他親族會若クハ後見人ノ同意ヲ得ヘキヲ同意ヲ得シテ婚姻ヲ爲シタルトキハ同意ヲ爲スヘキ權利ヲ有スル者ハ取消ノ請求ヲ爲シ得ヘキモノトス

備考

本法第七百八十條乃至第七百八十三條●戸籍法第五十四條第五十五條第五十六條第二百二條乃至第八條參觀

第八款 日本人外國ニ於テ爲ス婚姻

外國ニ於テ日本人カ相互ニ婚姻ヲ爲サント欲スルトキハ戸籍法ノ規定ニ從ヒ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ婚姻ノ届出ヲ爲スコトヲ得ヘシ其届出ニ付テハ前款ニ記述シタル處ヲ準用スヘキモノトス

例

第七百七十七條 外國ニ在ル日本人間ニ於テ婚姻ヲ爲サント欲スルトキハ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其届出ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

註記

前二條ノ規定ヲ準用スルトハ婚姻ノ效力ハ其届出ニ依リ發生シ其届出ノ事項ハ第七百七十五條第二項ニ從テハクシテ夫婦トナラントスル者ノ年齢カ法ニ適シ、重婚ニアラス、前婚解後六ヶ月ヲ經過ノ後ナルコト、姦通ニ因リ離婚又ハ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ノ相姦者ニアラサルコト、第七百六十九條乃至第七百七十一條ノ親族ニアラサルコト、其他父母又ハ戸主、後見人、親族會ノ同意ヲ受クヘキ者ノ規定ニ違反セサルヲ云フ若シ夫レ外國ニ於テ婚姻ヲ爲スニ付父母其他ノ同意ヲ得ルヲ要スルニ因リ父母其他同意ヲ與フヘキ者カ其國ニアラサルトキハ公使又ハ領事ニ面述スルヲ得サルニ付此場合ニ於テハ必ス書面ヲ以テセサルヘカラス若シ然ラスハ外國ニ在テ婚姻ヲ爲ストキハ日本國ニ在ル者ニ在テハ其婚姻ヲ爲スコトヲ知ラサルヲ僥倖トシテ民法ニ規定シタル條件ヲ履行スヘキ義務ヲ拋棄スルニ至ラントナカルヘカラサルモノトス

備考

本法第七百八十條乃至七百八十三條●戸籍法第五十四條、第五十九條、第二百二條、第二百三條、第二百七條參觀

節二節 婚姻ノ無効及ヒ取消

第一款 婚姻ノ無効

凡ソ婚姻ハ其届出ニ因リ効力ノ發生ト共ニ成立スルモノナリト雖モ若シ人違其他ノ事由ニ因リ相婚雙方又ハ一方ニ於テ婚姻ヲ爲スノ意思ナキトキハ縱令届出ヲ爲シタリトモ其婚姻ハ無効トス之ニ反シ縱令當事者ノ意思相合シテ實際婚姻ヲ爲シタリトモ當事者ニ於テ婚姻ノ届出ヲ爲ササルトキハ其婚姻ハ無効ニシテ成立セサルモノトスルモ些少方式ニ違フ所アルモノハ之カ爲メ婚姻ヲ取消サルルコトナシ蓋シ第七百七十八條第二項ニ但書ヲ加ヘラレタルカ如キハ此趣旨ニ出タルモノナリ然リ而シテ當事者間ニ婚姻ヲ爲スノ意思ナキト當事者カ婚姻ノ届出ヲ爲ササルトノ原因ニ依リ婚姻ノ無効ハ當事者間承諾ノ全ク欠缺シタルト全ク届出ナキトニ限ルヘシ承諾及届出ノ瑕疵ニ於ケルカ如キハ無効ノ原因ト爲ス能ハス無効トハ法律行為ノ初メヨリ効力ナキモノニシテ事件ノ初メヨリ成立セサルヲ云フ一旦成立シテ効力ヲ生セシメ後初メヨリ成立セサルカ如キナルハ之ヲ無効ト爲ス能ハス此如キハ之ヲ取消スヘキナリ例ヘハ甲者乙者ト意思シテ丙者ト婚姻ヲ爲シタルカ如キ人ノ形体上ニ關スル差違ハ初メヨリ丙者ト婚姻スルノ意ナクシテ甲者ハ全ク承諾ノ欠缺シタルモノナレハ無効ナリ又精神ノ喪失シタル者ハ素ヨリ合意ノ能力ナキモノタレハ全ク承諾ノ欠缺タルヲ以テ其婚姻ハ無効ナリ暴行強迫ニ在テハ事ノ強大ナリト否トニ依テ承諾ノ欠缺ト瑕疵ト區別セサルヘカラス強暴トハ意思ノ自由ヲ妨ケラルルヲ云フ例ヘハ汝予ト婚姻ヲ行ハサレハ汝ノ父母ヲ害セント強迫セラレ乙者甲者ノ意ニ從ハサレハ甲者ノ爲メニ父母ヲ害セラレコトヲ恐レ父母ノ災害ヲ避ケン爲メ甲者ト婚姻ヲ爲シタルカ如キハ即チ承諾ノ瑕疵アル原因ニシテ請求ニ依リ之ヲ取消シ無効ヲ以テ論セサルヘシト雖モ暴行強迫ノ程度強大ナルカ爲メ承諾ノ形アリテ其實ナキモノハ承諾瑕疵ヲ以テセスシテ全ク承諾欠缺シタルモノトシ初メヨリ婚姻ノ意思ナキモノト爲スカ如シ婚姻無効ノ訴ハ人事訴訟手續法第一章ニ掲ク

ル各條ニ付テ了知セラルヘシ

例

第七百七十八條 婚姻ハ左ノ場合ニ限り無効トス

- 一 人違其他ノ事由ニ因リ當事者間ニ婚姻ヲ爲ス意思ナキトキ
- 二 當事者カ婚姻ノ届出ヲ爲ササルトキ但其届出カ第七百七十五條第二項ニ掲ケタル條件ヲ缺クニ止マルトキハ婚姻ハ之カ爲メニ其効力ヲ妨ケラルルコトナシ

解釋

當事者間トハ相婚スル雙方又ハ一方ヲ云フ即チ婚夫ト婚婦ノ間ヲ云フモノトス第二項ノ其効力ヲ妨ケラルルコトナシトハ婚姻ノ届出ヲ爲ストキハ婚姻ハ完全ニ成立スルモノトシ其方式ニ些少ノ違フ所アルモノカ爲メ婚姻ヲ取消サルルコトナキヲ云フ

第二款 婚姻ノ取消

婚姻ハ他ノ法律行為ト異ナリ容易ニ取消スモノニ非ス之ヲ取消ハ必ラス法律ノ規定ニ依ラサルヘカラス即チ第七百八十條以下七條ニ規定セラレタル條件ハ之ヲ取消ヲ得ヘキモノニシテ此規定ニ依ラサルモノハ取消スコトヲ得サルモノトス但無効ト取消トノ區別ノ異ナルコトハ前項本文中ニ記述シタルヲ以テ再ヒ茲ニ贅セス

例

第七百七十九條 婚姻ハ後七條ノ規定ニ依ルニ非サレハ之ヲ取消スコトヲ得ス

解釋

婚姻取消ノ手續ニ關シテハ人事訴訟手續法第一章各條ニ掲載セラレタル處ニ依ルヘシ
第三款 第七百六十五條乃至第七百七十一條ニ違反スル婚姻ノ取消ノ手續

男女ノ雙方又ハ一方カ未タ適齡ニ至ラスシテ爲シタル婚姻(第七百六十五條)前婚解ケサル者又ハ前婚解消後若クハ前婚取消後六ヶ月ヲ經過セサル前ニ爲シタル婚姻(第七百六十六條第七百六十七條)離婚又ハ刑ノ宣告ヲ受ケタル後相姦者ト爲シタル婚姻(第七百六十八條)直系血族又ハ三親等内ノ傍系血族ノ間ニ於テ爲シ又ハ從前直系姻族間タリシ者ノ間ニ爲シタル婚姻(第七百七十條)前養子、配偶者、直系卑屬又ハ其配偶者ト養親又ハ其直系尊屬ノ關係アリシ者カ其關係ノ止ミタル後爲シタル婚姻(第七百七十一條)ハ各當事者其戸主、親族又ハ檢事ヨリ裁判所ニ其取消ヲ請求スルコトヲ得ヘシ就中第七百六十六條第七百六十七條第七百六十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ニ在テハ當事者ノ配偶者又ハ前配偶者モ亦婚姻ノ取消ヲ請求スルコトヲ得ヘキモノトス然リ而シテ是等ノ婚姻ニ付テハ戸主親族ニ在テハ利害ノ關係ヲ有シ家族カ婚姻ヲ爲スニ付テハ特ニ戸主ノ承諾ヲ要スヘキモノニシテ戸主ハ其家族ヲ制禦シ財産上其他諸般ノ關係ヲ有スルコト頗ル大ナレハ親族及戸主ハ此ノ如キ違法ノ婚姻ニ對シ取消ヲ請求スルヲ得ヘキナリ又檢事ハ社會ノ安寧ヲ保護スルニ付道德ニ背反シ社會ノ爲メニ害ヲ與フヘキ婚姻ヲ取消スヘキ必要アルモノトス然レトモ當事者ノ一方カ死亡シタル後ハ檢事ハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス蓋シ夫婦ノ一方カ死亡シタル後ハ其婚姻ハ自ラ解消シタルモノナレハ解消ト共ニ法律ニ違反シタル婚姻ノ汚辱ハ既ニ消滅シ社會ニ於テ其婚姻ヲ解消セシムヘキ要ナキヲ以テナリ

例

第七百八十條 第七百六十五條乃至第七百七十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者其戸主親族又ハ檢事ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但檢事ハ當事者ノ一方カ死亡シタル後ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百六十六條乃至第七百六十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ニ付テハ當事者ノ配偶者又ハ前配偶者モ

亦其取消ヲ請求スルコトヲ得

註記

當事者ノ一方トハ即チ配偶者ノ一方ヲ云フ

備考

人事訴訟手續法第一章各條●民法施行法第六十七條參觀

第四款 不適齡者ノ婚姻、違法再婚ノ婚姻ノ解消

凡ソ男女法律ニ定メタル年齡ニ達セザル者ト前婚解消又ハ取消ノ後六ヶ月ヲ經過セサル者カ爲シタル婚姻、當事者、親族、戸主又ハ檢事ヨリ取消ヲ請求ヲ爲スコトヲ得ヘキコトハ前款ニ記述シタリ然レトモ適齡以前ニ婚姻ヲ爲シタル者カ既ニ適齡ニ達シタルトキハ其戸主及親族等ニ於テ婚姻ノ取消ヲ請求スルコトヲ得ス之ニ反シ不適齡者ニ於テハ適齡ニ達シタル後尙ホ三ヶ月間其取消ヲ請求スルコトヲ得ヘシ適齡ニ達シタルトキ其婚姻ヲ追認シタルトキハ適齡ニ達シタル後尙ホ三ヶ月ヲ經過セサルモ取消ヲ請求スルコトヲ得ス不適齡者以外ノ者ニ於テハ適齡ニ達シタル後ハ取消ヲ請求ヲ爲スコトヲ得メシテ不適齡者ニ在テ適齡ニ達タル後ト雖モ三ヶ月間其請求ヲ得セシメタルモノハ戸主、父母等ニ在テハ不適齡者カ適齡ニ達スル迄ニ其取消ヲ請求スルコトヲ得ルモ既ニ適齡ニ達シタル不適齡者ハ不適齡ノ間ハ完全ナル能力ヲ有セサルニ依リ適齡ニ達スル迄ノ間ニ其取消ヲ請求スルコトヲ得サレハ適齡ニ達シテヨリ後尙ホ三ヶ月ノ猶豫ヲ與ヘラレタルモノナリ

又第七百六十六條ノ規定ニ違反シ前婚解消又ハ取消ノ日ヨリ六ヶ月以内ニ爲シタル婚姻ナルモ前婚解消又ハ取消ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタルトキ未メ六ヶ月ヲ經過セサルモ女カ懷胎シタルトキハ婚姻ノ取消ヲ請求スルコトヲ得ス蓋シ前婚解消又ハ取消ノ日ヨリ六ヶ月ヲ經過シタル後ニアラサレハ再婚スルヲ得サルコトヲ規定セラレタルモノハ血統ノ混交スルヲ防止スル旨趣ニ出タルモノナレトモ再婚後婦カ懷胎シタル確證アルトキハ其懷胎ハ前婚ニ依リテ爲シタルモノニアラサルコト明白ニシテ血統混交ノ虞ナキニ依リ取

消テ請求スルヲ得サルモノトス

例

第七百八十一條 第七百六十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ不適齡者カ適齡ニ達シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

不適齡者ハ適齡ニ達シタル後尙ホ三ヶ月間其婚姻ノ取消ヲ請求スルコトヲ得但適齡ニ達シタル後追認ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

註記

本條ハ之ヲ二段ニ分チ第一項ハ當事者及以前ノ戸主親族等ニ於テ取消ヲ請求スルコトヲ得サルコトヲ規定シ第二項ハ不適齡者ニ於テ取消ヲ請求スル場合ヲ規定セラレタリ又不適齡者ノ婚姻ハ畢竟當事者間ニ於テ隨意ニ之ヲ爲セシノミニシテ戸主、父母其他ノ同意ヲ得タルモノニアラサレトモ既ニ適齡ニ達シタルトキハ適意ノ承諾ニ依リテ爲シタルモノト看做シ當事者以外ノ者ニ於テ取消ヲ請求スルコトヲ得ス若シ其取消ヲ爲シ得ヘキモノトスルトキハ却テ夫婦ノ榮譽ヲ傷害スルニ至ルヘキモノトス

第七百八十二條 第七百六十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ前婚ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ六ヶ月經過シ又ハ女カ再婚後懐胎シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

註記

本條ハ規定ニ違反シ婚姻ヲ爲シタル裁判ヲ設ケタルモノナリ

第五款 父母後見人親族會ノ同意ヲ得ス又ハ詐欺若クハ強迫ニ因リ

同意ヲ得テ爲シタル婚姻ノ取消

第七百七十二條ニ列記シタル父母又ハ後見人若クハ親族會ノ同意ヲ得ヘキ者其同意ヲ得シテ婚姻ヲ爲シタルトキハ父母其他ノ同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者ヨリ其婚姻取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得ヘク縱令同意

ヲ爲シタルシモ其同意カ眞ノ同意ニアラスシテ詐欺又ハ強迫ニ因ル同意ナルトキハ亦取消ヲ請求スルコトヲ得ヘシ蓋シ本文ノ取消請求ハ當時同意權ヲ有セシ者ニ於テ之ヲ爲シ其權利ヲ有セザリシ者ニ於テハ其請求ヲ爲スコトヲ得ス又此ノ如キ同意ヲ爲スヘキ權利ヲ有スル者ニ於テ婚姻取消ノ請求ヲ爲シ得ルモノハ幼者ノ誘惑ニ遭ハンコトヲ防ク爲メニ大ニ利益アルモノナリ

此婚姻取消權ハ其婚姻ニ對シ同意ヲ爲ス權利ヲ有スル者カ婚姻ヲ爲シタルコトヲ知りタル後六ヶ月ヲ經過シタルトキ又詐欺ヲ發見シ若クハ強迫ヲ免レタル後六ヶ月ヲ經過シタルトキハ其權利ハ消滅スヘシ故ニ例ヘハ子カ父母ノ同意ヲ得スシテ婚姻ヲ爲シタルニ其父母ハ子ノ婚姻ヲ爲シタルコトヲ知ラザリシトキハ之ヲ知りタルトキヨリ六ヶ月内ニ婚姻取消ノ請求ヲ爲サザリシトキハ爾後取消ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス又詐欺ヲ以テ父母ノ同意ヲ得若クハ強迫ニ因リ同意ヲ得タルトキ同意者カ後チ其詐欺ヲ發見シ又ハ強迫ヲ免レタルトキハ其詐欺ヲ發見シ強迫ヲ免レタル後六ヶ月内ニ取消ノ請求ヲ爲サスシテ六ヶ月ヲ經過シタルトキハ其權利ハ消滅スヘシ其他同意權ヲ有スル者カ其婚姻ヲ追認シ又ハ婚姻届出ノ日ヨリ既ニ二年ヲ經過シタルトキハ其權利ハ消滅スヘシト雖モ其同意ヲ得ヘキ者カ死亡シタルモ取消權ハ消滅セサルニ依リ其權利ヲ有セシ者ハ又其取消ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘキモノトス但本文ノ期間ヲ經過セザルトキハ民法施行前ニ生シタル事柄タルトモ民法施行後ニ於テ取消ヲ爲スコトヲ得ヘシ

例

第七百八十三條 第七百七十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得同意カ詐欺又ハ強迫ニ因リタルトキ亦同シ

第七百八十四條 前條ノ取消權ハ左ノ場合ニ於テ消滅ス

- 一 同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者カ婚姻アリタルコトヲ知りタル後又ハ詐欺ヲ發見シ若クハ強迫ヲ免レ